

西東京市社会参加に関する調査 報告書

令和7年1月

西東京市

目次

第1章	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
	(1) 調査実施概要	1
	(2) ひきこもり群について	2
第2章	調査結果のまとめ（市民）	4
第3章	アンケート回答結果（市民）	7
1	集計結果の表示方法・留意事項	7
2	集計結果	7
3	自由回答（市民）	56
第4章	アンケート回答結果（事業参加者）	60
1	集計結果の表示方法・留意事項	60
2	集計結果	60
3	自由回答（事業参加者）	77
第5章	参考資料	78
1	調査票（市民）	78
2	調査票（事業参加者）	92

第1章 調査の概要

1 調査の目的

西東京市（以下「市」という。）では、市在住の満15歳から満64歳までの方及び市関連事業の参加者（ご家族含む。以下、「事業参加者」という。）を対象に市民の暮らしぶり、外出頻度、就労状況等の社会参加に関する実態を把握するための調査を実施した。この調査を通じて、ひきこもり状態にある方の生活状況やニーズ、課題等を把握、分析し、今後のひきこもり支援施策等に反映するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の概要

（1）調査実施概要

①調査の対象

市民 : 2,500件

事業参加者 : 10件

②調査方法

配布方法 : 郵送配布

回答方法 : 郵送またはインターネット回答

③調査時期

配布日 : 令和6年8月2日

回答期限 : 令和6年8月30日

④有効回答数及び有効回答率

市民 : 810件(回答率32.4%) うち郵送回答346件、インターネット回答464件

事業参加者 : 5件(回答率50.0%) うち郵送回答3件、インターネット回答2件

(2) ひきこもり群について

①ひきこもり群の定義

令和4年度内閣府「子ども・若者の意識と生活に関する調査」の定義を基に、以下のようにひきこもり群を定義した。

問 18 その方は普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つ)で、次の5～8のいずれかを選択した方

- 5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する
- 6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7. 自室からは出るが、家からは出ない
- 8. 自室からほとんど出ない

かつ

問 19 その方の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つ)で、6ヶ月以上と回答した方

であって、次の3種類のいずれにも該当しない方。

①

問 21 その方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも)で、「10 病気」を選択し、統合失調症又は身体的病気の病名を回答した方

②

- 1 問 21 その方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも)で、
- ・「11 妊娠したこと」を選択した方
 - ・「13 介護・看護を担うことになったこと」を選択した方
 - ・「17 その他」を選択し、理由として出産・育児をしている旨を回答した方

又は

- 2 問 12 その方の現在の仕事をお答えください。(1つ)で、「9 専業主婦・主夫」又は「10 家事手伝い」を選択した方

又は

- 3 問 14 その方は普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。(いくつでも)で、「8 家事をする」、「9 育児をする」又は「10 介護・看護をする」を選択した方

のいずれかで、かつ

問 17 その方は最近6か月間で、家族以外の人と会話はありましたか。(1つ)で、「1 よく会話しした」又は「2 ときどき会話しした」を選択した方

③

問 12 その方の現在の仕事をお答えください。(1つ)で、「6 会社などの役員」、「7 自営業・自由業」又は「8 家族従業者・内職」を選択した方

又は

問 12 その方の現在の仕事をお答えください。(1つ)で、「2 パート・アルバイト」、「3 派遣社員」、「4 契約社員・嘱託」又は「5 正規の社員・職員・従業員」を選択した方

又は

問 21 その方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも)で、「15 その他」を選択し、理由として自宅で仕事をしている旨を回答した方

又は

問 14 その方は普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。(いくつでも)で、「7 仕事をする」と回答した方

のいずれかで、かつ

問 13 その方の就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)(1つ)で、「現在、就業している」と回答した方

また、本調査では「問8 あなたのご家庭で仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか。」の項目を用いて、本人以外の人数についても調査を行った。本調査では「広義のひきこもり当事者」と、その家族で「家族以外の人との交流をほとんどしない方がいる」と回答し、その方が「広義のひきこもり群」に該当する場合を含めた全体を「広義のひきこもり群と家族内の該当者」と定義する。

広義のひきこもり群	5件
広義のひきこもり群と家族内の該当者	20件
「問8 あなたのご家庭で仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか。」で「いる」と回答した方	68件

第2章 調査結果のまとめ（市民）

【広義のひきこもり群と家族内の該当者の出現率および推計結果】

西東京市社会参加に関する調査の有効回答数 810 件のうち、広義のひきこもり群と家族内の該当者は 20 件であった。広義のひきこもり群と家族内の該当者の出現率は、2.5%※であり、令和 6 年 4 月 1 日現在における西東京市の 15～64 歳の人口は 131,178 人であるため、市内の当該年齢層における広義のひきこもり群と家族内の該当者の推計値は、3,239 人となる。

標本サイズ	2,500件
有効回答率	32.4%
広義のひきこもり群と家族内の該当者の出現率	2.5%
西東京市の15歳～64歳の人口	131,178人
広義のひきこもり群と家族内の該当者の推計値	3,239人

※ 95%信頼区間（95%の確率で全数調査の場合の集計結果が含まれる範囲）は、1.42%～3.58%

【広義のひきこもり群と家族内の該当者】

■広義のひきこもり群と家族内の該当者の属性（年齢・性別等）の特徴

- ・ 性別では、男性よりも女性の方が多い。
- ・ 年齢構成では、幅広い年齢層に分布している。

性別構成については「女性」（60.0%）が最も多く、次いで「男性」（35.0%）、「その他」（5.0%）となっている。年齢構成に関しては、15 歳から 39 歳で 35%、40 歳から 64 歳で 40%となっている。現在の仕事については、「無職（仕事を探していない）」（55.0%）が最も多く、次いで「専業主婦・主夫」「家事手伝い」（ともに 20.0%）が続いている。また、就業経験では「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」（85.0%）が最も多く、「これまでに就業経験はない」（15.0%）が続いている。

■広義のひきこもり群と家族内の該当者の当該期間や要因等について

- ・ 現在の外出状況が続いている期間では、「5年未満」が約半数となっているが、その他の期間にも分布している。
- ・ 外出状況が現在の状態になった最も大きな理由としては、「病気」「退職したこと」が多い。

最近6か月間の家族以外との会話状況については、「ほとんど会話しなかった」(45.0%)が最も多く、次いで「ときどき会話した」(30.0%)、「まったく会話しなかった」(25.0%)となっている。普段の外出状況については、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」(40.0%)が最も多く、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(35.0%)となっている。

現在の外出状況が続いている期間については、「2年～3年未満」(25.0%)が最も多く、次いで「3年～5年未満」(20.0%)、となっており、「20年以上」の回答も見られた。

外出状況が現在の状態になった主な理由では、「病気」(40.0%)が最も多く、次いで「学校になじめなかったこと」「人間関係がうまくいかなかったこと」「退職したこと」(ともに25.0%)となっている。外出状況が現在の状態になった最も大きな理由としては、「病気」「退職したこと」(ともに20.0%)が最も多い。

■広義のひきこもり群と家族内の該当者のひきこもり群の支援ニーズ等について

- ・ 居場所と感じられる場所については、「自分の部屋」や「家庭」が多い。
- ・ 各支援の認知状況は「知らない」が多く、利用状況は「利用したくない」が多い。
- ・ 望む支援としては、「いつでも好きな時にでかけていける居場所の紹介」が最も多く、相談したいと思う機関の特徴としては「無料で相談できる」が最も多い。

居場所と感じられる場所については、「自分の部屋」や「家庭」が多い。

各支援の認知状況については、「知らない」が多く、利用状況については、「利用したい」の回答も一定数があるが、「利用したくない」が多い。支援を利用したくない理由としては「その他」(46.7%)が最も多く、次いで「行っても解決できないと思う」(33.3%)、「相手に上手く話せないと思う」(26.7%)となっている。

望む支援としては、「いつでも好きな時にでかけていける居場所の紹介」(45.0%)が最も多く、次いで「就労に向けた準備支援」(40.0%)、「話(悩み)を聞いてくれる窓口(電話・オンライン含む)」(35.0%)となっている。相談したいと思う機関の特徴としては「無料で相談できる」(45.0%)が最も多く、次いで「親身に聴いてくれる」(40.0%)となっている。

現在抱えている不安や危機感では、「収入や生活費など経済的なこと」(65.0%)が最も多く、次いで「親の高齢化」「就職や仕事のこと」(ともに40.0%)となっている。

【回答者全体】

■ひきこもりに対する意識

- ・ ひきこもりに関する意識では、「身近な場で相談しやすい窓口が必要」「誰にでも起こりうる」という回答が多い。

ひきこもりに関する意識では、「身近な場で相談しやすい窓口が必要」「誰にでも起こりうる」という回答が多い一方、「甘えている感じがする」という否定的な意見もあった。

■「西東京市生活サポート相談窓口」の認知と利用状況

- ・ 認知状況は「知らない」が8割を超える一方、利用状況においては、「利用したい」が半数を超えている。

認知は「知らない」が(82.6%)、「知っている」が(16.7%)となっている。

利用状況は「利用したい」(53.2%)と回答した人が最も多く、次いで「利用したくない」(30.7%)となっている。

第3章 アンケート回答結果（市民）

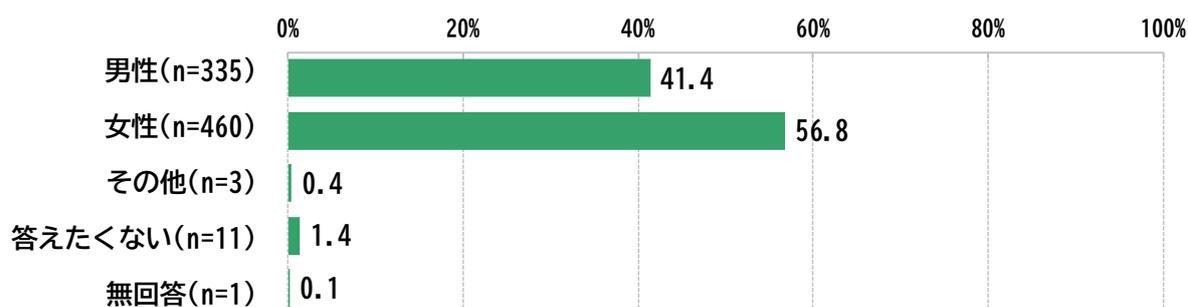
1 集計結果の表示方法・留意事項

- ・原則として調査票の順番に沿って集計結果を示している。
- ・文章中の「n=〇〇」はその設問についての有効回答数を示している。
- ・集計結果は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。

2 集計結果

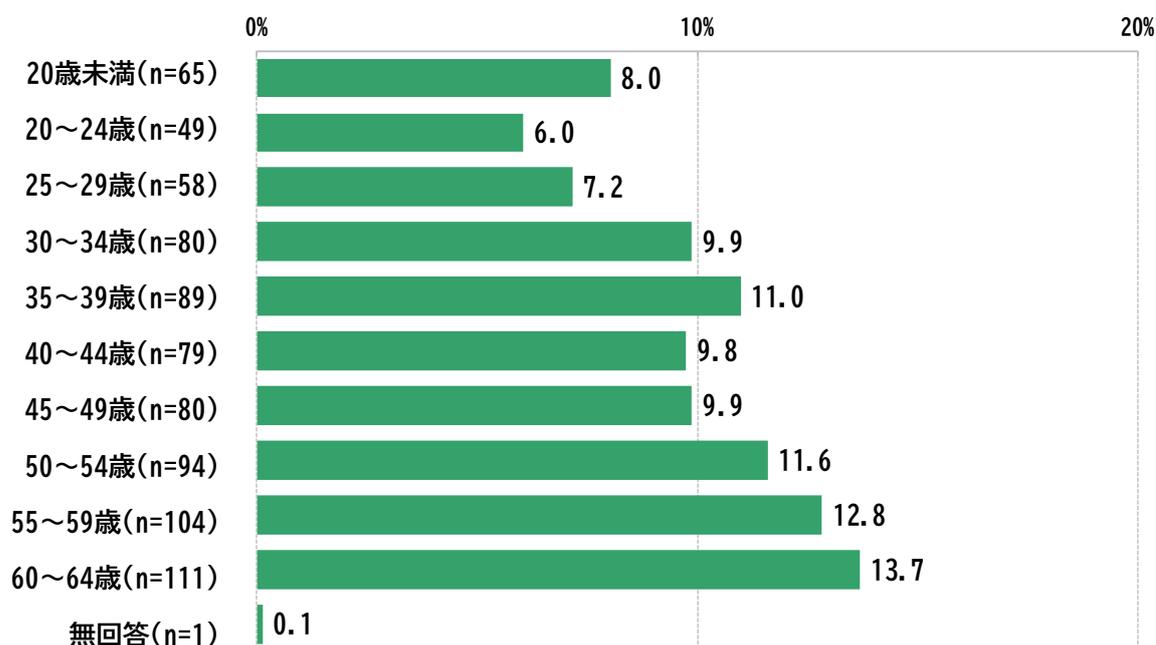
問1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

【全体(n=810)】



問2 あなたの年齢についてお答えください。（1つ）

【全体(n=810)】



問3 お住まいの地域をお答えください。(1つ)

【全体(n=810)】

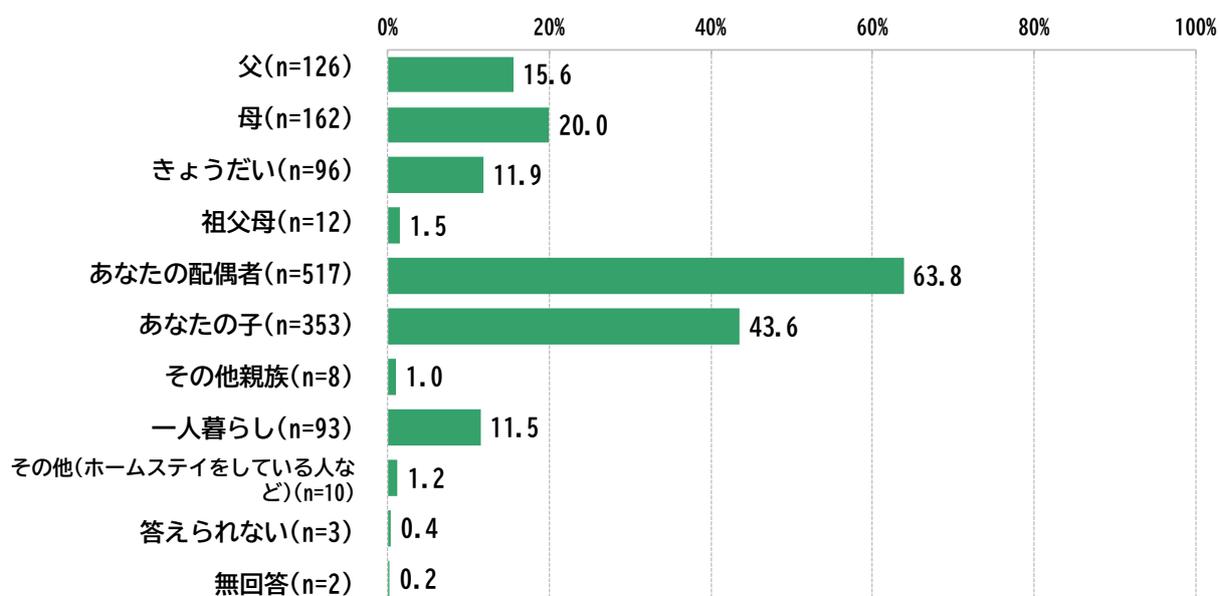
	n	%
南町	62	7.7
向台町	59	7.3
東伏見	16	2.0
柳沢	33	4.1
新町	52	6.4
北原町	21	2.6
田無町	46	5.7
住吉町	29	3.6
泉町	33	4.1
保谷町	45	5.6
谷戸町	55	6.8
緑町	10	1.2

	n	%
西原町	18	2.2
芝久保町	91	11.2
ひばりが丘	39	4.8
ひばりが丘北	20	2.5
下保谷	33	4.1
栄町	15	1.9
東町	37	4.6
中町	41	5.1
富士町	41	5.1
北町	11	1.4
無回答	3	0.4

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(いくつでも)

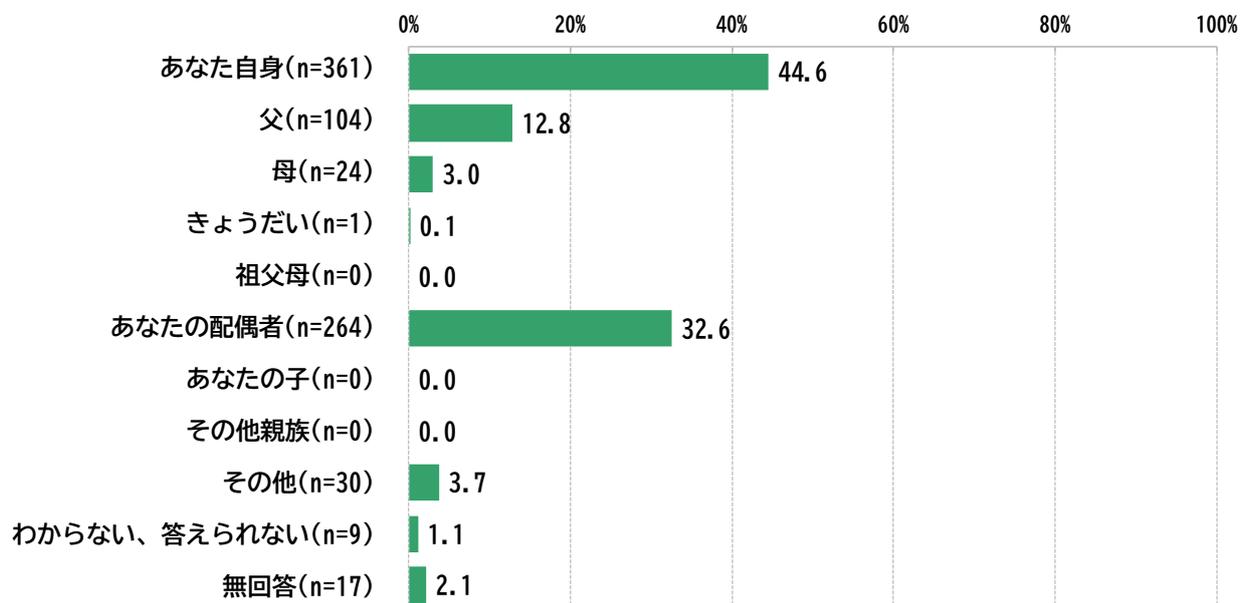
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「9 その他」をお選びください。

【全体(n=810)】



問5 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(1つ)

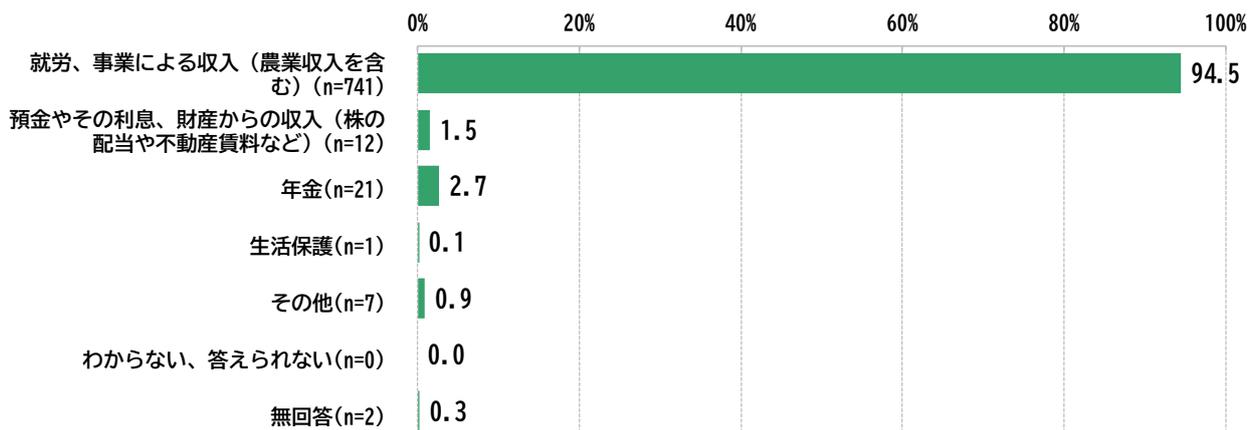
【全体(n=810)】



【問5で「1～9」と回答した方のみ】

問6 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(1つ)

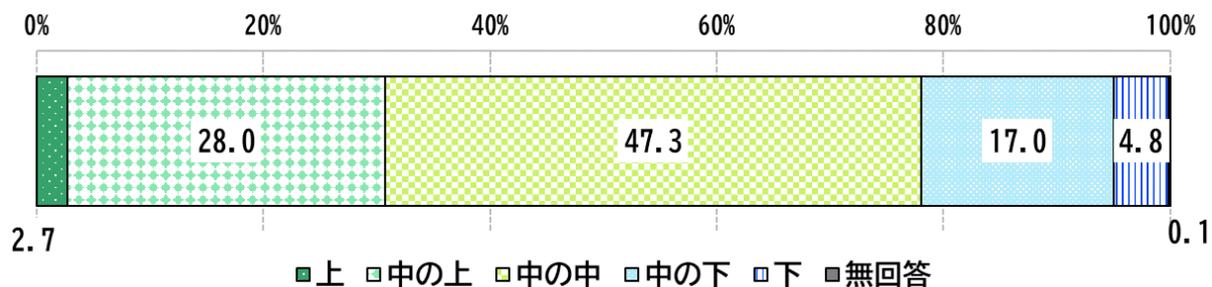
【全体(n=784)】



問7 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。（1つ）

【全体(n=810)】

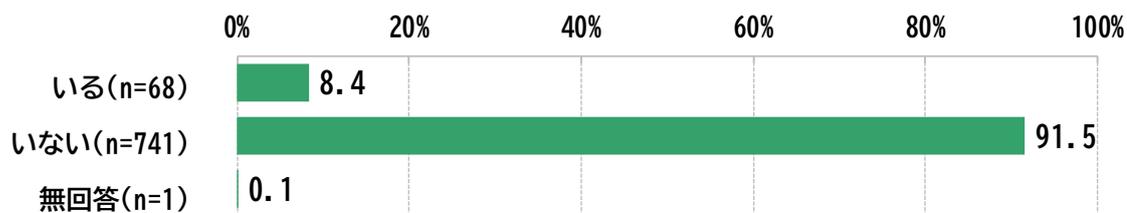
・「中の中」(47.3%) が最も多く、次いで「中の上」(28.0%)、「中の下」(17.0%) となっている。



問8 あなたのご家庭で仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか。（1つ）

【全体(n=810)】

・「いない」が91.5%、「いる」が、8.4%となっている。

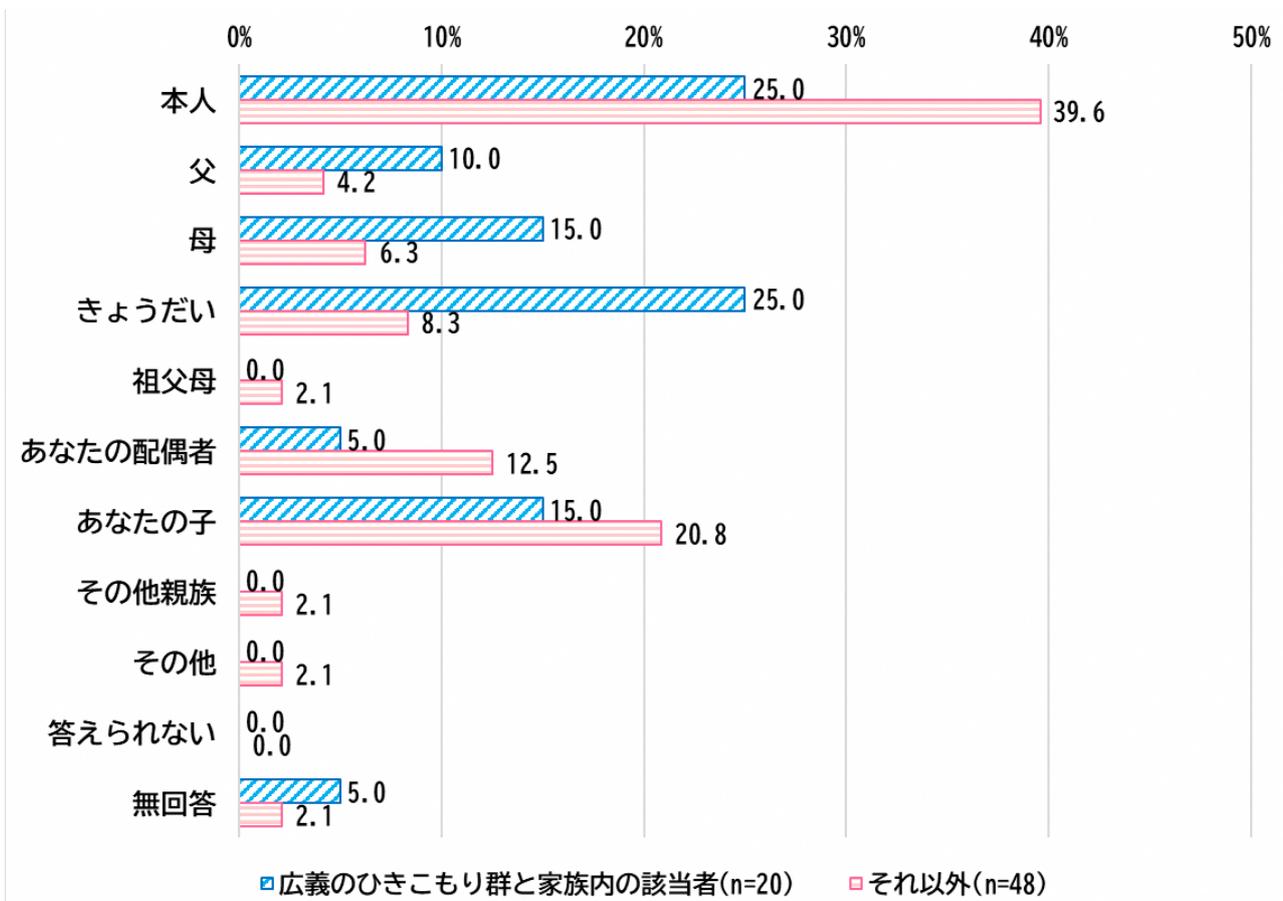


問9～問28は問8で「いる」と回答した方が回答

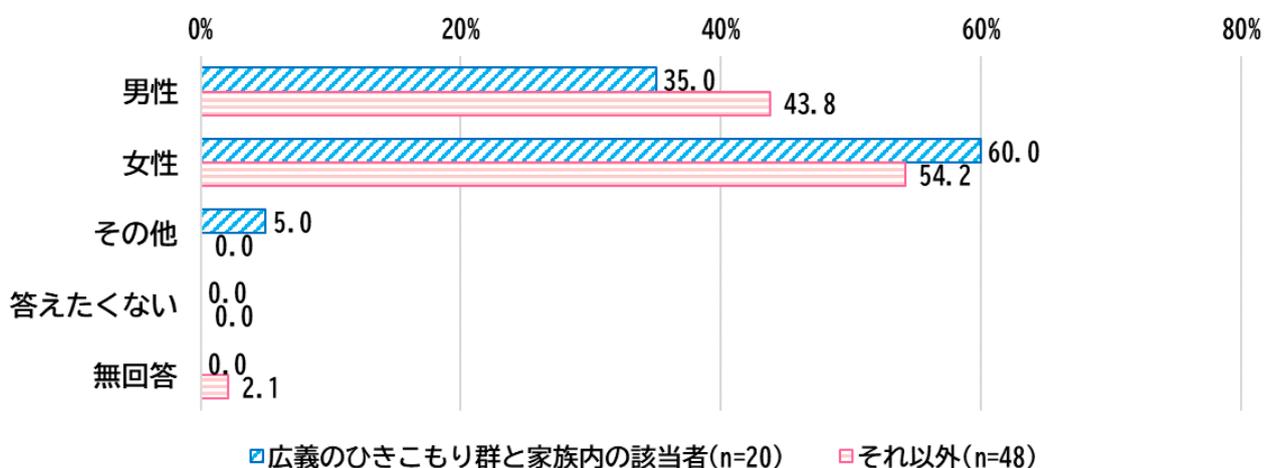
集計は「広義のひきこもり群と家族内の該当者」と「それ以外※」で行う

※「問8 家族で仕事や学校に行かず、他人とほとんど交流しない方」が「いる」と回答した人で「広義のひきこもり群と家族内の該当者」に当てはまらない人

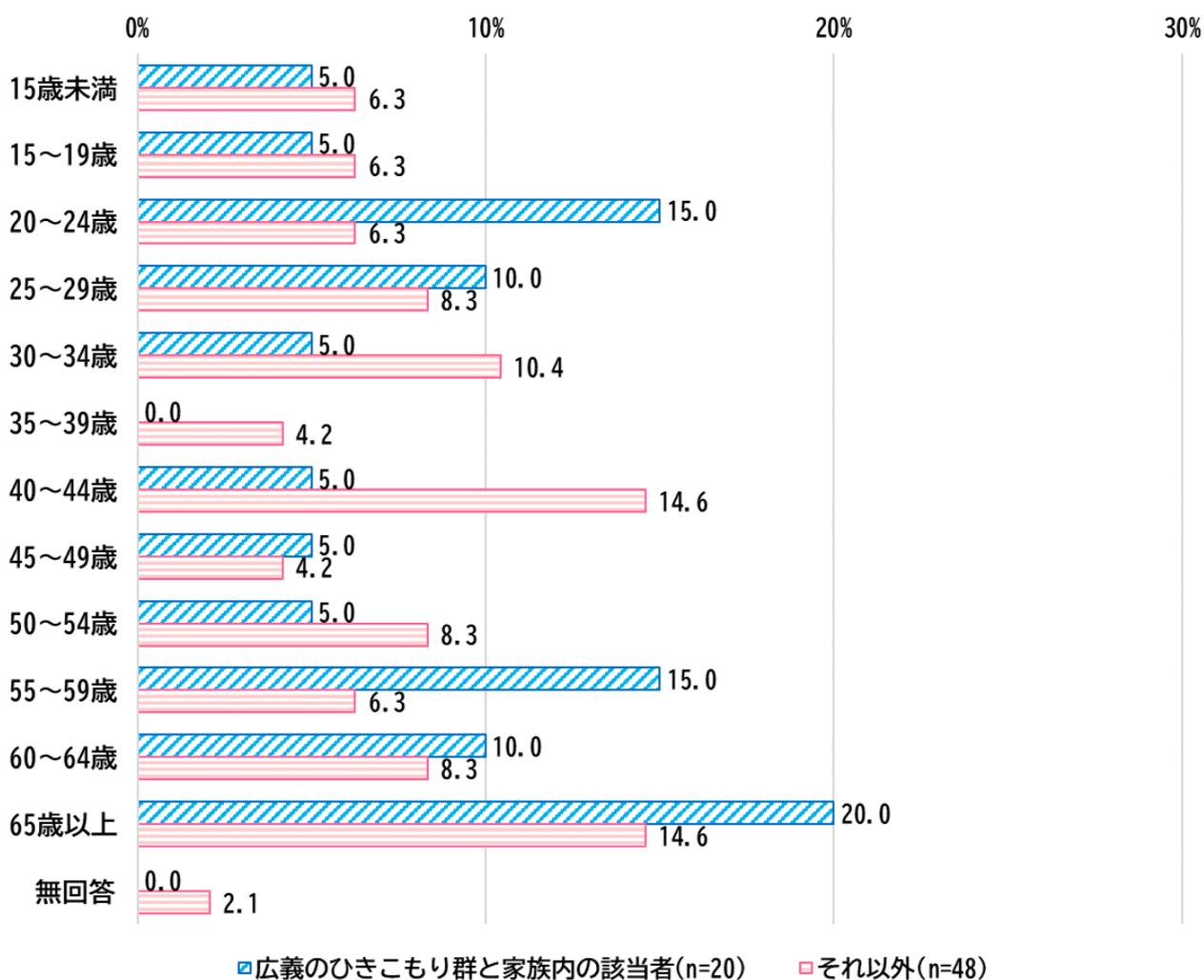
問9 その方はあなたから見てどのようなご関係ですか。(1つ)



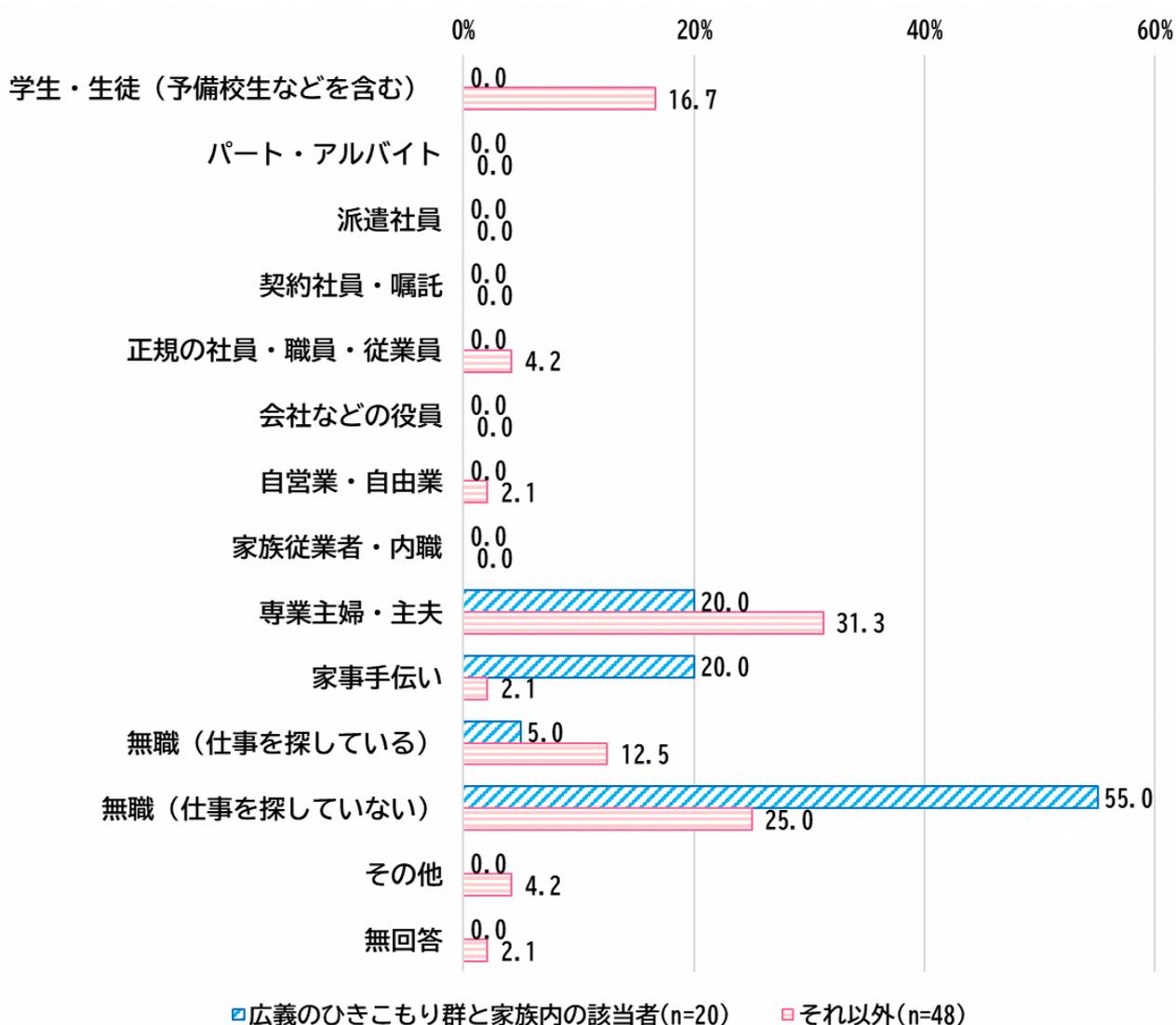
問10 その方の性別を教えてください。(1つ)



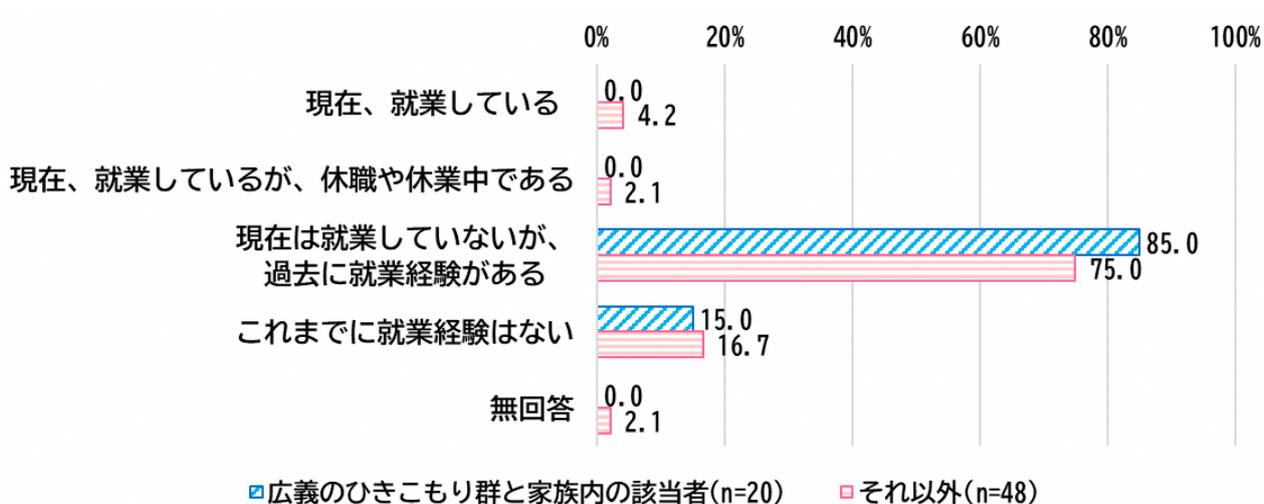
問11 その方の年齢を教えてください。(○は1つ)



問 12 その方の現在の仕事をお答えください。(1つ)

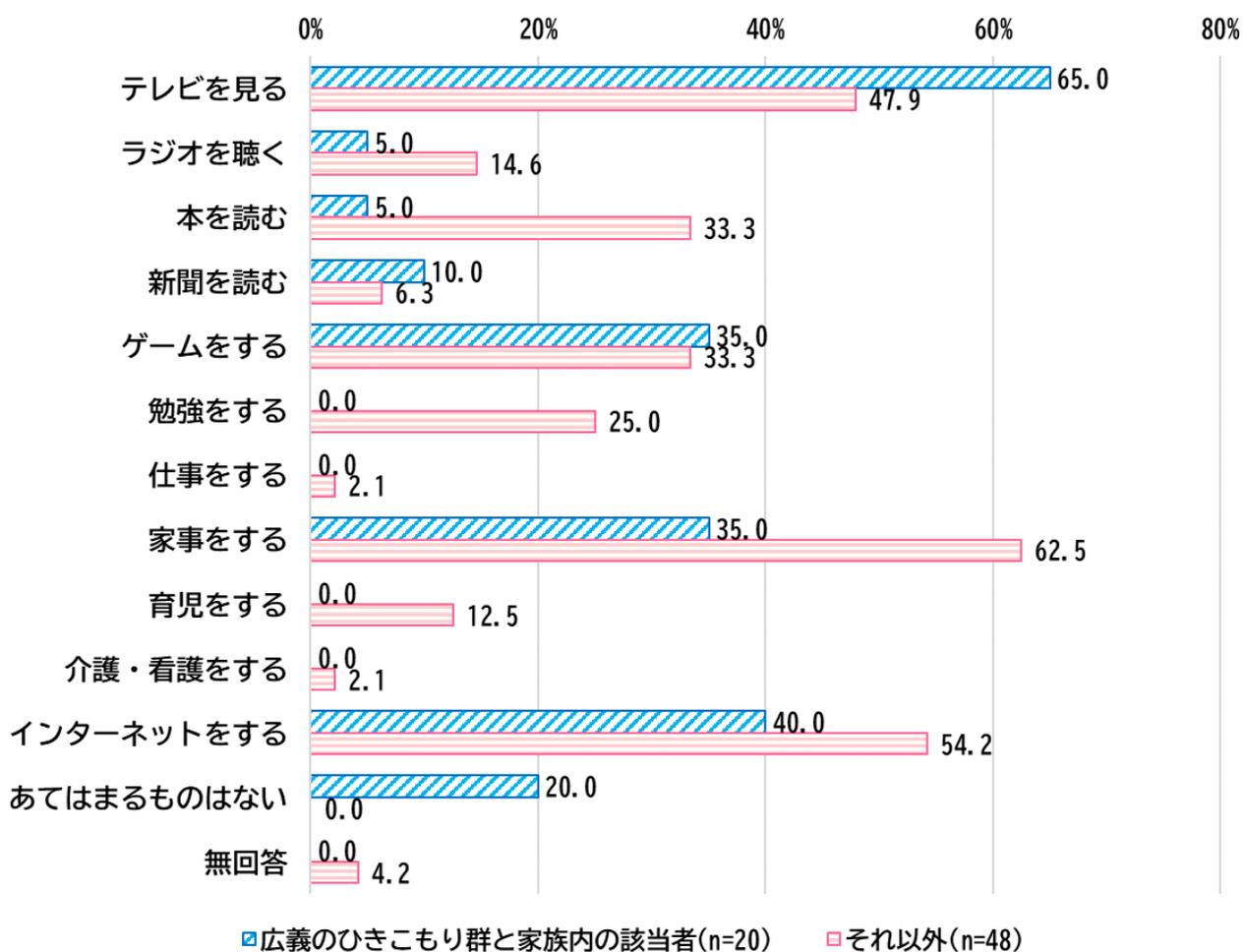


問 13 その方の就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む) (1つ)



問 14 その方は普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。（いくつでも）

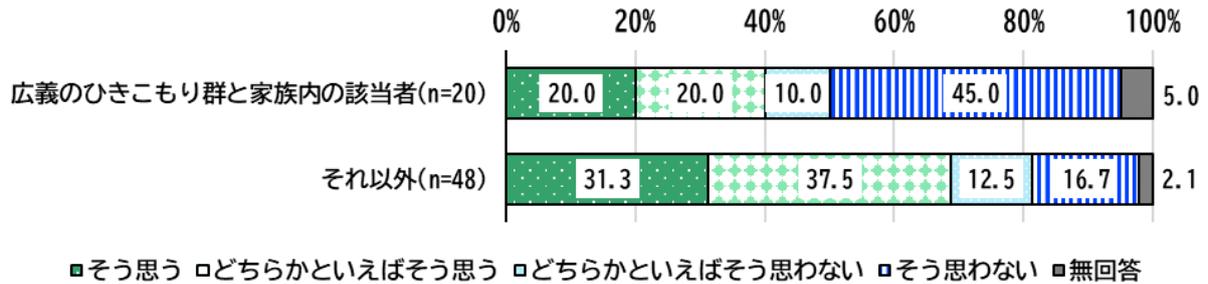
- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「テレビを見る」（65.0%）が最も多く、次いで「インターネットをする」（40.0%）、「ゲームをする」「家事をする」（ともに 35.0%）となっている。



問 15-1 家族・親せきとその方の関わりは、どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

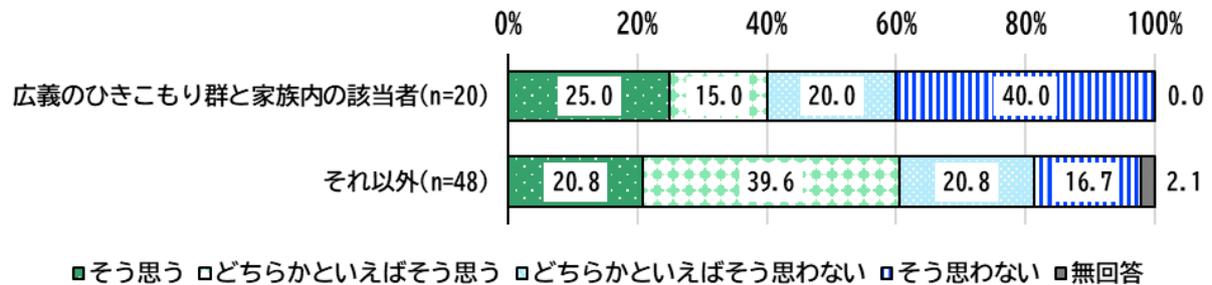
①会話やメール等をよくしている

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(45.0%)が最も多く、次いで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」(ともに20.0%)となっている。



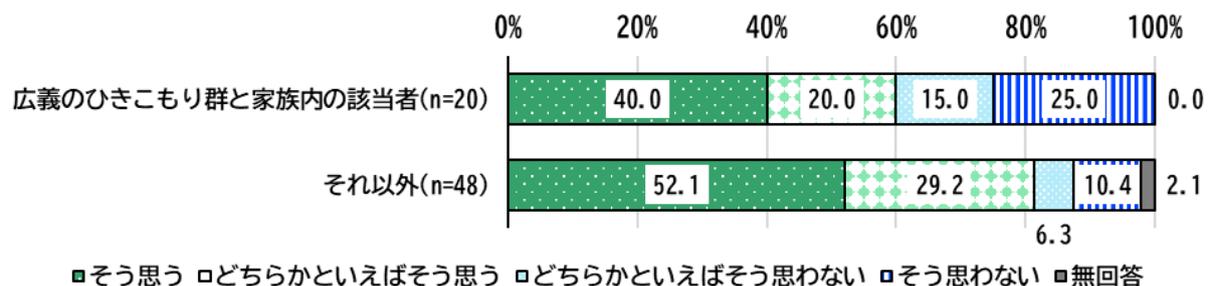
②何でも悩みを相談できる人がいる

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(40.0%)が最も多く、次いで「そう思う」(25.0%)、「どちらかといえばそう思わない」(20.0%)となっている。



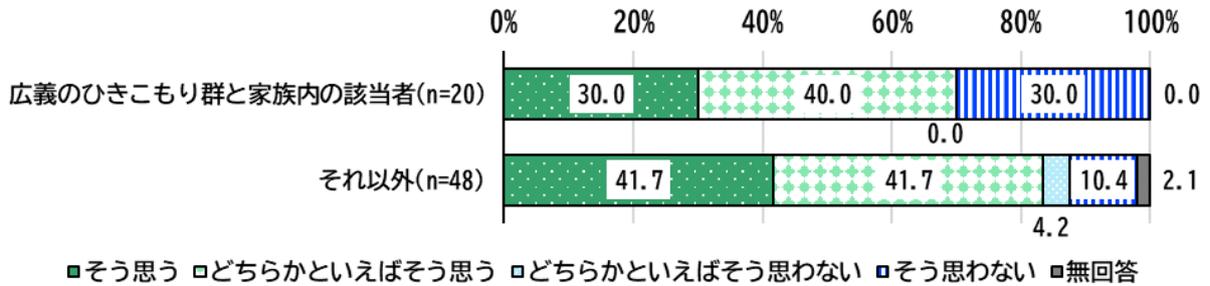
③楽しく話せる時がある

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思う」(40.0%)が最も多く、次いで「そう思わない」(25.0%)、「どちらかといえばそう思う」(20.0%)となっている。



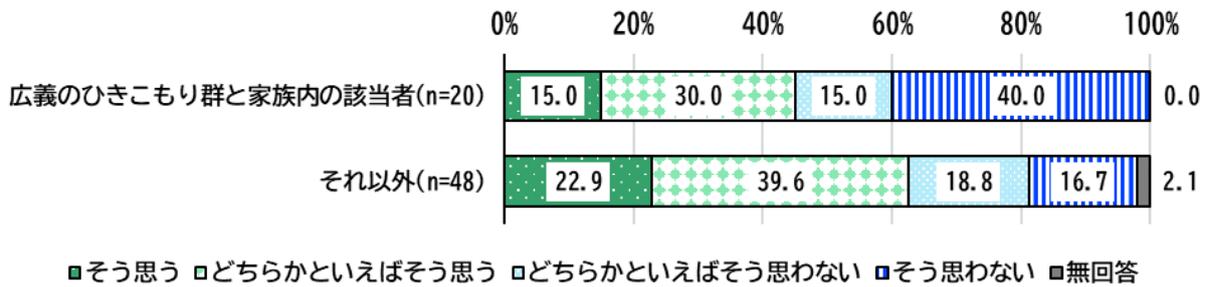
④困ったときは助けてくれる

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「どちらかといえばそう思う」(40.0%)が最も多く、次いで「そう思う」「そう思わない」(ともに30.0%)となっている。



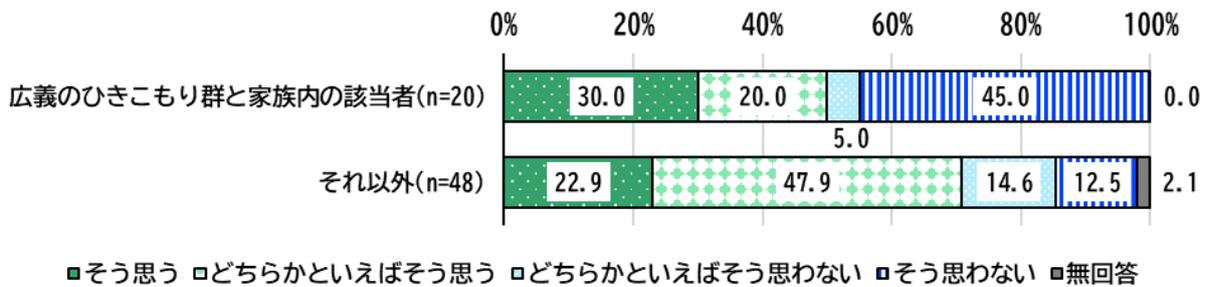
⑤他の人には言えない本音を話せることがある

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(40.0%)が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」(30.0%)、「そう思う」「どちらかといえばそう思わない」(ともに15.0%)となっている。



⑥いつもつながりを感じている

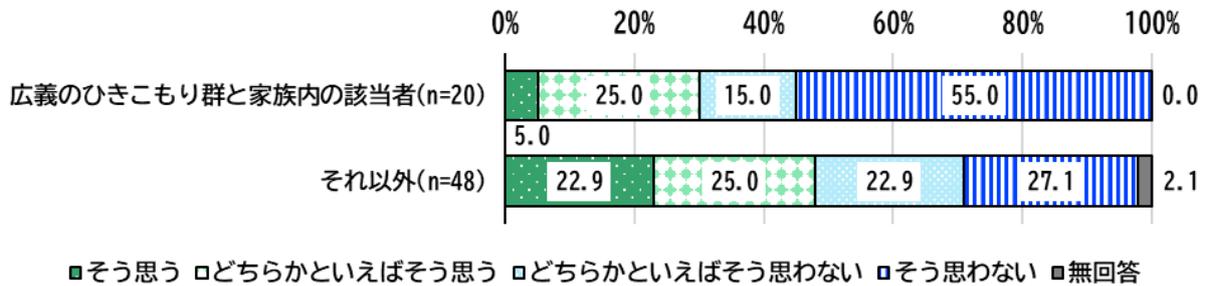
- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(45.0%)が最も多く、次いで「そう思う」(30.0%)、「どちらかといえばそう思う」(20.0%)となっている。



問 15-2 家族・親せき以外の他者（友人、職場・アルバイト関係の人、地域の人）と、その方の関わりは、どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

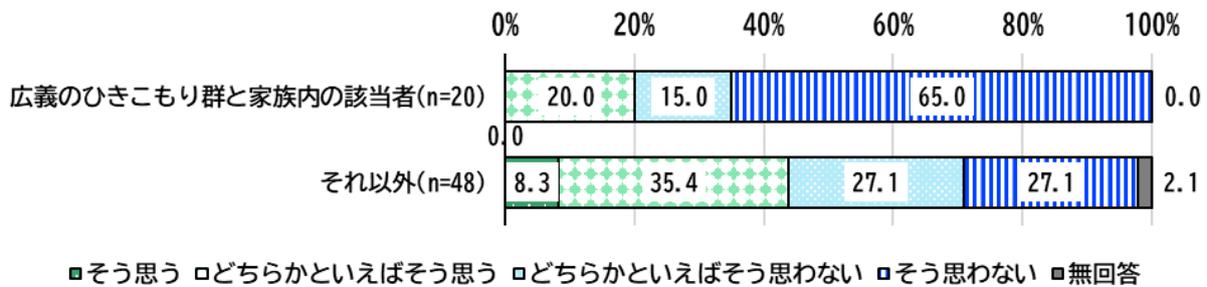
①会話やメール等をよくしている

・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」（55.0%）が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」、（25.0%）「どちらかといえばそう思わない」（15.0%）となっている。



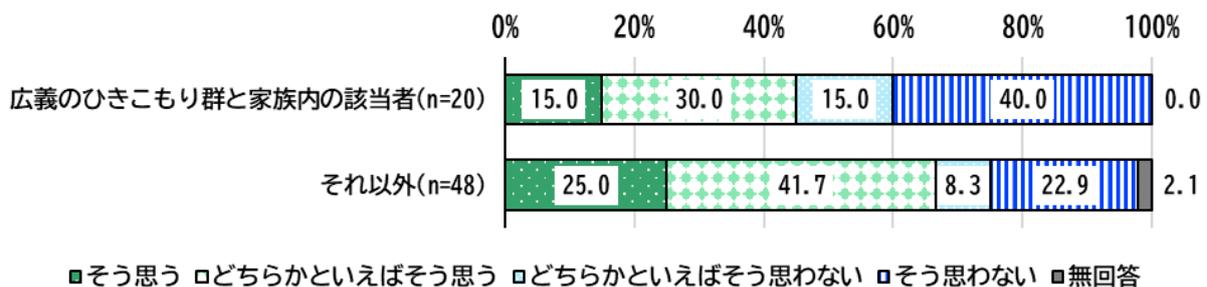
②何でも悩みを相談できる人がいる

・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」（65.0%）が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」（20.0%）、「どちらかといえばそう思わない」（15.0%）となっている。



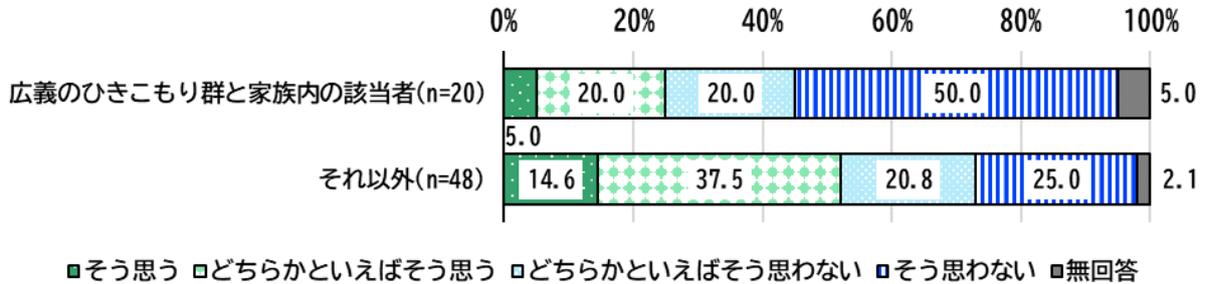
③楽しく話せる時がある

・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」（40.0%）が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」（30.0%）、「そう思う」「どちらかといえばそう思わない」（ともに 15.0%）となっている。



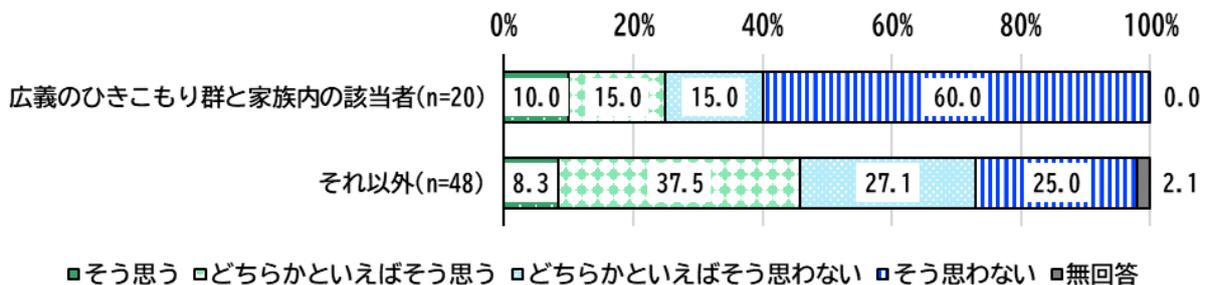
④困ったときは助けてくれる

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(50.0%)が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」(ともに20.0%)となっている。



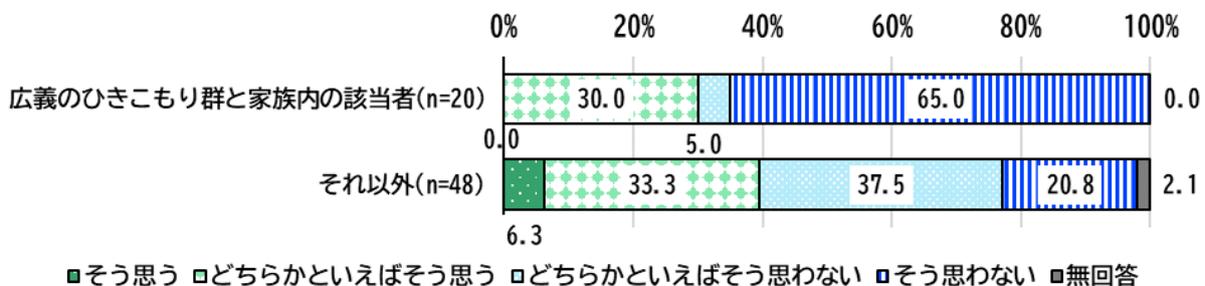
⑤他の人には言えない本音を話せることがある

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(60.0%)が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」(ともに15.0%)となっている。



⑥いつもつながりを感じている

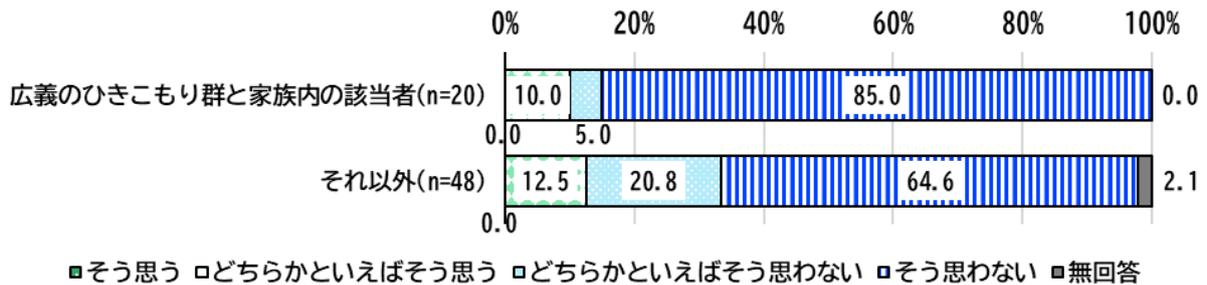
- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(65.0%)が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」(30.0%)となっている。



問 15-3 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、その方の関わりは、どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

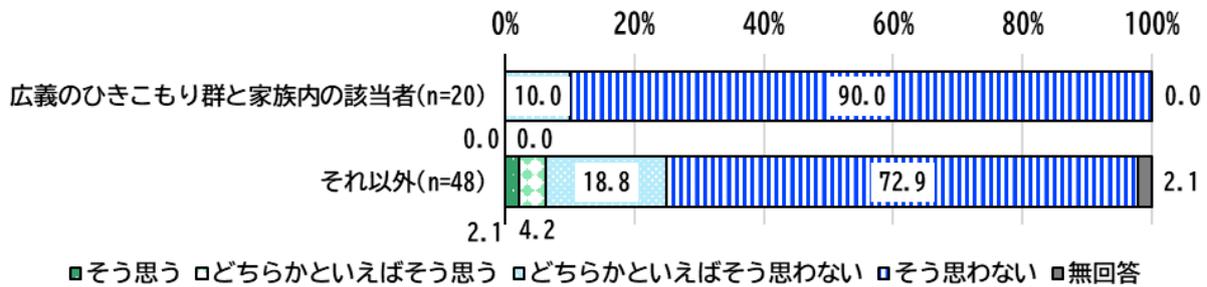
①会話やメール等をよくしている

・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(85.0%)が最も多い。



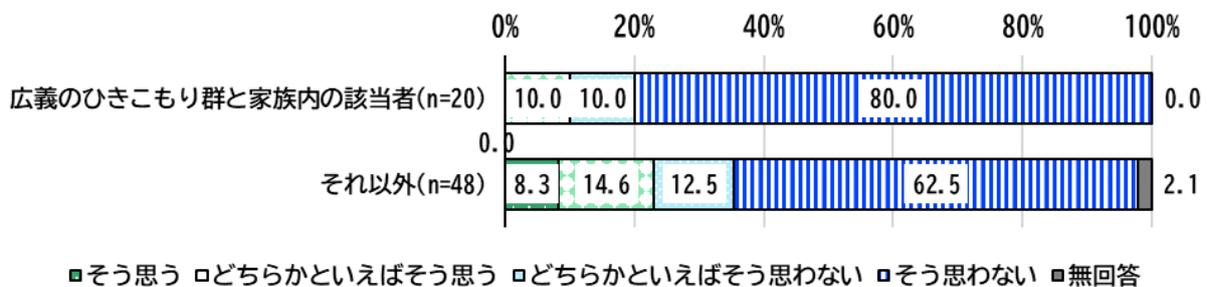
②何でも悩みを相談できる人がいる

・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(90.0%)が最も多い。



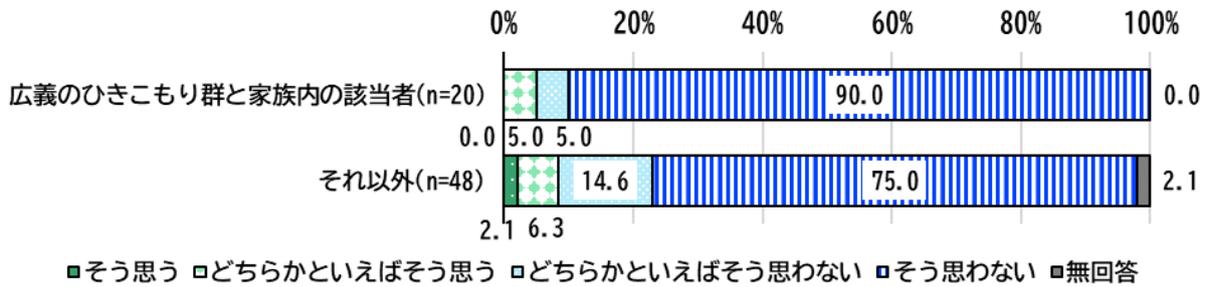
③楽しく話せる時がある

・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(80.0%)が最も多い。



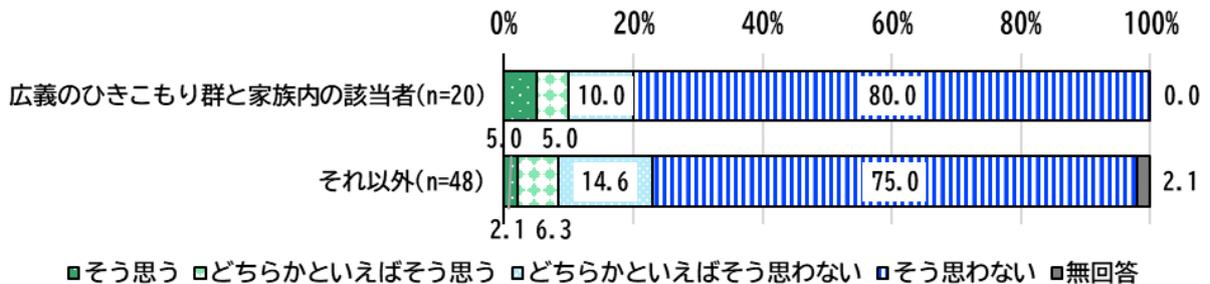
④困ったときは助けてくれる

・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(90.0%) が最も多い。



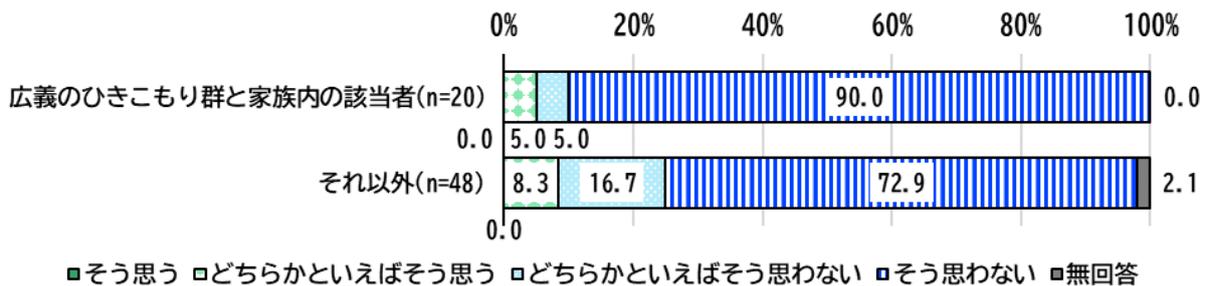
⑤他の人には言えない本音を話せることがある

・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(80.0%) が最も多い。



⑥いつもつながりを感じている

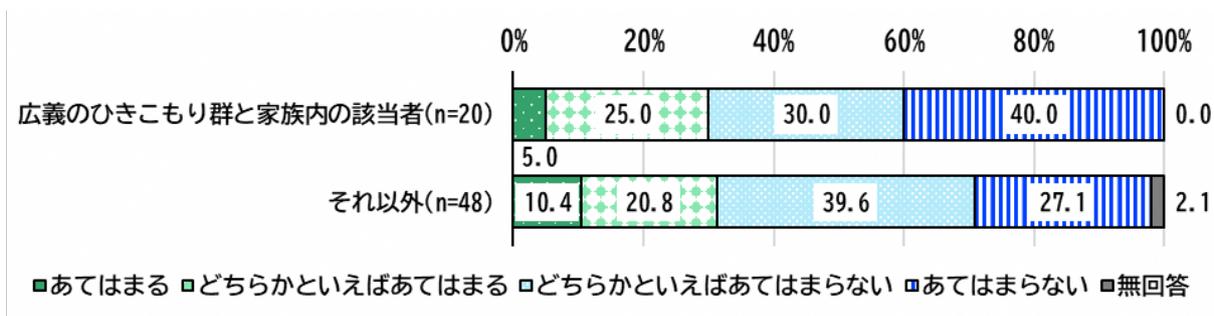
・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(90.0%) が最も多い。



問 16 その方は、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。①～⑦のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

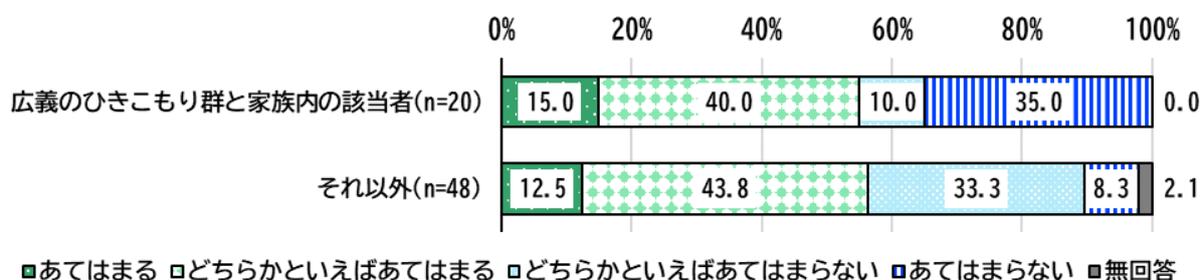
①誰とでもすぐ仲良くなれる

・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「あてはまらない」(40.0%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(30.0%)、「どちらかといえばあてはまる」(25.0%)となっている。



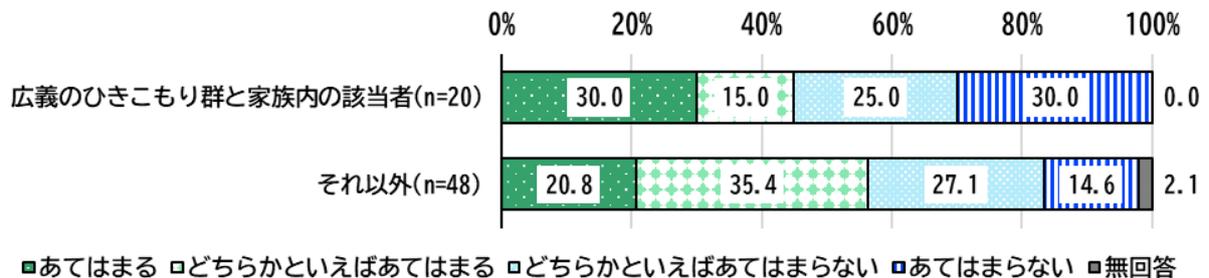
②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる

・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「どちらかといえばあてはまる」(40.0%)が最も多く、次いで「あてはまらない」(35.0%)、「あてはまる」(15.0%)となっている。



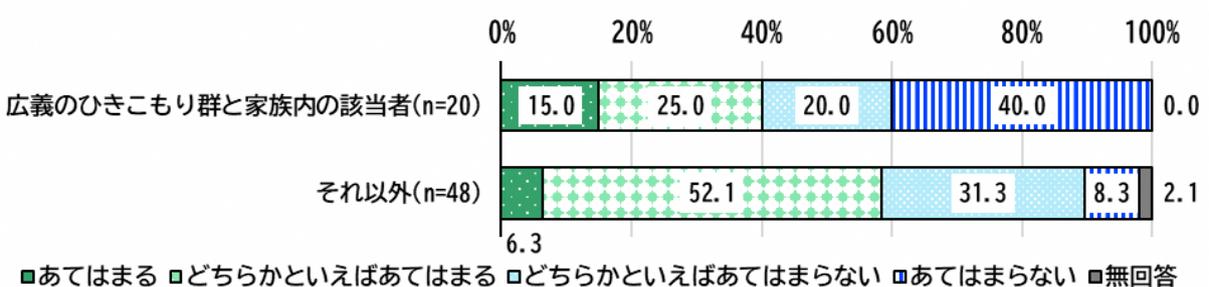
③親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「あてはまる」「あてはまらない」（ともに 30.0%）が最も多い。



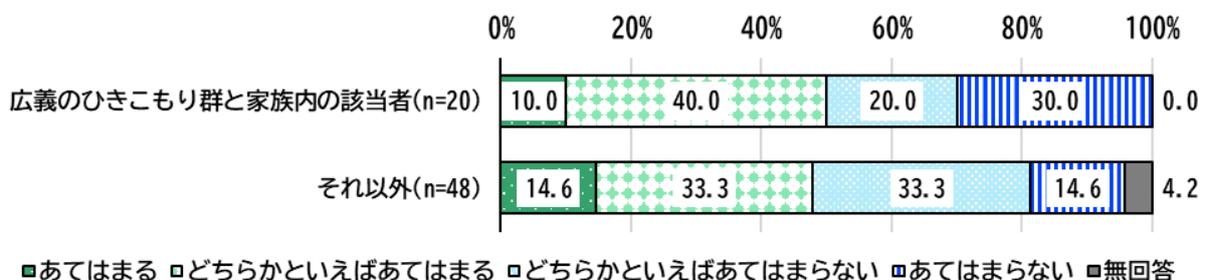
④その場に合った行動がとれる

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「あてはまらない」（40.0%）が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」（25.0%）、「どちらかといえばあてはまらない」（20.0%）となっている。



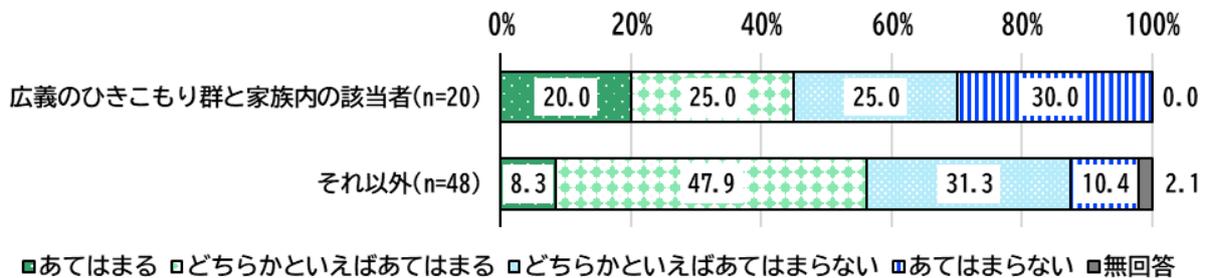
⑤表情が豊かである

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「どちらかといえばあてはまる」（40.0%）が最も多く、次いで「あてはまらない」（30.0%）、「どちらかといえばあてはまらない」（20.0%）となっている。



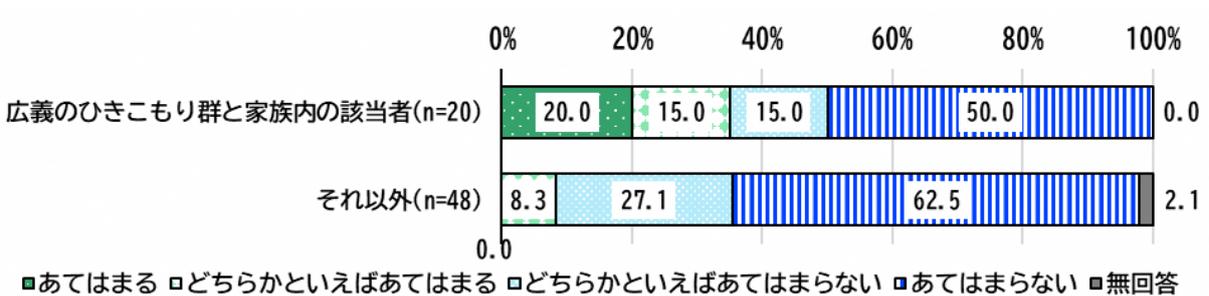
⑥気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「あてはまらない」(30.0%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」(ともに25.0%)となっている。



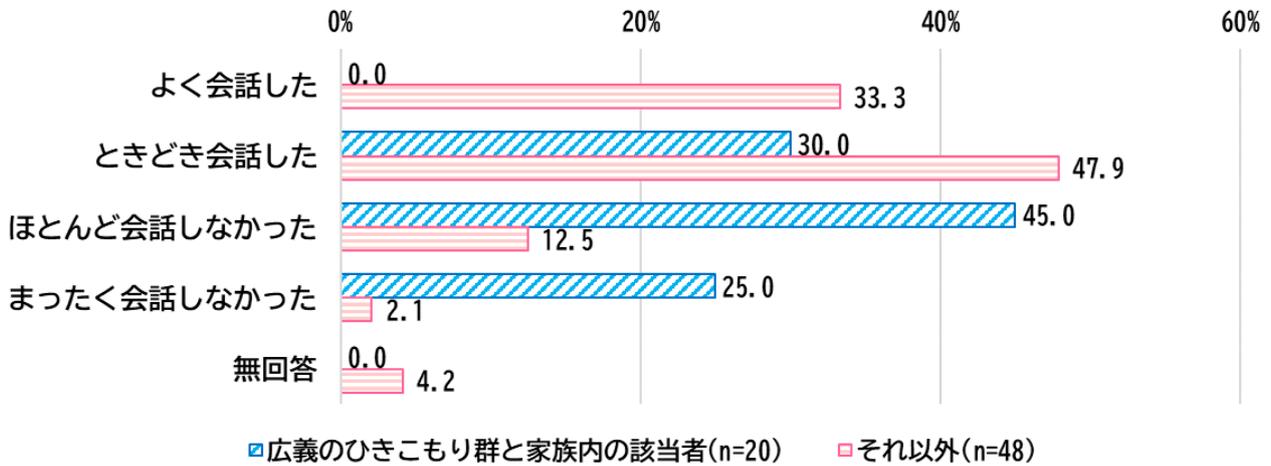
⑦人にぶつかっても、あやまらないことがある

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「あてはまらない」(50.0%)が最も多く、次いで「あてはまる」(20.0%)、「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」(ともに15.0%)となっている。



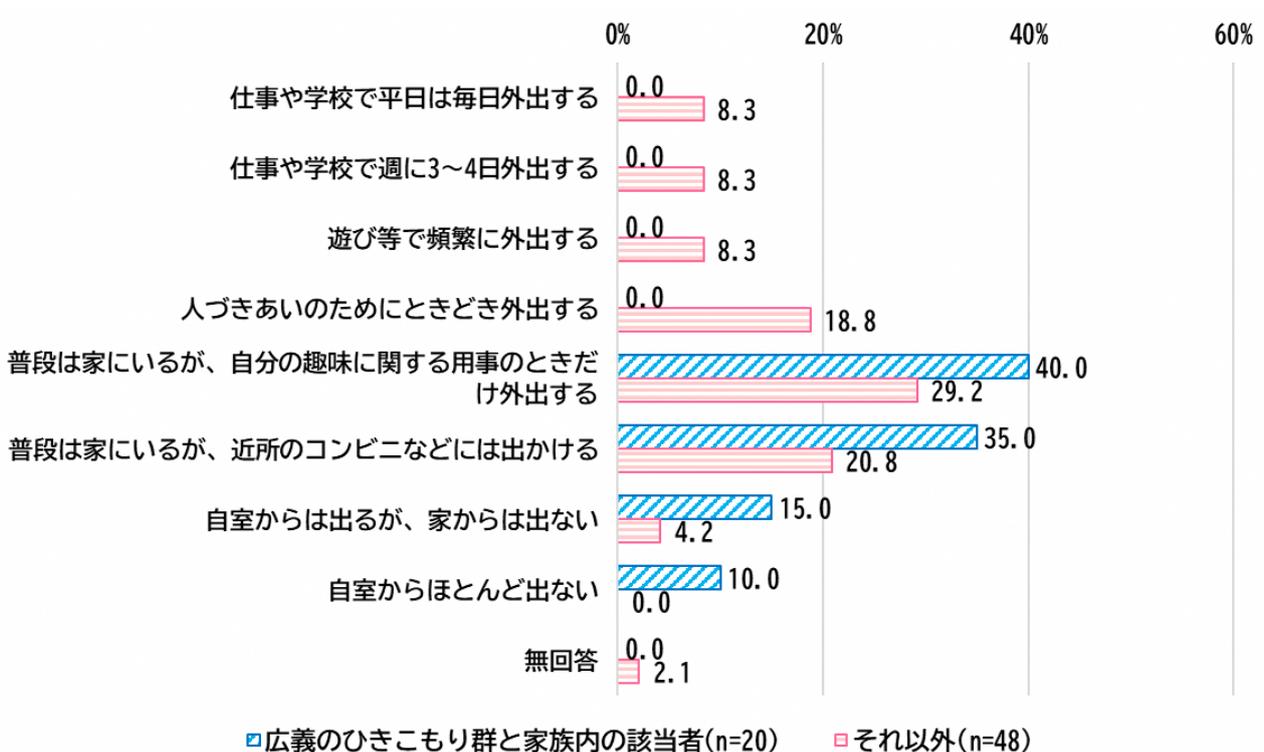
問 17 その方は最近6か月間で、家族以外の人と会話はありましたか。(1つ)

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「ほとんど会話しなかった」(45.0%)が最も多く、次いで「ときどき会話した」(30.0%)、「まったく会話しなかった」(25.0%)となっている。



問 18 その方は普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つ)

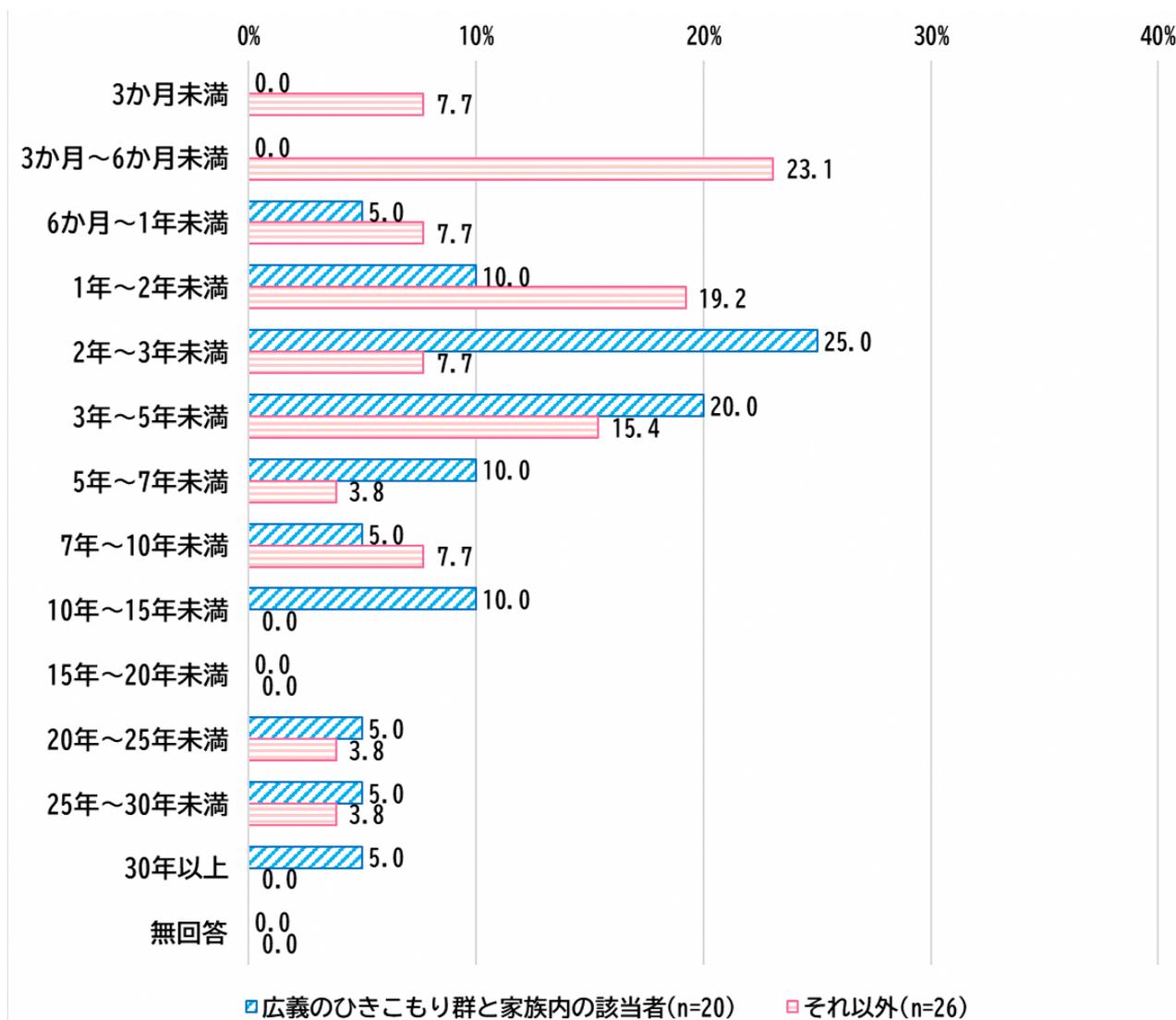
- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」(40.0%)が最も多く、次いで「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(35.0%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(15.0%)となっている。



問 19～問 33 は、問 18 で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「7. 自室からは出るが、家からは出ない」「8. 自室からほとんど出ない」を選択した人が回答

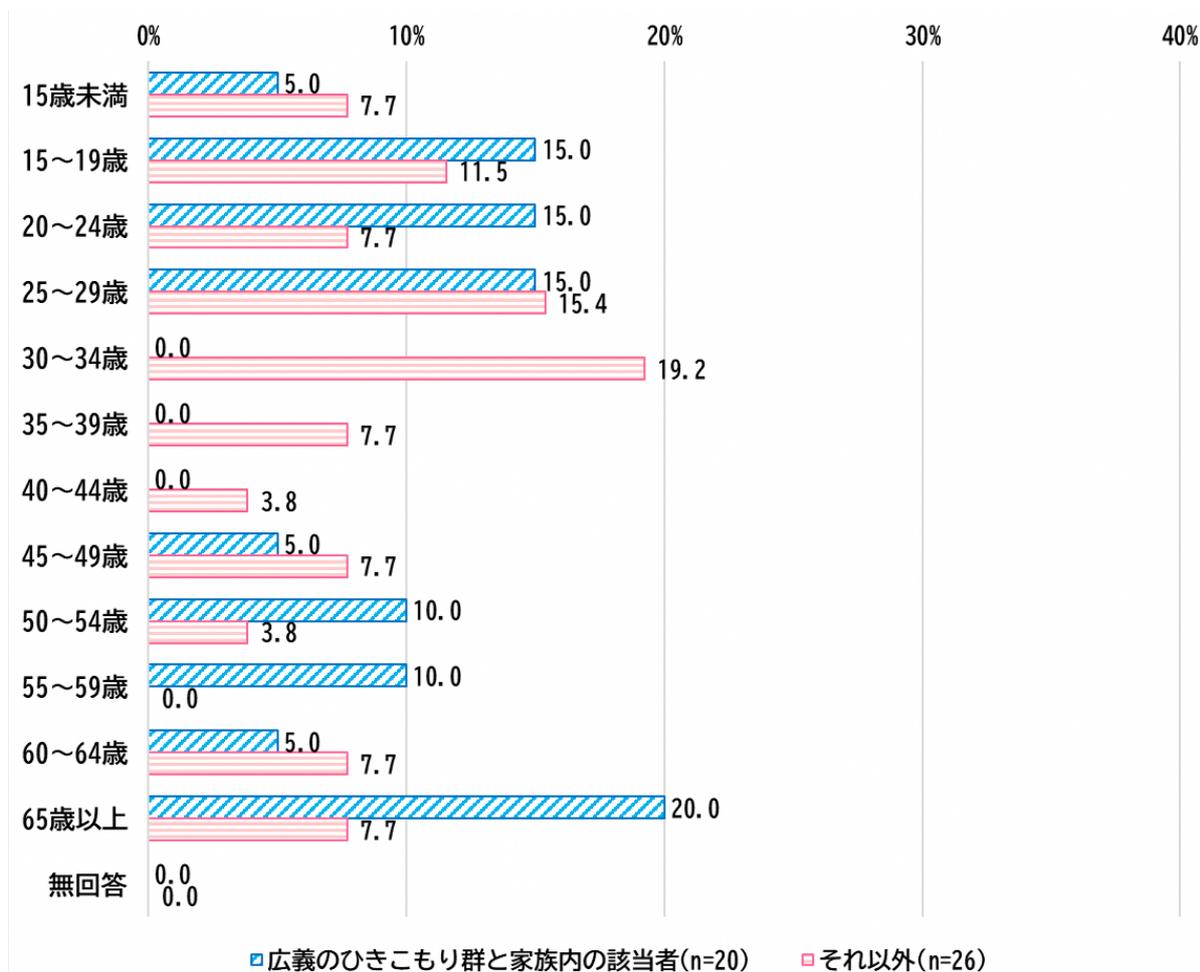
問 19 その方の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つ)

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「2～3年未満」(25.0%) が最も多く、次いで「3～5年未満」(20.0%)、「1年～2年未満」「5年～7年未満」「10年～15年未満」(ともに 10.0%) となっている。



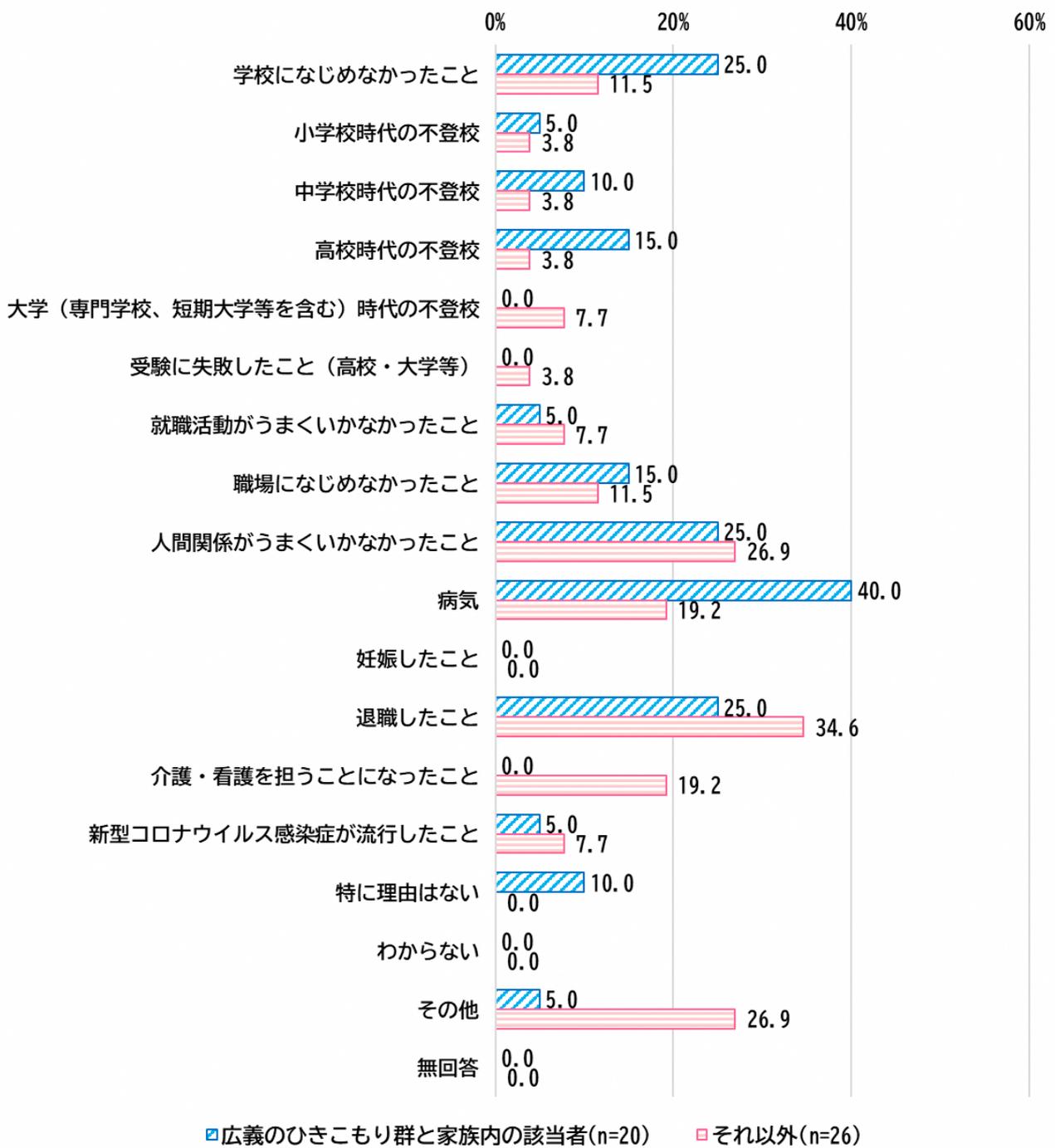
問 20 その方の外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(1つ)

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「65歳以上」(20.0%)が最も多く、次いで「15～19歳」「20～24歳」「25～29歳」(ともに15.0%)となっている。



問 21 その方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも)

・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「病気」(40.0%)が最も多く、次いで「学校になじめなかったこと」「人間関係がうまくいかなかったこと」「退職したこと」(ともに25.0%)となっている。



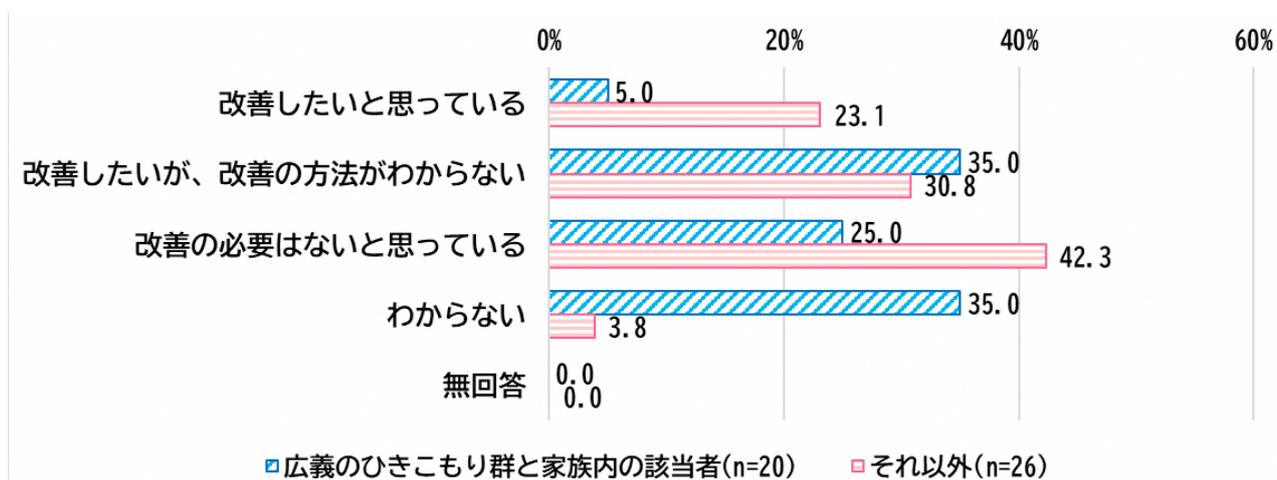
問 22 前問で回答された中で、最も大きな理由は何ですか。(1つ)

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「病気」「退職したこと」(ともに 20.0%) が最も多く、次いで「特に理由はない」(15.0%) となっている。



問 23 その方が現在の状態になったことについて、どのように感じられていますか。(1つ)

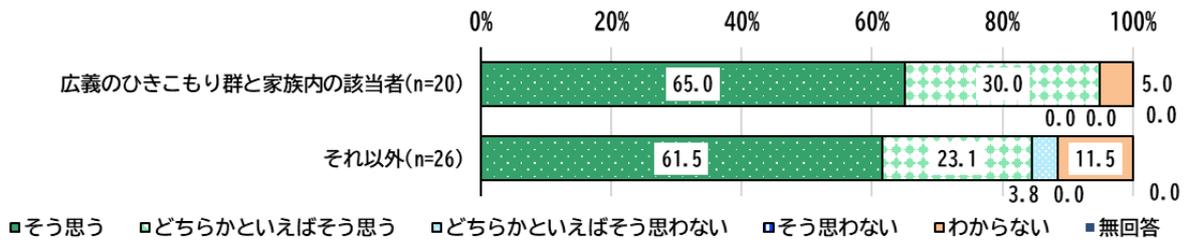
・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「改善したいが、改善の方法がわからない」「わからない」(ともに 35.0%) が最も多く、次いで「改善の必要はないと思っている」(25.0%) となっている。



問 24 次の場所は、今のその方にとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

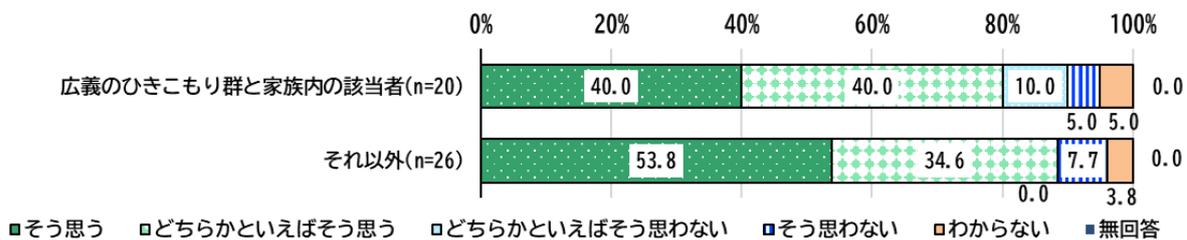
①自分の部屋

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思う」(65.0%) が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」(30.0%)、
「わからない」(5.0%) となっている。



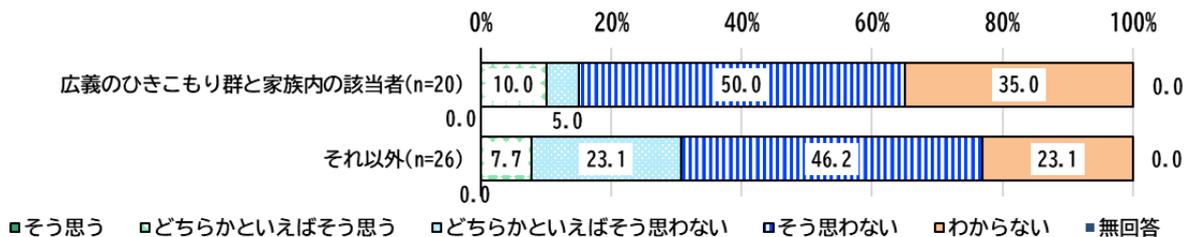
②家庭（実家や親族の家を含む）

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」（ともに40.0%）が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」（10.0%）となっている。



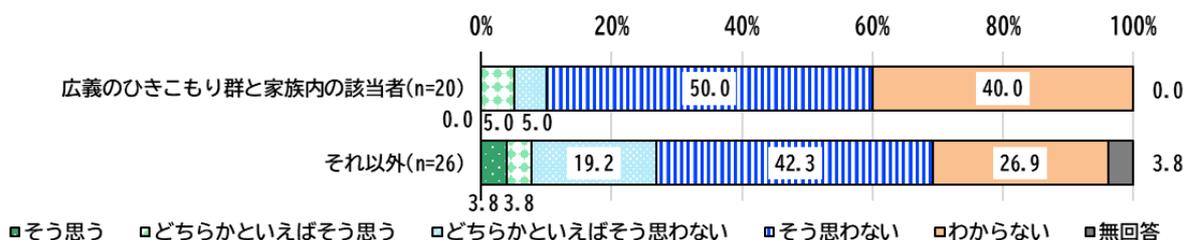
③学校（卒業した学校を含む）

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」(50.0%) が最も多く、次いで「わからない」(35.0%)、
「どちらかといえばそう思う」(10.0%) となっている。



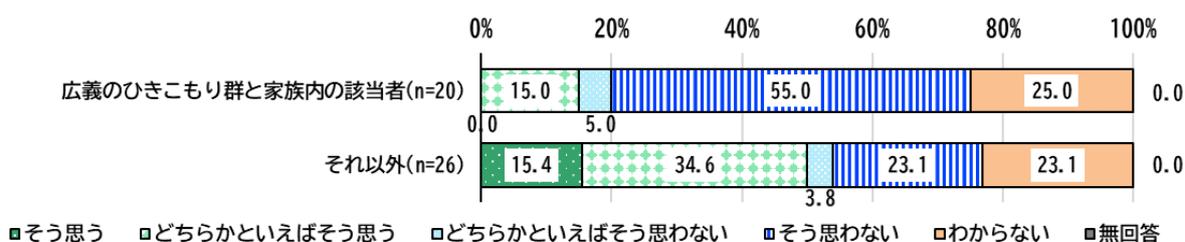
④職場（過去の職場を含む）

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」（50.0%）が最も多く、次いで「わからない」（40.0%）となっている。



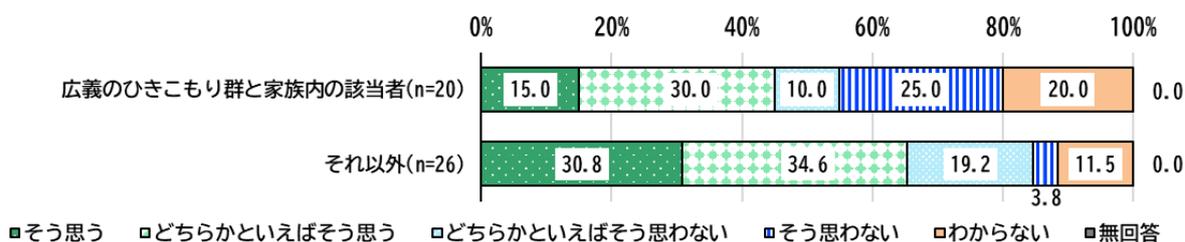
⑤地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「そう思わない」（55.0%）が最も多く、次いで「わからない」（25.0%）、「どちらかといえばそう思う」（15.0%）となっている。



⑥インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

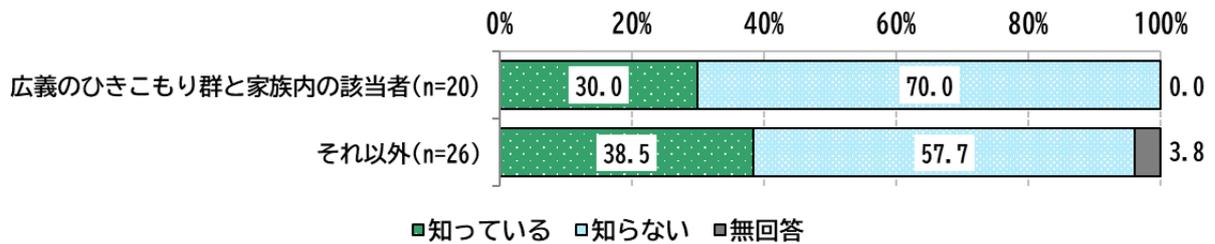
- ・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「どちらかといえばそう思う」（30.0%）が最も多く、次いで「そう思わない」（25.0%）、「わからない」（20.0%）となっている。



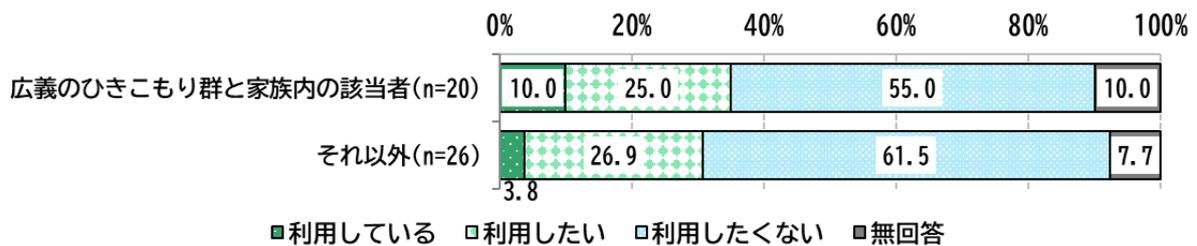
問 25 その方の現在の状態を改善するための支援について、それぞれ認知および利用状況についてお聞かせください。①～⑪の認知と利用状況それぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

①相談窓口

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(70.0%)が最も多い。

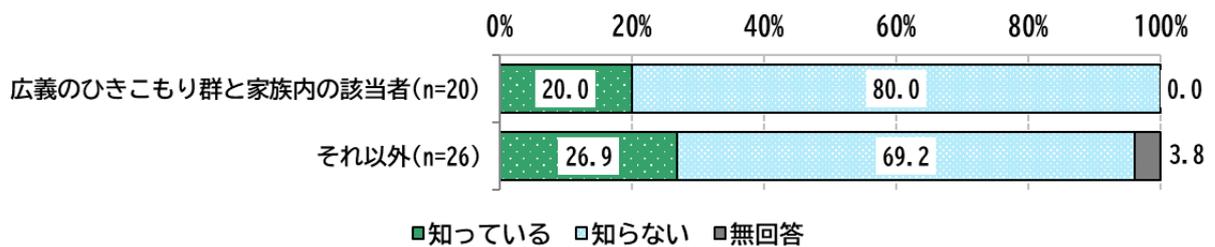


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(55.0%)が最も多く、次いで「利用したい」(25.0%)となっている。

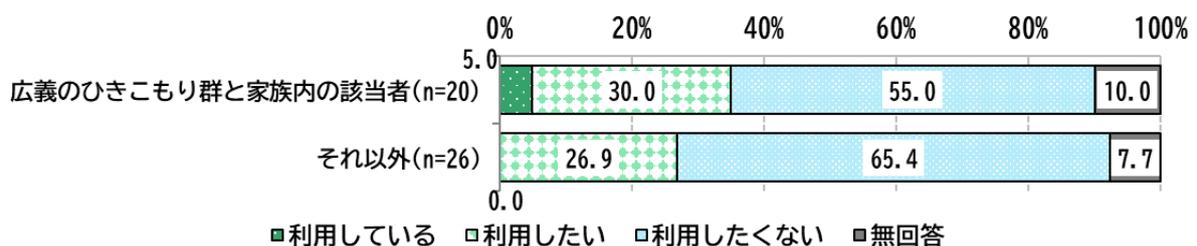


②オンラインでの相談

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(80.0%)が最も多い。

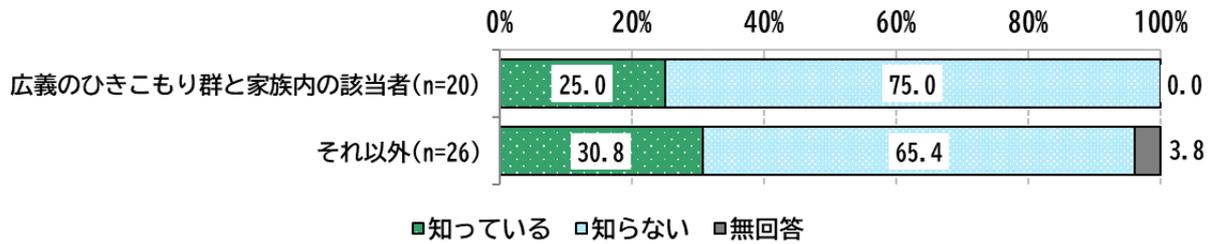


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(55.0%)が最も多く、次いで「利用したい」(30.0%)となっている。

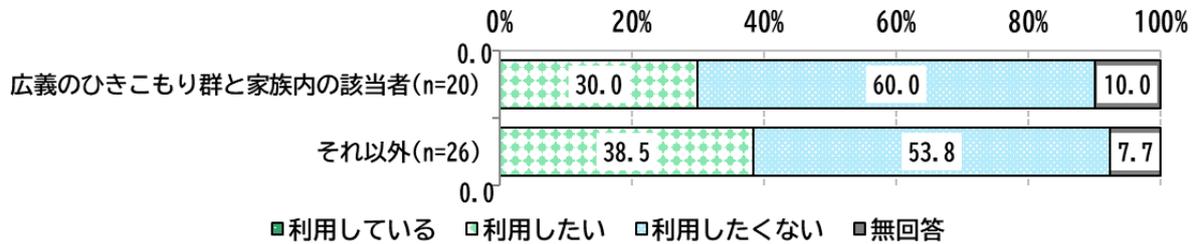


③当事者のカウンセリング

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(75.0%) が最も多い。

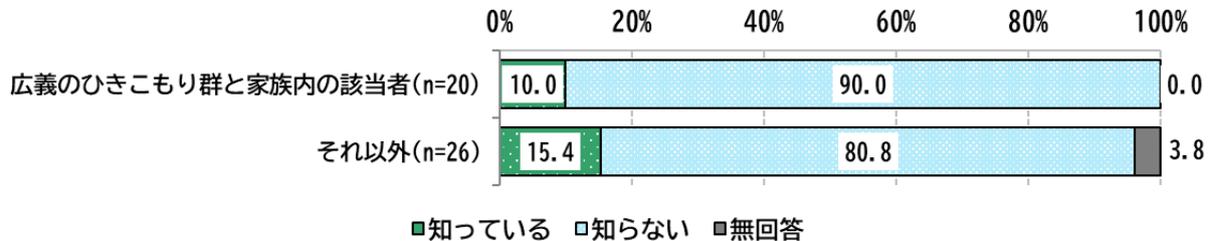


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(60.0%) が最も多く、次いで「利用したい」(30.0%) となっている。

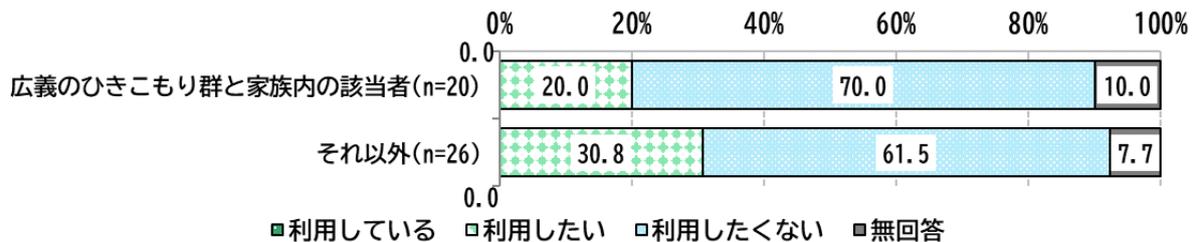


④居場所の運営

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(90.0%) が最も多い。

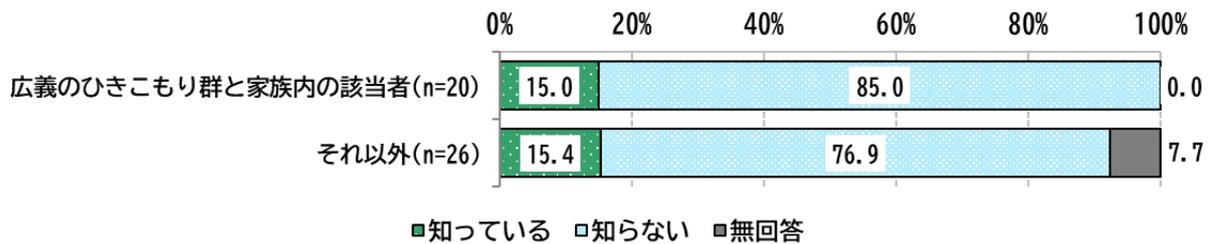


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(70.0%) が最も多く、次いで「利用したい」(20.0%) となっている。

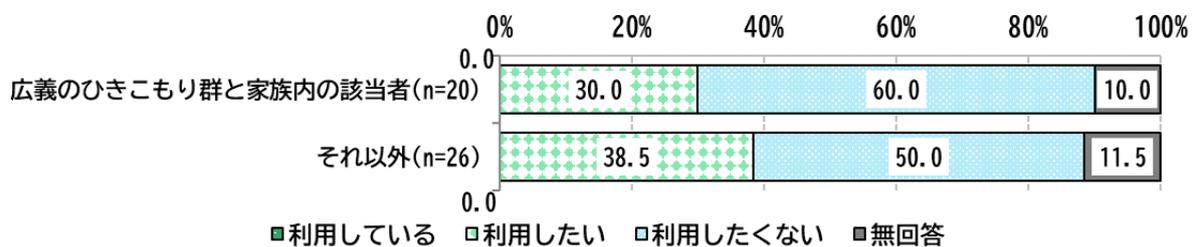


⑤社会体験活動の提供

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(85.0%) が最も多い。

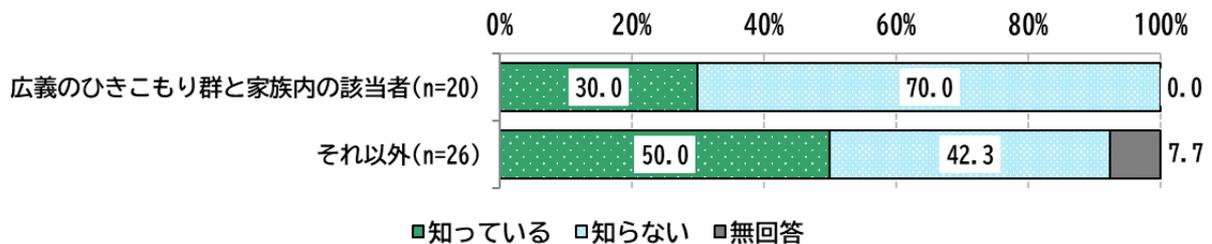


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(60.0%) が最も多く、次いで「利用したい」(30.0%) となっている。

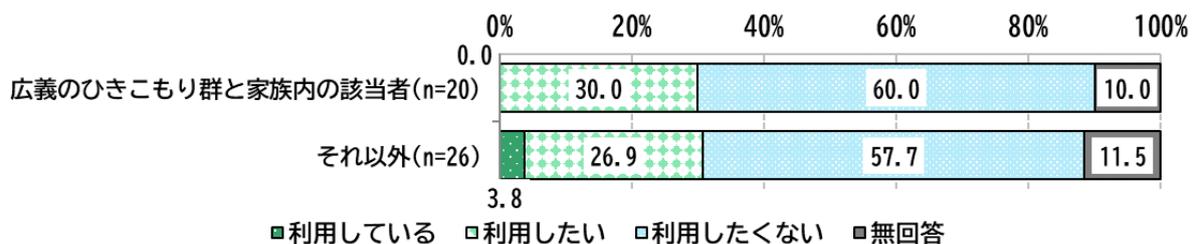


⑥就労支援

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(70.0%) が最も多い。

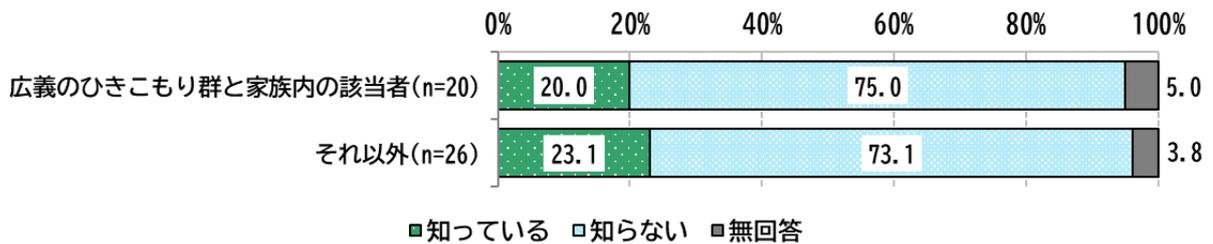


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(60.0%) が最も多く、次いで「利用したい」(30.0%) となっている。

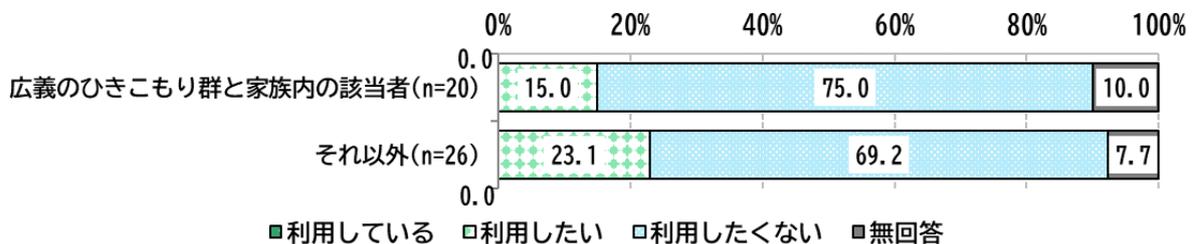


⑦就学支援

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(75.0%) が最も多い。

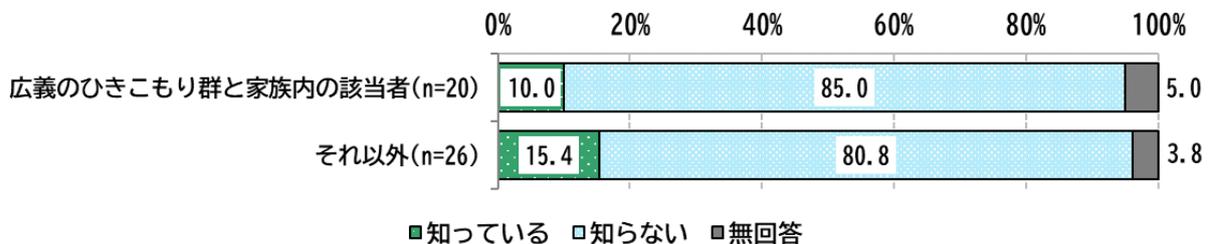


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(75.0%) が最も多く、次いで「利用したい」(15.0%) となっている。

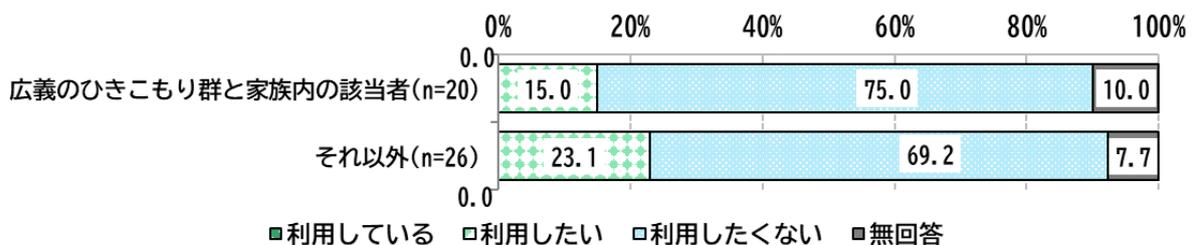


⑧家族個別支援（面談等）

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(85.0%) が最も多い。

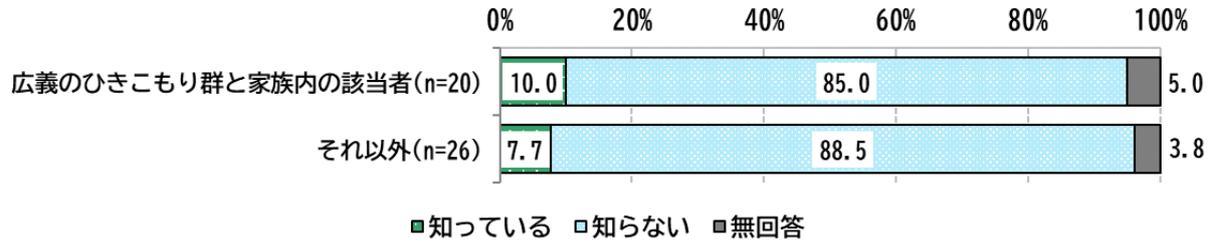


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(75.0%) が最も多く、次いで「利用したい」(15.0%) となっている。

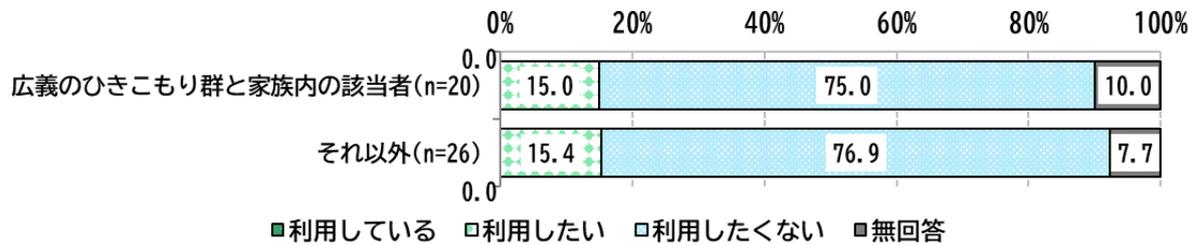


⑨家族へのグループ支援(家族教室、交流会等)

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(85.0%)が最も多い。

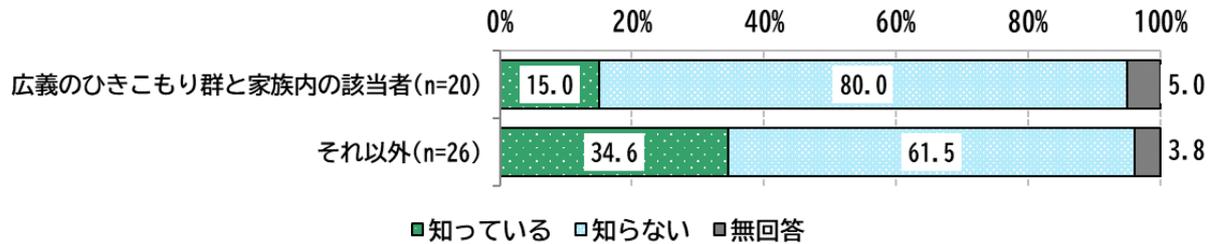


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(75.0%)が最も多く、次いで「利用したい」(15.0%)となっている。

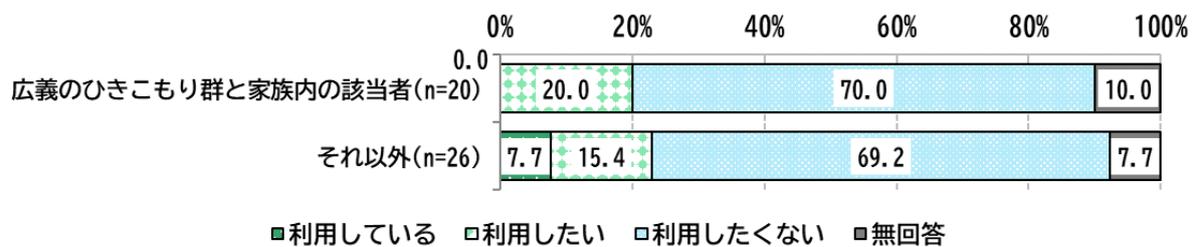


⑩イベントの開催(講演会等)

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」(80.0%)が最も多い。

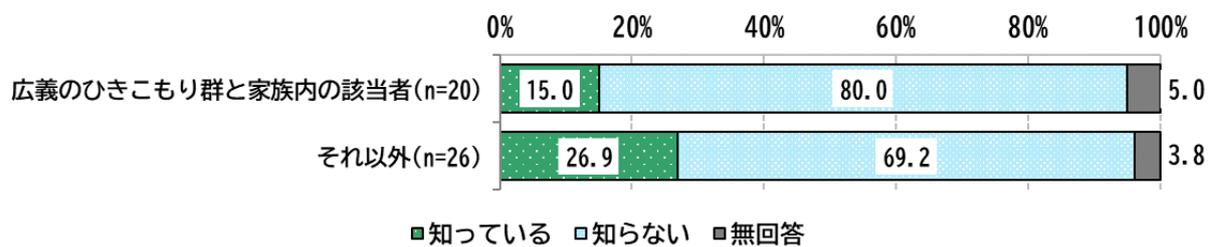


<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」(70.0%)が最も多く、次いで「利用したい」(20.0%)となっている。

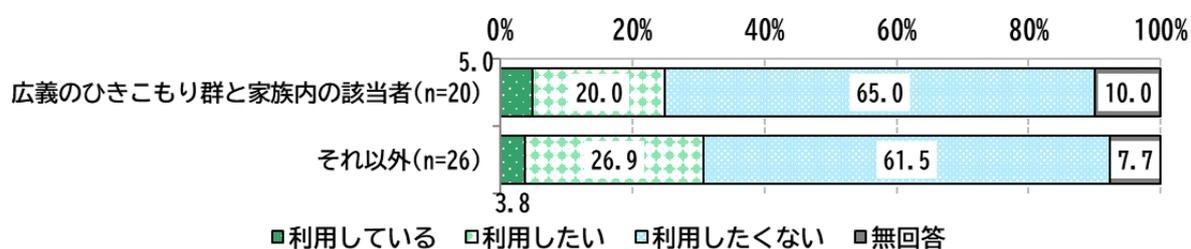


①支援情報の提供（他団体の情報含む）

<認知> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「知らない」（80.0%）が最も多い。



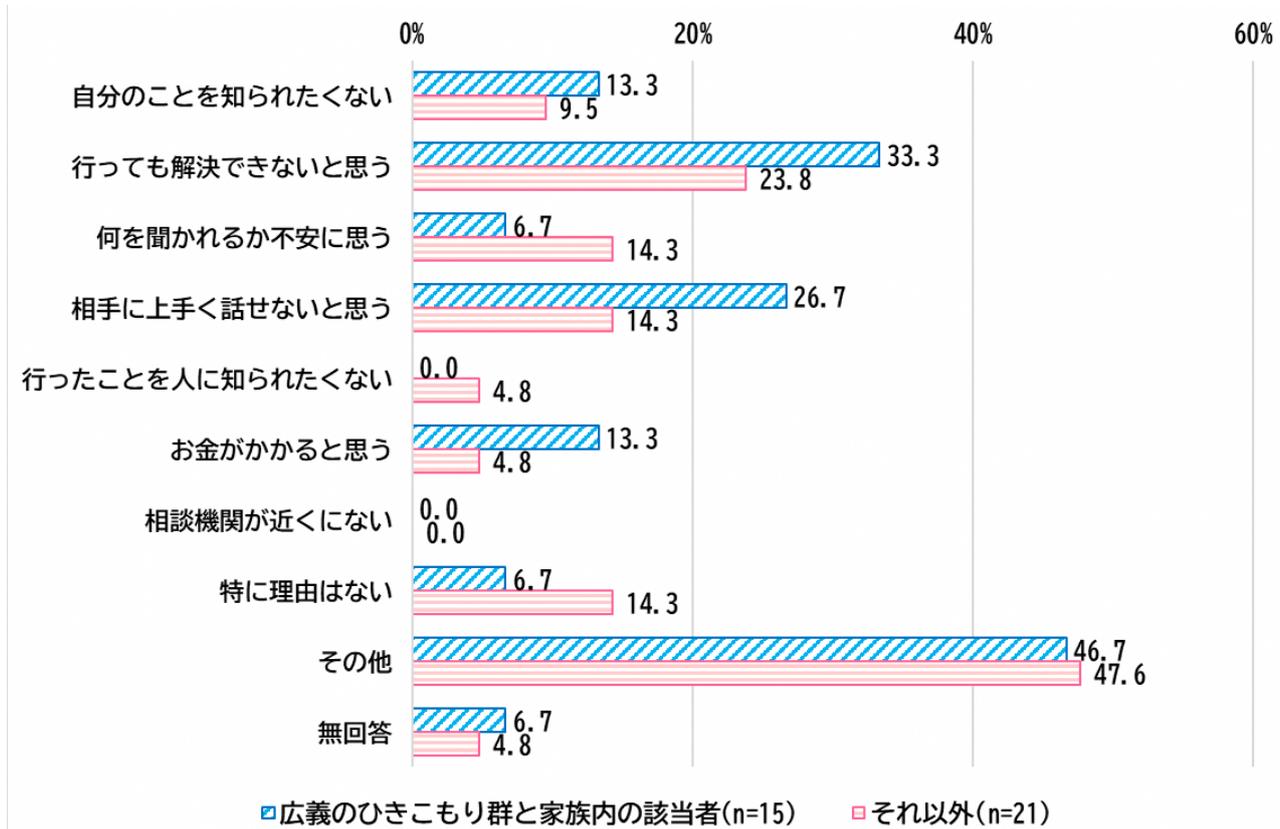
<利用状況> 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「利用したくない」（65.0%）が最も多く、次いで「利用したい」（20.0%）となっている。



【問 25 でいずれか1つでも「利用したくない」と回答した方のみ】

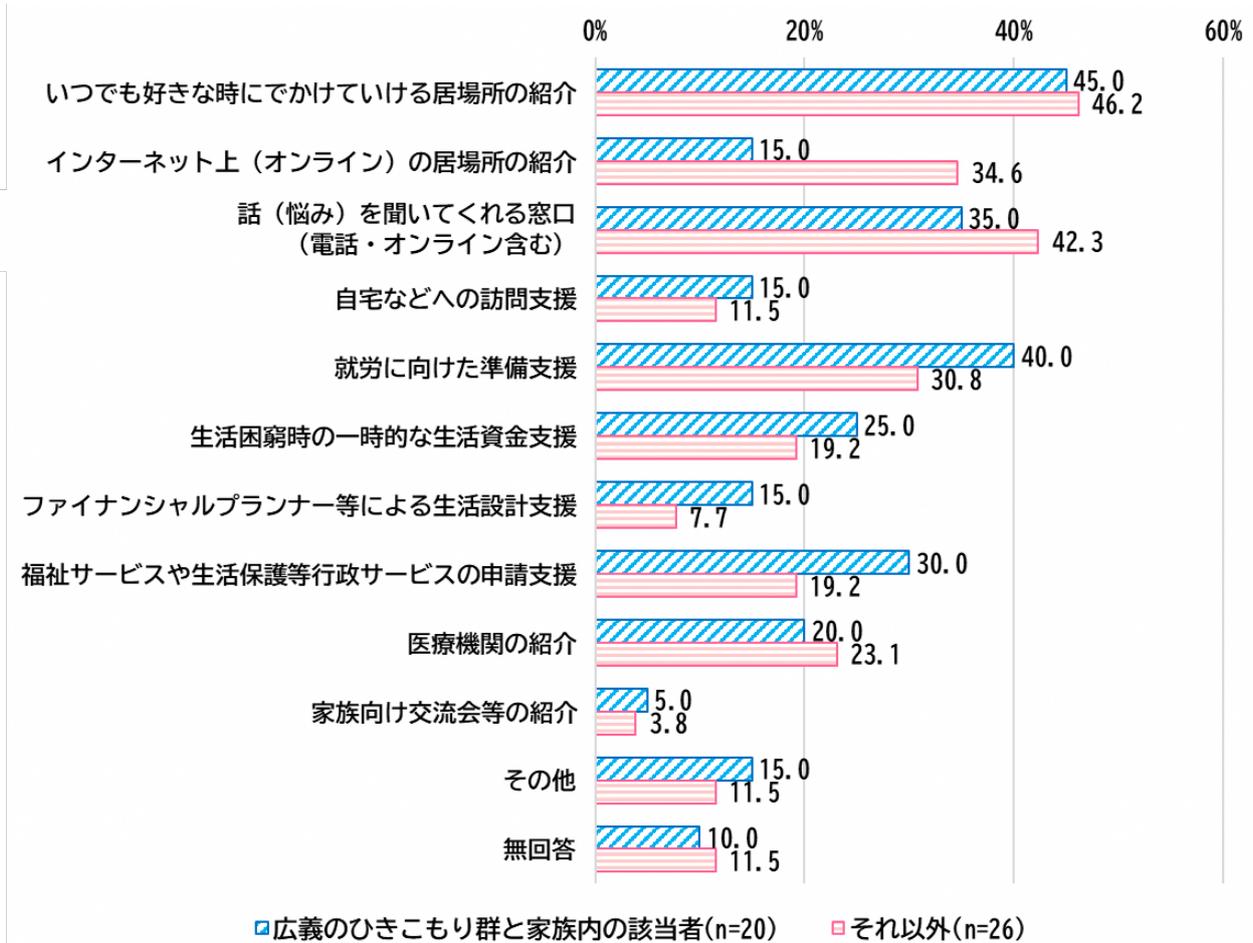
問 26 支援を利用したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも)

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「その他」(46.7%) が最も多く、次いで「行っても解決できないと思う」(33.3%)、「相手に上手く話せないと思う」(26.7%) となっている。



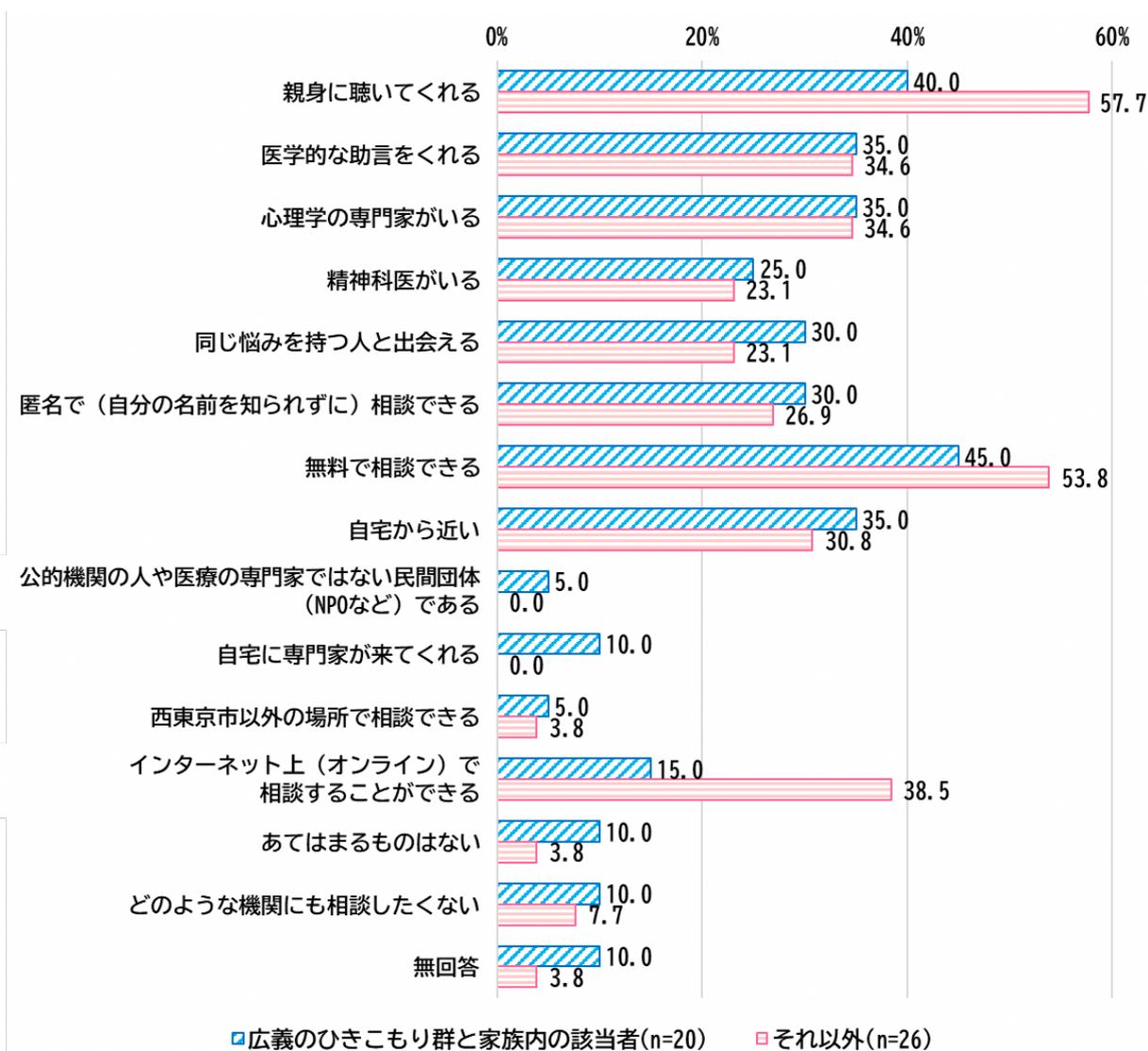
問 27 どのような支援等があると良いと思いますか。(いくつでも)

・広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「いつでも好きな時にでかけていける居場所の紹介」(45.0%)が最も多く、次いで「就労に向けた準備支援」(40.0%)、「話(悩み)を聞いてくれる窓口(電話・オンライン含む)」(35.0%)となっている。



問 28 どのような機関に相談したいと思いますか。(いくつでも)

- ・ 広義のひきこもり群と家族内の該当者では、「無料で相談できる」(45.0%)が最も多く、次いで「親身に聴いてくれる」(40.0%)、「医学的な助言をくれる」「心理学の専門家がいる」「自宅から近い」(ともに35.0%)となっている。

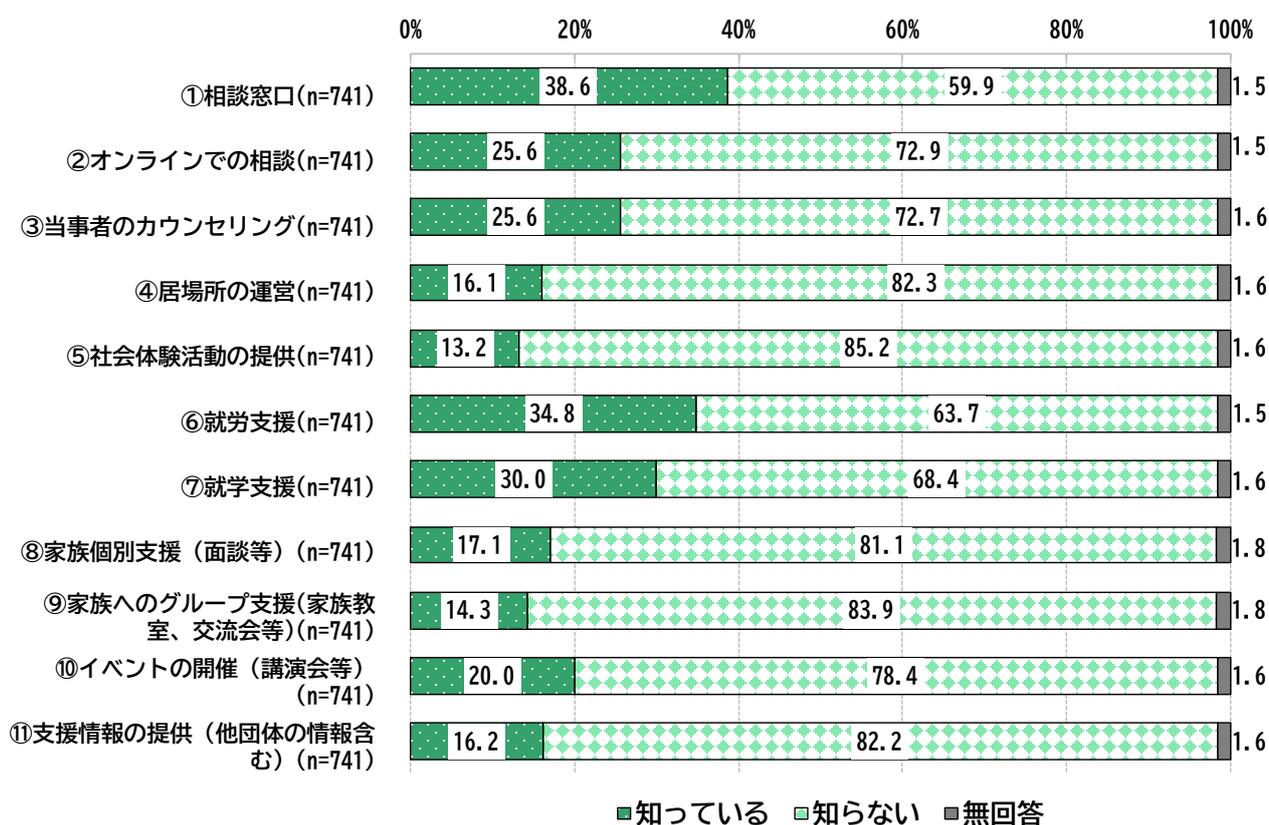


問 29～問 33 は問 8 で「いない」と回答した方(741 件)が回答

問 29～問 33 はご自身が「仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない状態」になった場合を想定してご回答頂いております。

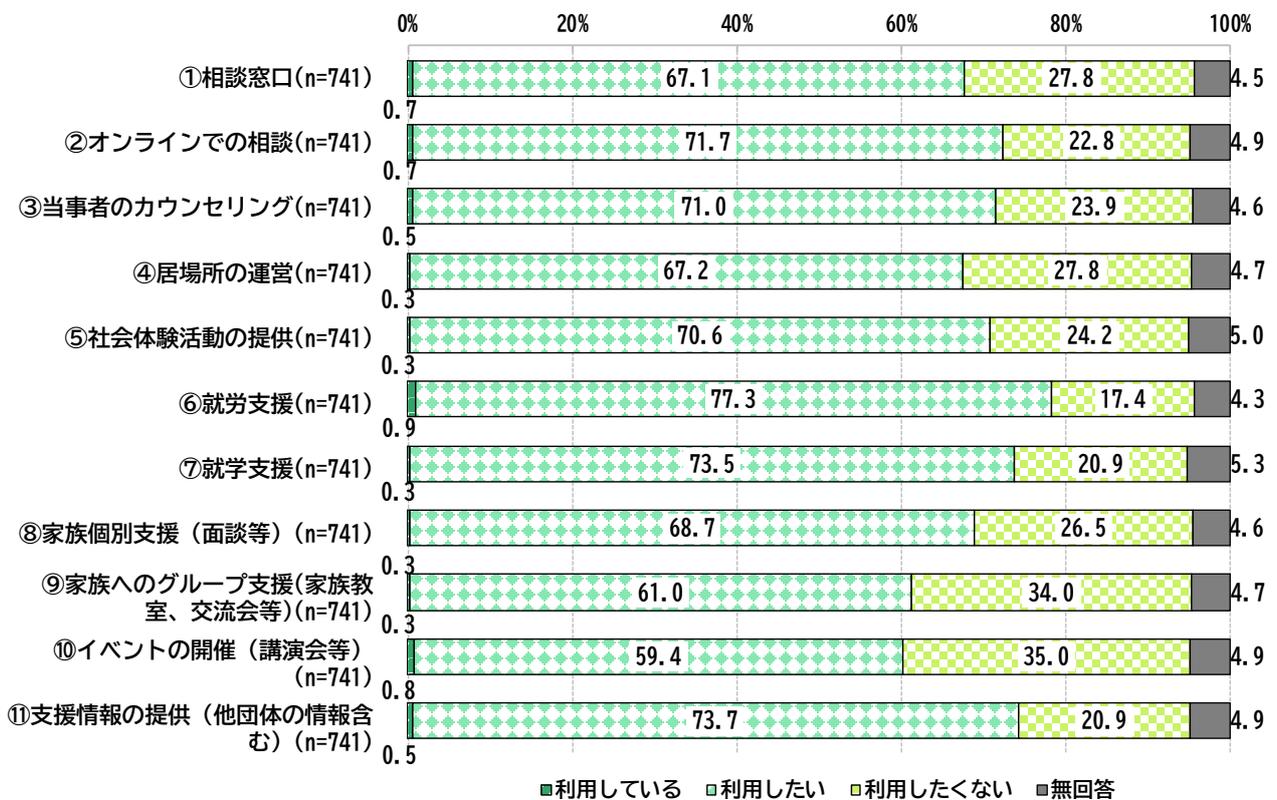
問 29-認知 ひきこもりの方向けの支援について、認知状況をお聞かせください。①～⑪の認知状況について、あてはまる番号を1つお答えください。

- ・「知っている」と回答した方の割合は「①相談窓口」(38.6%)が最も高く、次いで「⑥就労支援」(34.8%)、「⑦就学支援」(30.0%)となっている。
- ・全体的に「知らない」と回答した割合が高く、特に「④居場所の運営」(82.3%)や「⑤社会体験活動の提供」(85.2%)、「⑨家族へのグループ支援(家族教室、交流会等)」(83.9%)は「知らない」の割合が高くなっている。



問 29-利用意向 ひきこもりの方向けの支援について、利用意向をお聞かせください。①～⑪の利用意向について、あてはまる番号を1つお答えください。

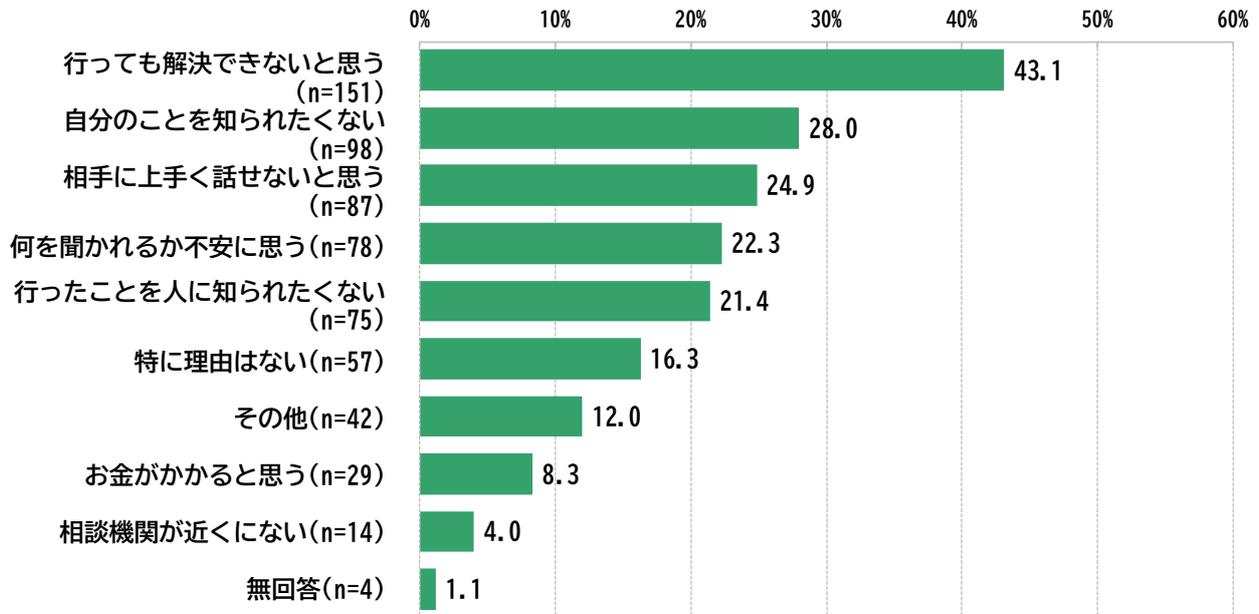
- ・「利用したい」と回答した方の割合は「⑥就労支援」(77.3%)が最も高く、次いで「⑪支援情報の提供」(73.7%)、「⑦就学支援」(73.5%)、となっている。
- ・「利用したくない」と回答した方の割合は「⑩イベントの開催(講演会等)」(35.0%)が最も高く、次いで「⑨家族へのグループ支援(家族教室、交流会等)」(34.0%)、「①相談窓口」「④居場所の運営」(共に27.8%)となっている。



【問 29 でいずれか1つでも「利用したくない」と回答した方のみ】

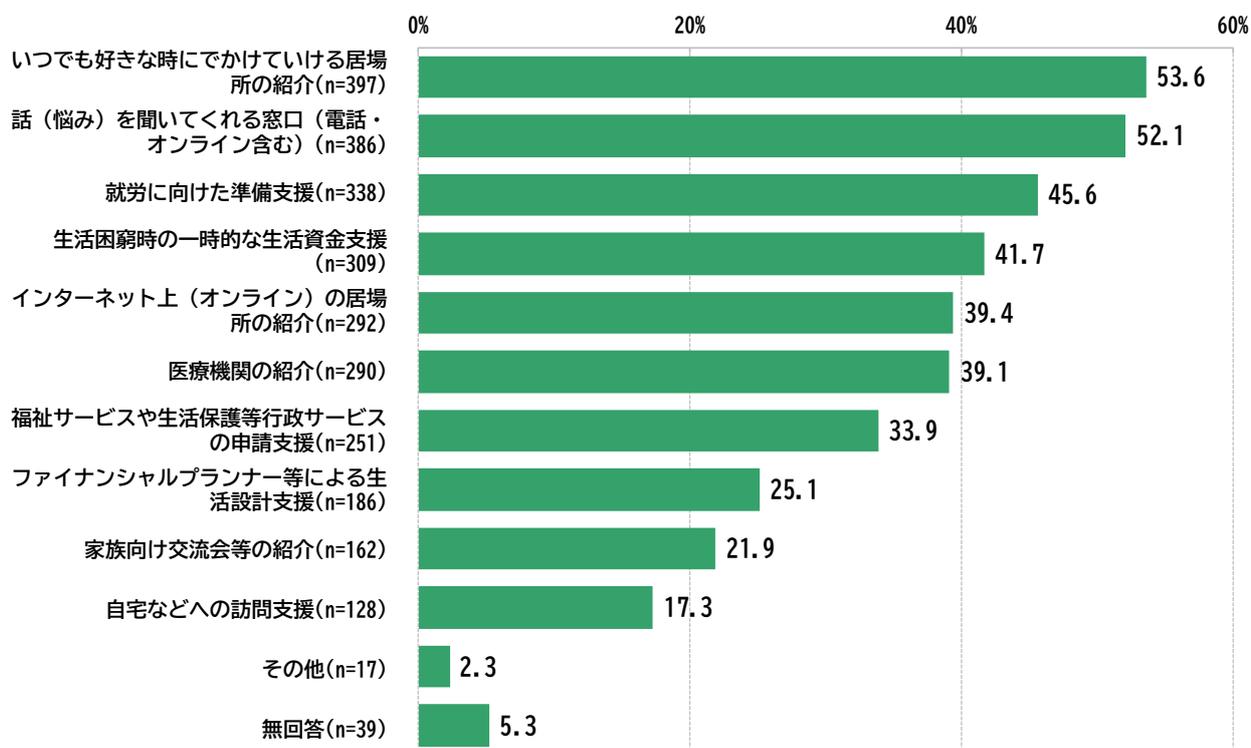
問 30 支援を利用したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも)

- ・「行っても解決できないと思う」(43.1%) が最も多く、次いで「自分のことを知られたくない」(28.0%)、「相手に上手く話せないと思う」(24.9%) となっている。



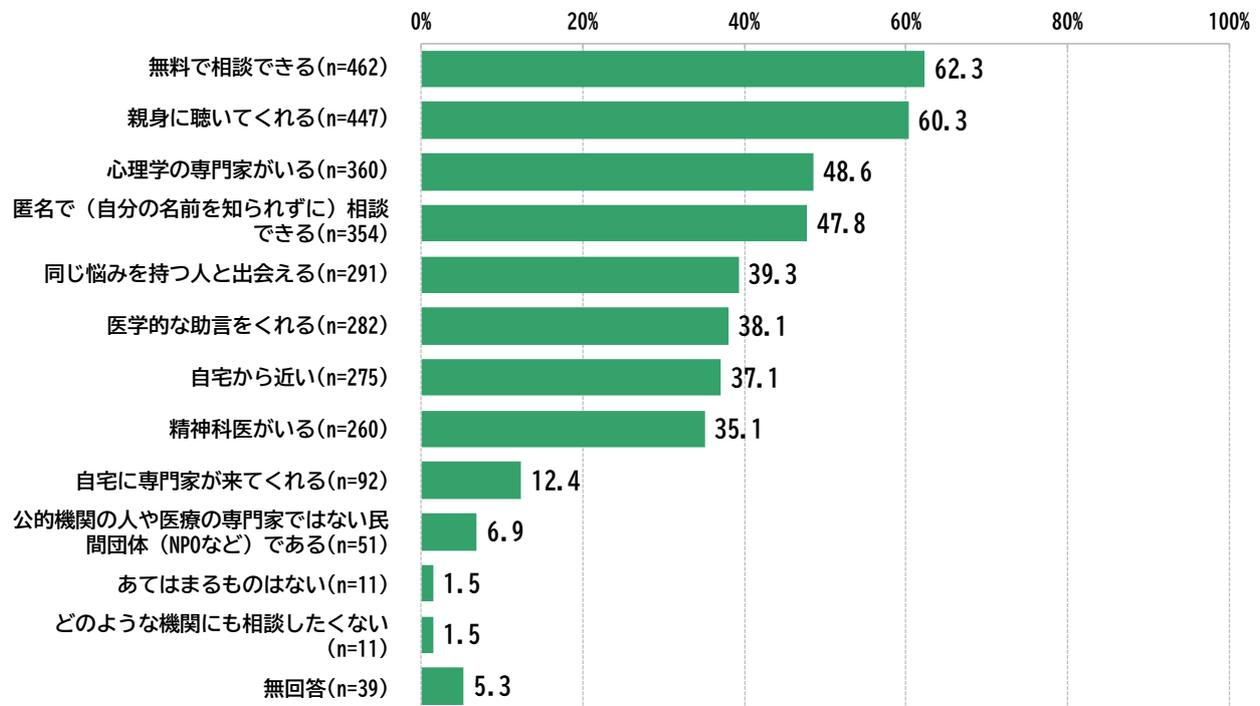
問 31 どのような支援等があると良いと思いますか。(いくつでも)

・「いつでも好きな時にでかけていける居場所の紹介」(53.6%) が最も多く、次いで「話(悩み)を聞いてくれる窓口(電話・オンライン含む)」(52.1%)、「就労に向けた準備支援」(45.6%)となっている。



問 32 どのような機関に相談したいと思いますか。(いくつでも)

- ・「無料で相談できる」(62.3%) が最も多く、次いで「親身に聴いてくれる」(60.3%)、「心理学の専門家がいる」(48.6%) となっている。



問 33 「ひきこもり」の背景や、「ひきこもり」についての考え、社会的な支援についてあなたのお考えに最も近いものは何ですか。①~⑰のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

・「そう思う+少しそう思う」

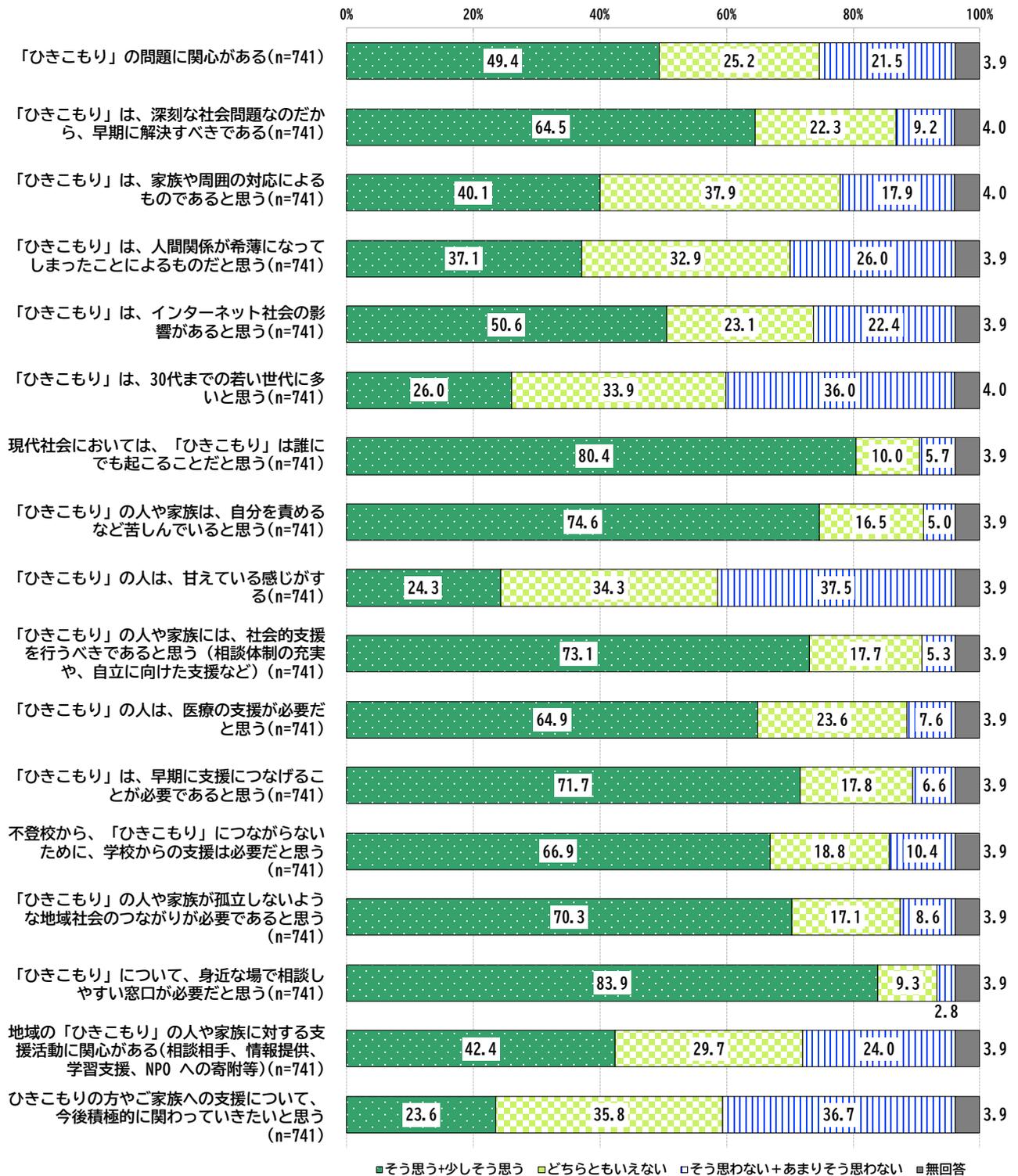
「「ひきこもり」について、身近な場で相談しやすい窓口が必要だと思う」(83.9%) が最も高く、次いで「現代社会においては、「ひきこもり」は誰にでも起こることだと思う」(80.4%) や、「ひきこもりの人や家族は、自分を責めるなど苦しんでいると思う」(74.6%) となっている。

・「どちらともいえない」

「「ひきこもり」は家族や周囲の対応によるものであると思う」(37.9%) が最も多く、次いで「ひきこもりの方やご家族への支援について、今後積極的に関わっていきたいと思う」(35.8%)、「「ひきこもり」の人は甘えている感じがする」(34.3%) となっている。

・「そう思わない+あまりそう思わない」

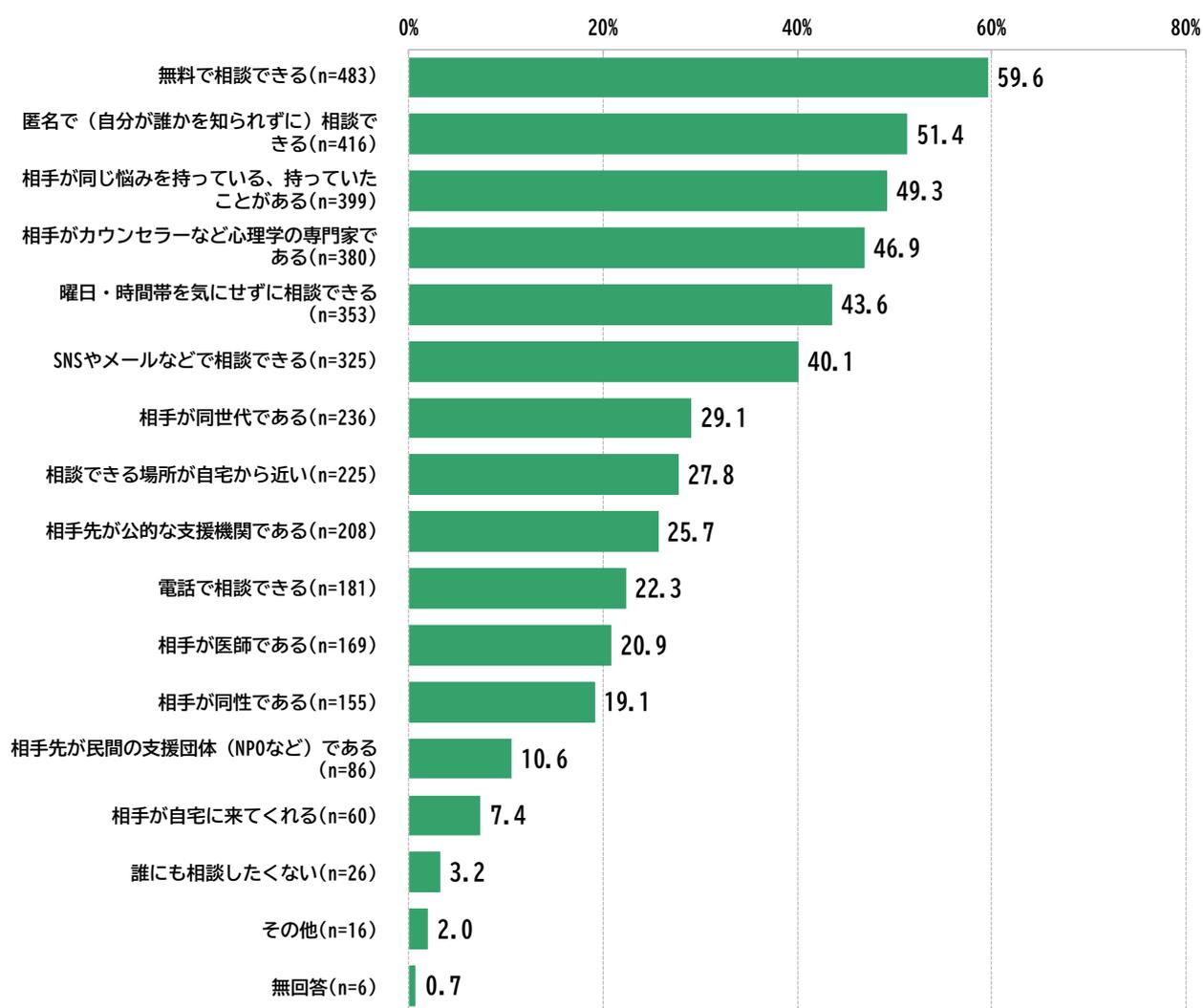
「ひきこもりの人は、甘えている感じがする」(37.5%) が最も高く、次いで「ひきこもりの方やご家族への支援について、今後積極的に関わっていきたいと思う」(36.7%)、「ひきこもりは、30代までの若い世代に多いと思う」(36.0%) となっている。



問 34 あなたが、仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(いくつでも)

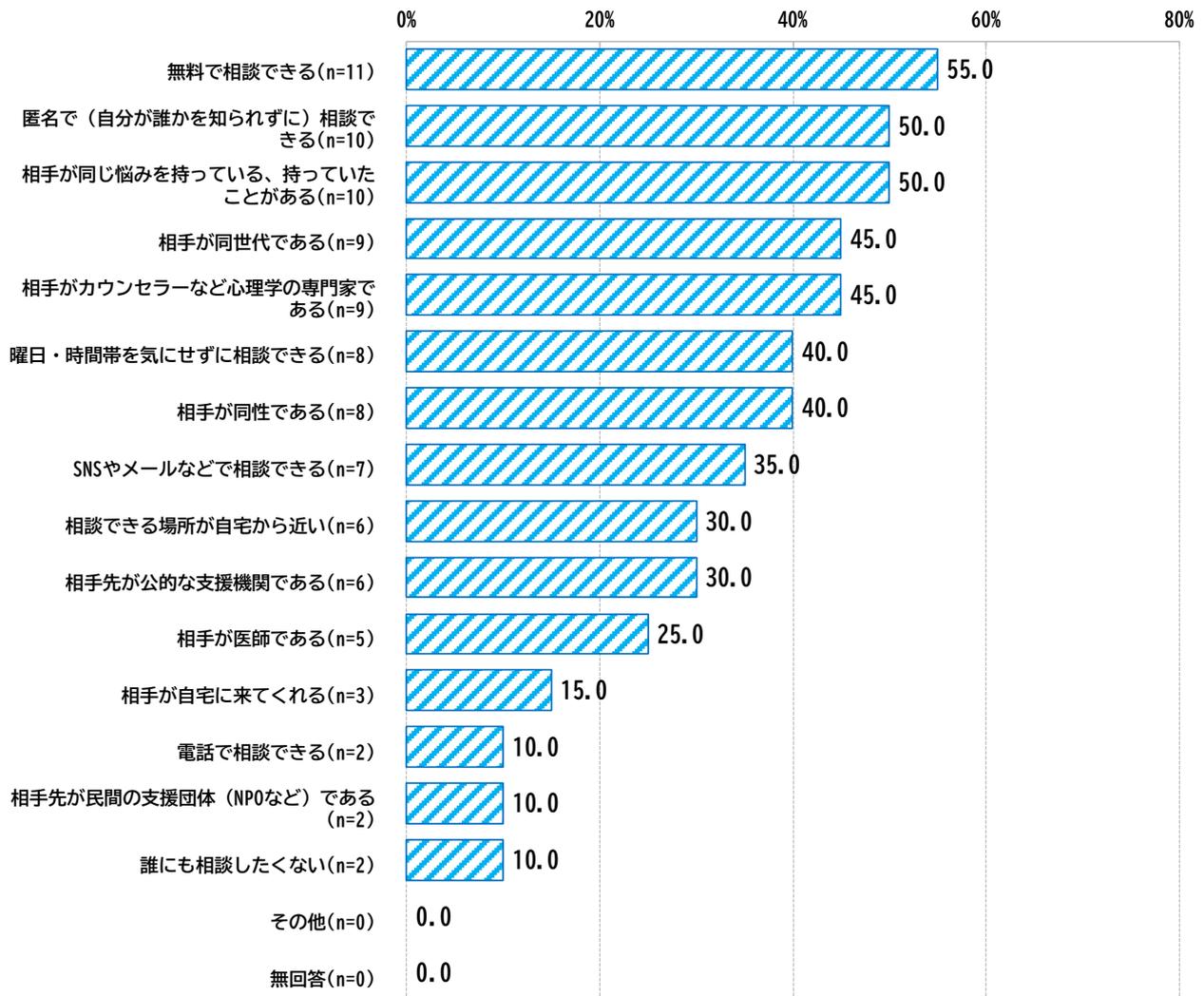
【全体(n=810)】

・「無料で相談できる」(59.6%) が最も多く、次いで「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(51.4%)、「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(49.3%)となっている。



【広義のひきこもり群と家族内の該当者(n=20)】

- ・「無料で相談できる」(55.0%) が最も多く、次いで「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(ともに 50.0%) となっている。

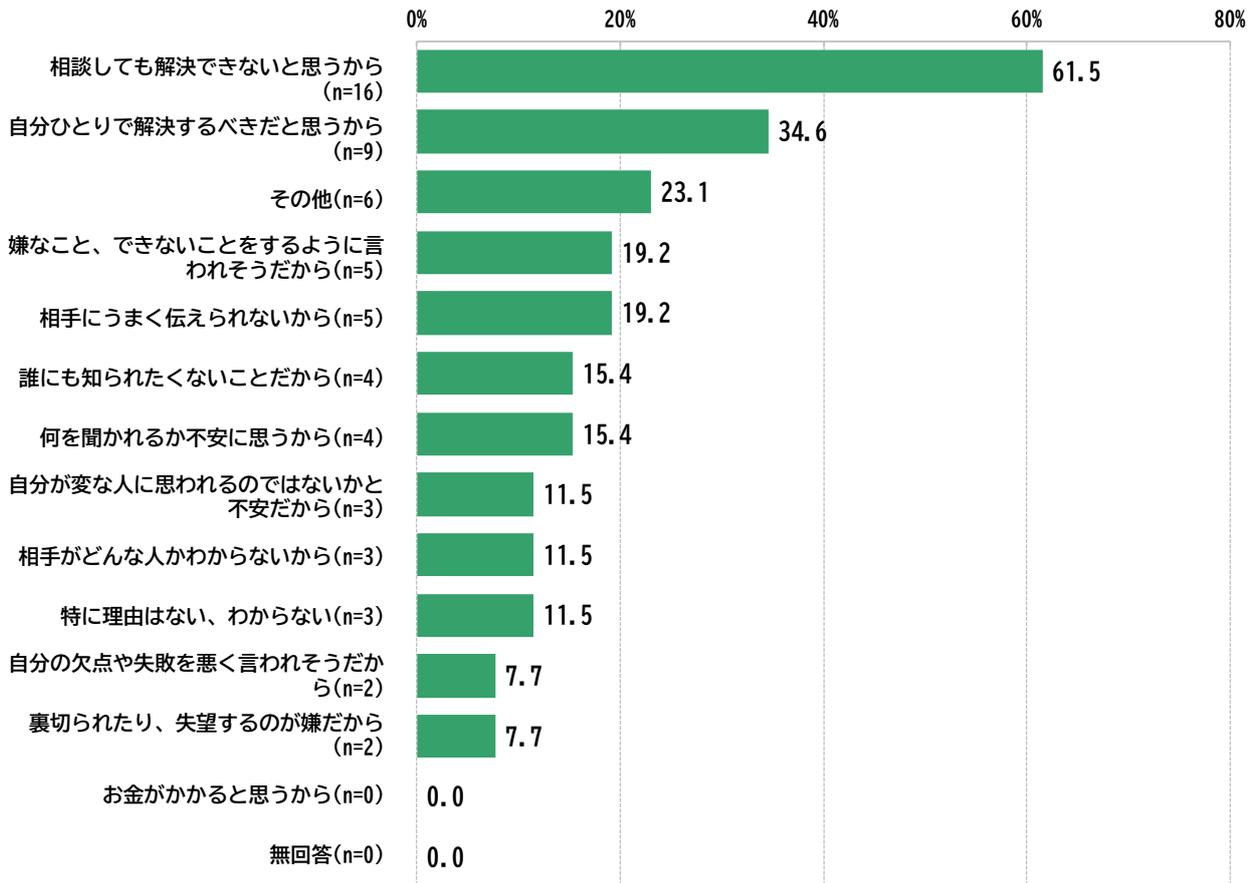


【問 34 で「誰にも相談したくない」と回答した方のみ】

問 35 相談したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも)

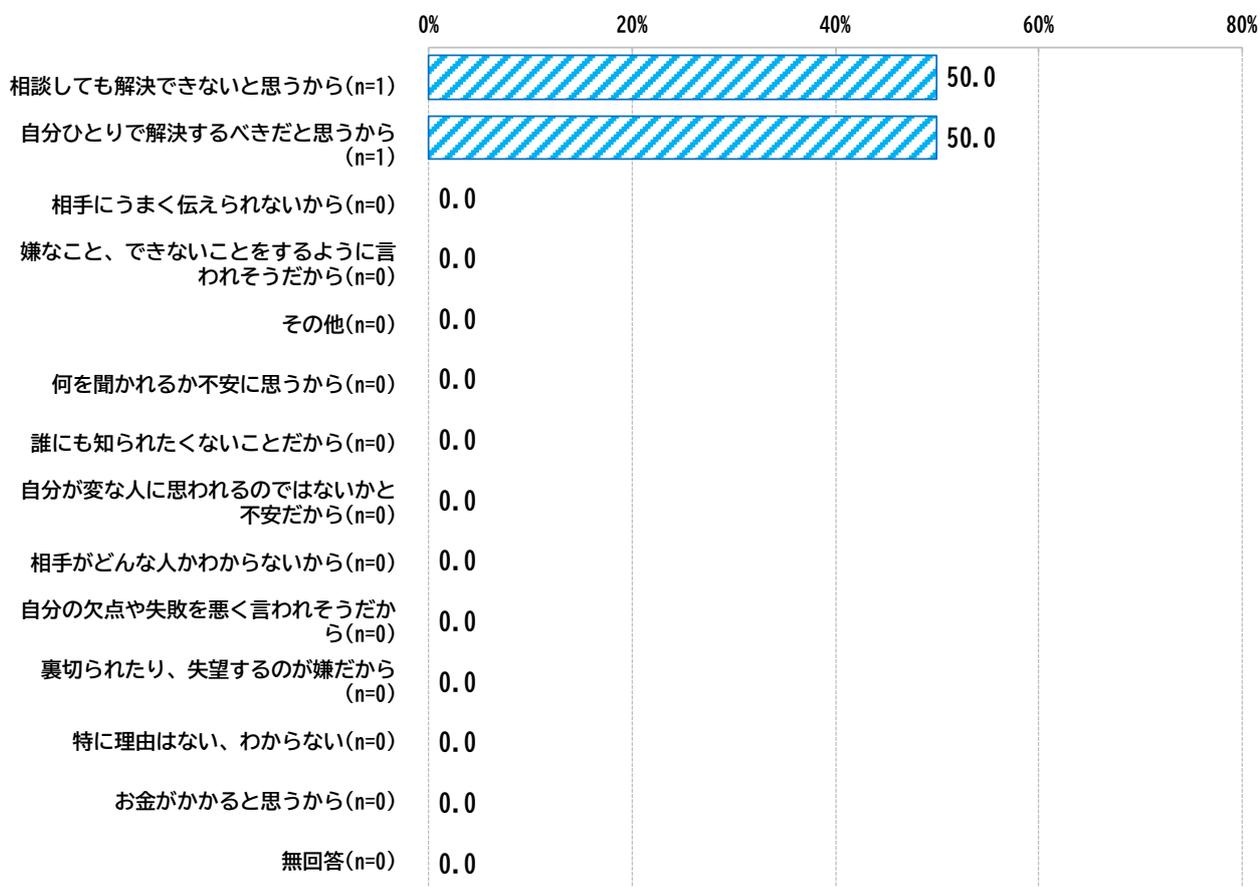
【全体(n=26)】

- ・「相談しても解決できないと思うから」(61.5%) が最も多く、次いで「自分ひとりで解決するべきだと思うから」(34.6%)、「その他」(23.1%) となっている。



【広義のひきこもり群と家族内の該当者(n=2)】

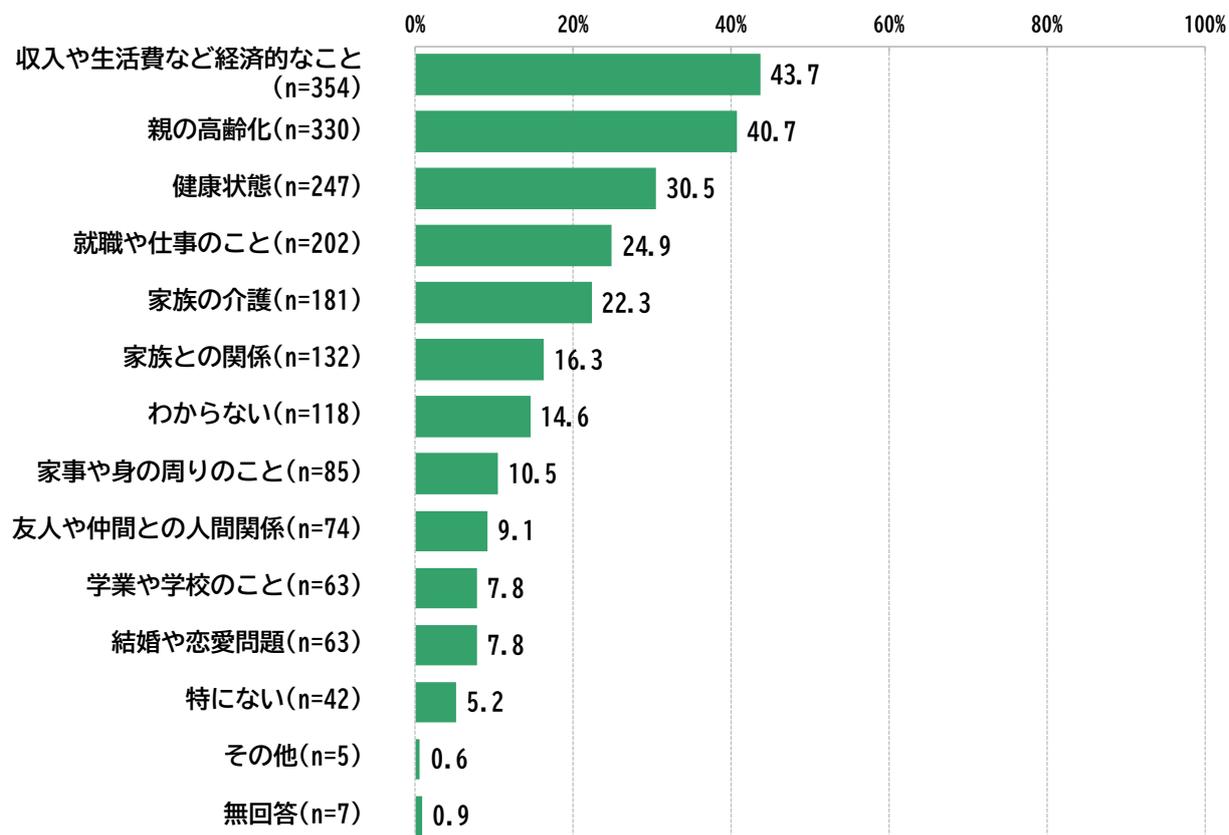
- ・「相談しても解決できないと思うから」「自分ひとりで解決するべきだと思うから」がそれぞれ50.0%となっている。



問 36 現在あなたが抱えている不安や危機感として、どのようなものがありますか。(いくつでも)

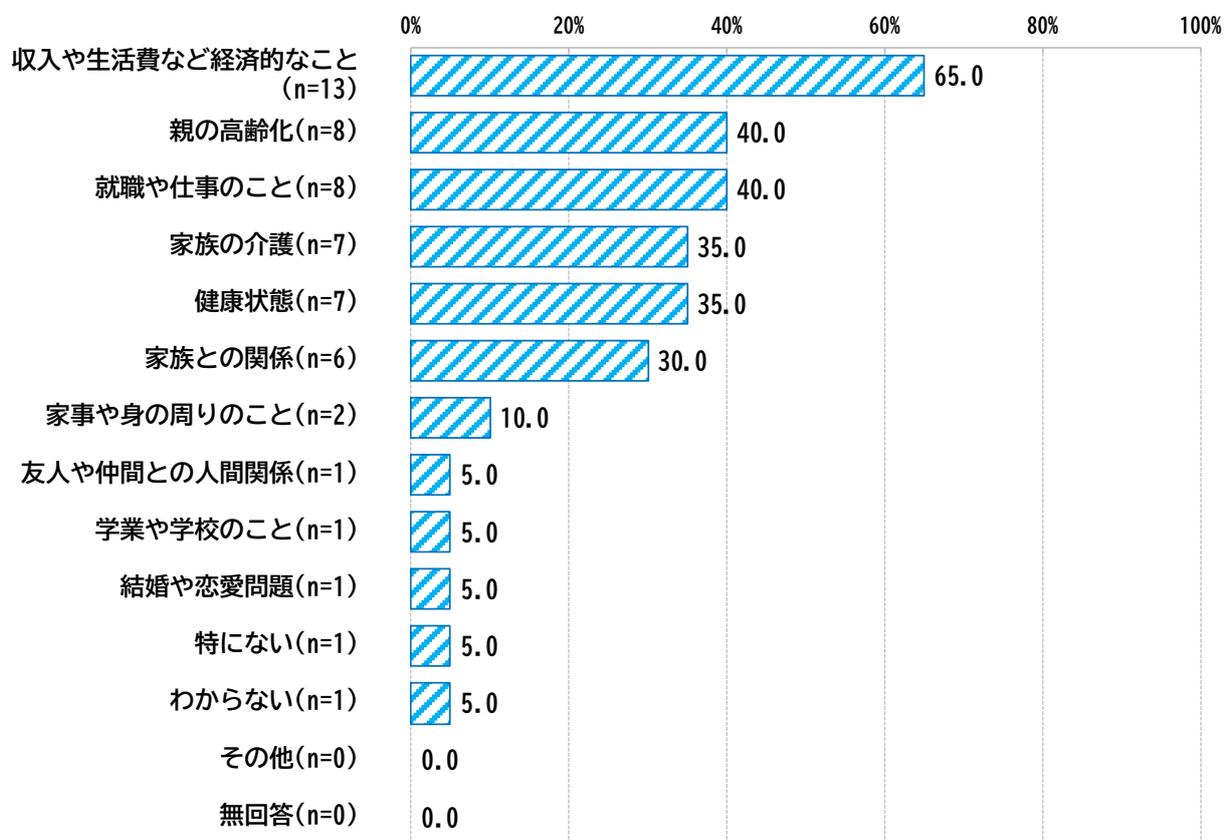
【全体(n=810)】

- ・「収入や生活費など経済的なこと」(43.7%)が最も多く、次いで「親の高齢化」(40.7%)、「健康状態」(30.5%)となっている。



【広義のひきこもり群と家族内の該当者(n=20)】

- ・「収入や生活費など経済的なこと」(65.0%) が最も多く、次いで「親の高齢化」「就職や仕事のこと」(ともに 40.0%) となっている。

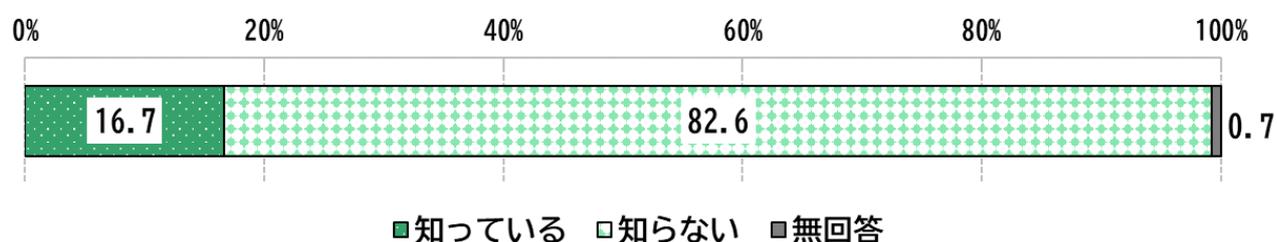


問 37 西東京市ではひきこもりの方やそのご家族等の相談窓口として、「西東京市生活サポート相談窓口」を設置しております。その認知と利用状況それぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

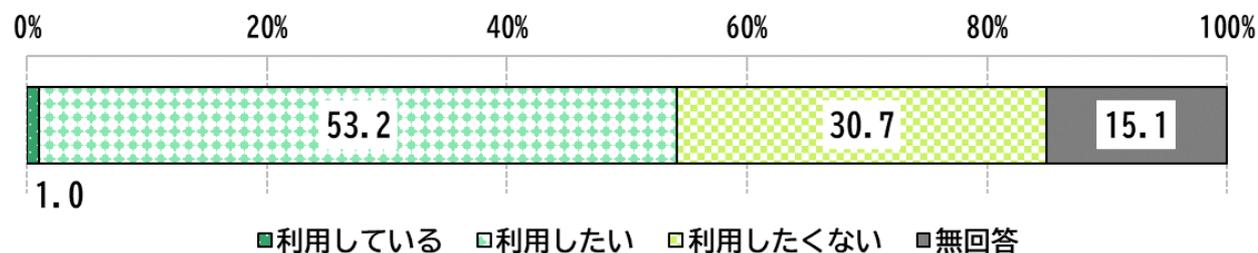
【全体(n=810)】

- ・ <認知> 「知らない」が82.6%、「知っている」が16.7%となっている。
- ・ <利用状況> 「利用したい」(53.2%)と回答した人が最も多く、次いで「利用したくない」(30.7%)となっている。

<認知>



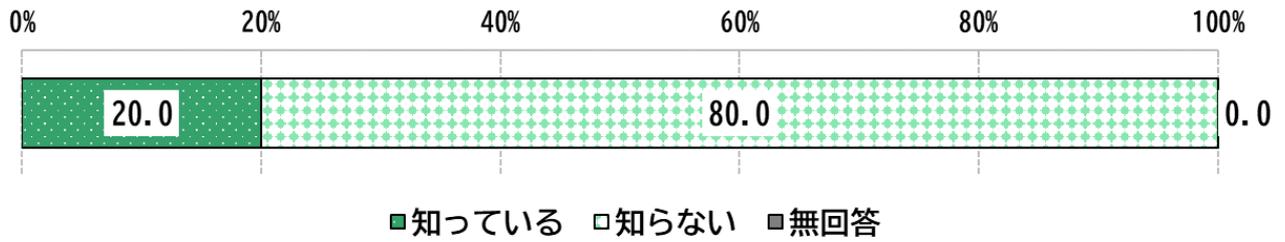
<利用状況>



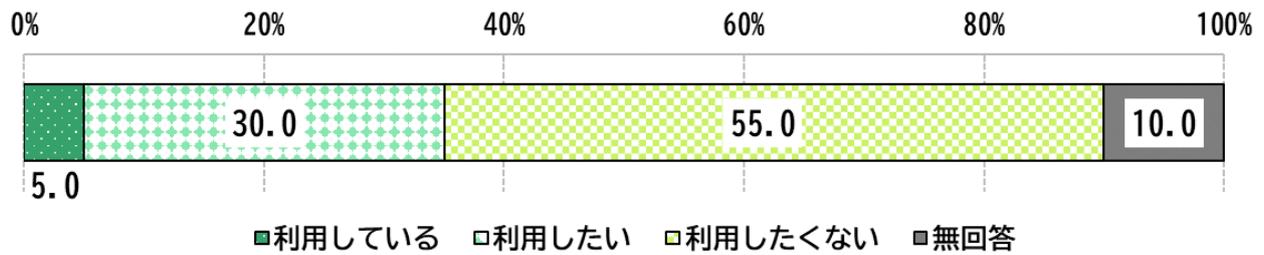
【広義のひきこもり群と家族内の該当者(n=20)】

- ・ <認知> 「知らない」が80.0%、「知っている」が20.0%となっている。
- ・ <利用状況> 「利用したくない」(55.0%)と回答した人が最も多く、次いで「利用したい」(30.0%)となっている。

<認知>



<利用状況>

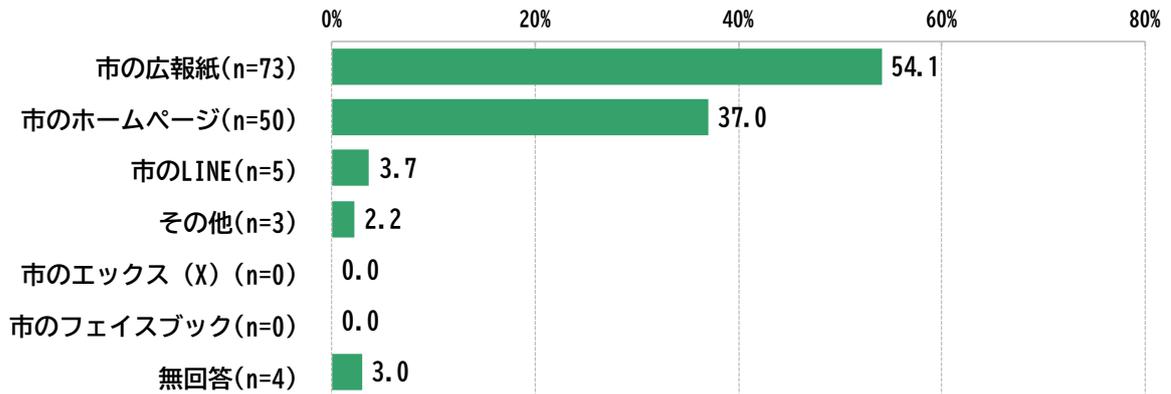


【問 37 で「知っている」と回答した方のみ】

問 38 あなたは、上記の支援に関する情報を主にどのような方法で入手していますか。(1つ)

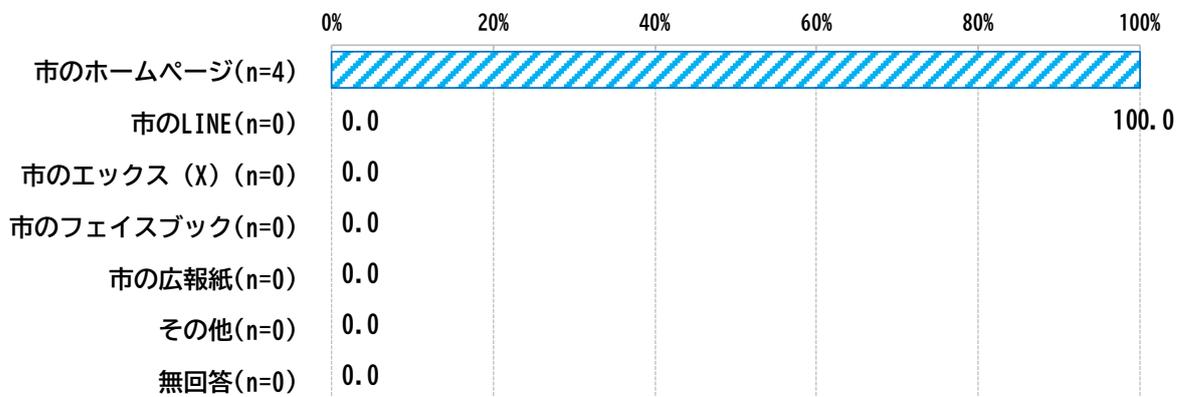
【全体(n=135)】

- ・「市の広報紙」(54.1%)が最も多く、次いで「市のホームページ」(37.0%)、「市のLINE」(3.7%)となっている。



【広義のひきこもり群と家族内の該当者(n=4)】

- ・「市のホームページ」が100.0%となっている。



3 自由回答（市民）

問 39 仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない方々への支援のあり方などを検討しています。こうした支援のあり方についてのご意見や、現在、実際にお困りのことなどがあれば、ご自由にお書きください。

自由回答の内容を、支援のあり方、支援の周知、家族への支援、ひきこもりの原因や対応、支援の方法・手段、社会復帰やスキルアップ、居場所・交流の場という 7 つのテーマに基づいて分類した。

■支援のあり方に関する意見

- ・ 本人が望まない価値観を強制することはよくない。多様な社会への関わり方の提示が必要。
- ・ 支援には慎重な人員確保や金銭面の考慮が求められる。
- ・ 支援を受けたいという意思が重要。
- ・ 支援を希望する人には柔軟な対応が求められる。
- ・ 支援が必要な方には早期支援が重要だが、本人が気づいた時にはすでに孤立していることが多い。
- ・ 支援施設は「何かのついでに相談できる場所」として機能させることが有効。
- ・ 支援を希望する人には存分に支援を行うべきだが、包括的な支援や活動には賛成できない。
- ・ 支援が必要な方へのサポート機関の認知向上や、早期社会復帰を実現する効果的な支援の提供を期待する。
- ・ 西東京市単独で考えることなく、大きい地域でより効果的に活動してほしい。

■支援の周知に関する意見

- ・ 市の取り組みを知らなかったが、アンケートで知るきっかけになった。
- ・ ひきこもり支援の広報活動が必要である。
- ・ 相談窓口や支援サービスの広報を強化するべき。
- ・ 支援が必要な方に情報を届ける方法が重要。
- ・ 支援の存在をチラシやポスターで広報するべき。
- ・ SNS やホームページ以外での発信も必要。市報や広報の充実を求める。

■家族への支援に関する意見

- ・ ひきこもりの理由は様々で、まずは家族への支援が優先。
- ・ 家族以外の信頼できる相談相手が必要。
- ・ 家族への支援が重要である。特に家族の心のケアに注意を払うべき。

- ・ 家族関係や家庭内の問題もひきこもりの原因になるため、家族へのサポートが重要。
- ・ ひきこもりの家族に対するサポートが必要。
- ・ 支援には家族が関わらず、第三者と当事者だけのヒアリングも大切である。

■ひきこもりの原因や対応に関する意見

- ・ ひきこもりの原因究明を優先するべき。
- ・ ひきこもりは個々のケースで異なるため、原因に応じた対応が必要。
- ・ ひきこもりの背景にはうつ病などがあると考えられる。精神的ケアが重要。
- ・ ひきこもりの原因を明らかにし、それに基づいた対応策を講じるべき。
- ・ ひきこもりの兆候を早期に察知するためのチェックリストが必要。
- ・ ひきこもりの原因には社会全体としての「若者の生きづらさ」が関係している。

■支援の方法・手段に関する意見

- ・ インターネット上でリアルタイム相談ができる場が欲しい。不安に対する支援が求められる。
- ・ ひきこもりの人はネットが外部との主要なツールになるため、オンラインでの支援が必要。
- ・ インターネット相談、LINE や Instagram のチャット形式の相談が効果的だと思う。
- ・ 支援の場はテキスト形式で相談できるようにすることで、最初のハードルを下げる。
- ・ 支援窓口をドラッグストアなどの身近な場所に開設することが有効。

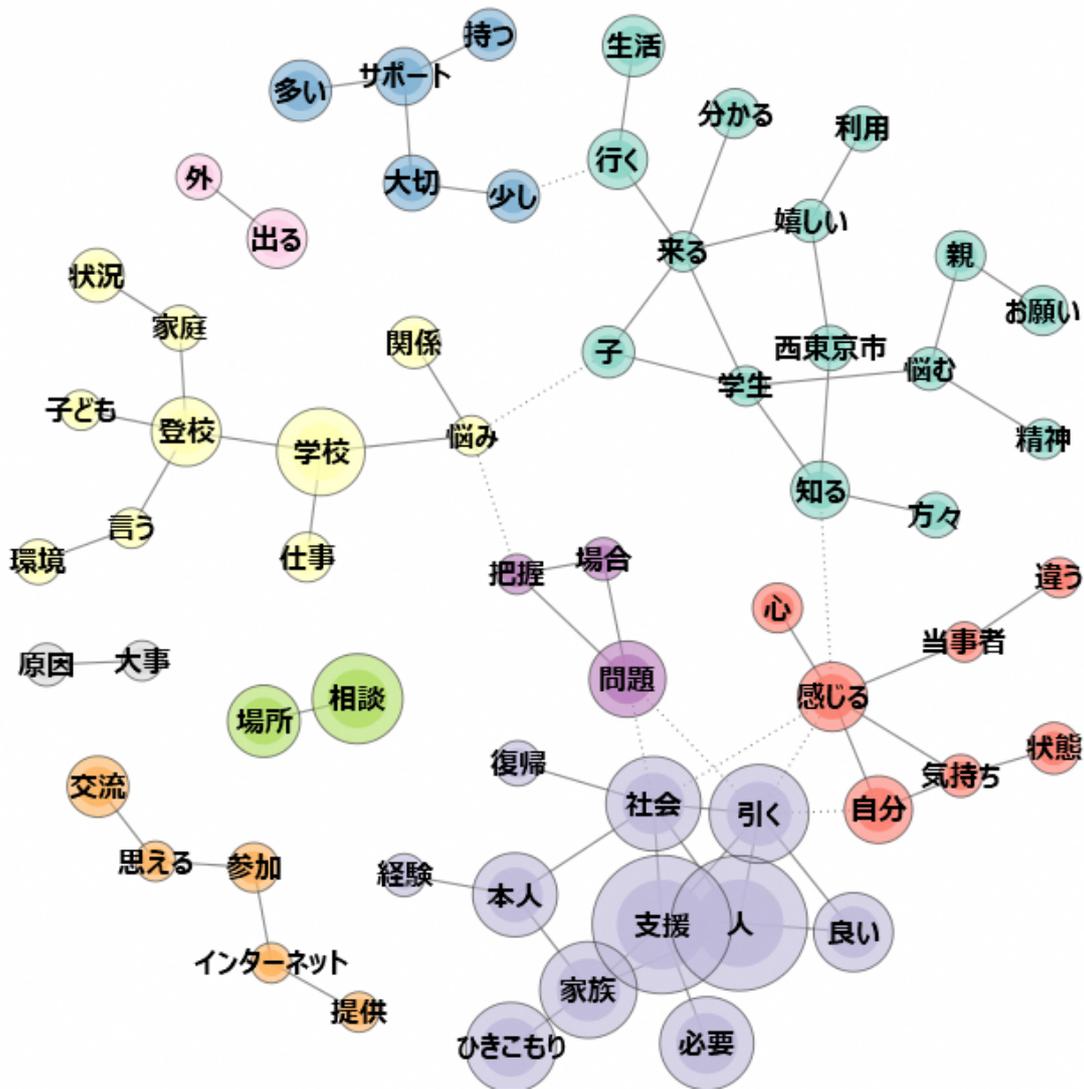
■社会復帰やスキルアップに関する意見

- ・ 社会復帰に向けたスキルアップやワンクッションとなる職場提供が効果的。
- ・ 社会復帰にはスキルアップ支援が必要である。
- ・ ひきこもりの人への就労支援が求められる。
- ・ 学業支援やスキルアップが安心した社会復帰につながる。
- ・ ひきこもりでも働けるインターネット上の仕事の紹介が良い。

■居場所・交流の場に関する意見

- ・ ひきこもりの人のために居場所を作ることが大切。
- ・ 居場所を家以外に作ることが大切。
- ・ 毎日開いている居場所や交流の場が必要。
- ・ 何気ない交流の場を増やすことが重要。
- ・ ひきこもりの方が気軽に立ち寄れる場所があると良い。
- ・ 自然や動物との交流を通じて、心の回復を図ることも有効。

また、主要な言葉やフレーズの結びつきを視覚的に示した図を作成した。この図は、文章内での言葉が他の言葉とどのように関係しているかを表すものである。例えば、「教育」と「社会」が頻繁に一緒に使われている場合、それらが線で結ばれる。この図を用いることで、文章全体のテーマや言葉の重要性、そしてその関連性を直感的に理解しやすくなる。



■ 「ひきこもり」や「支援」への強い関連性

「ひきこもり」や「支援」という言葉が中心に位置し、「本人」「家族」「必要」といった言葉が多く関連していることから、回答者は当事者やその家族への支援の必要性を強く感じている

ことがわかる。また、「社会」「良い」といった言葉が支援の議論に結びついている点から、支援が個人の問題にとどまらず、社会全体の課題として認識されていることが示されている。

■ 「知る」ことや理解を深める重要性

「知る」「分かる」という言葉が他の言葉と結びついており、ひきこもりについての理解を深めることが重要だと考えられている。社会的な認識を高め、支援策を周知する取り組みが求められていることが示されている。

■ 「学校」や「仕事」に関連する課題

「学校」や「仕事」という言葉が目立っており、それぞれ教育や就労の場での課題が浮かび上がっている。「学校」は「子ども」「悩む」といった言葉とつながっており、特に若い世代に対する教育現場での支援の必要性が示されている。

■ 「心」や「気持ち」に寄り添う支援の必要性

「心」「気持ち」「自分」といった言葉が関連しており、ひきこもりにおける感情面の支援が重要視されていることが示されている。個々の状況に応じた柔軟な支援が求められていることが伺える。

■ 「インターネット」を活用した支援の可能性

「インターネット」「交流」「提供」といった言葉が関連しており、オンラインを活用した支援の可能性が示されている。「参加」「思える」といった言葉と結びついていることから、デジタル技術を活用した支援が、当事者が気軽に参加できる形で提供されることが期待されている。

第4章 アンケート回答結果（事業参加者）

1 集計結果の表示方法・留意事項

- ・原則として調査票の順番に沿って集計結果を示している。
※本調査票は「問12」を欠番とした。
- ・文章中の「n=〇〇」はその設問についての有効回答数を示している。
- ・集計結果は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。

2 集計結果

問1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

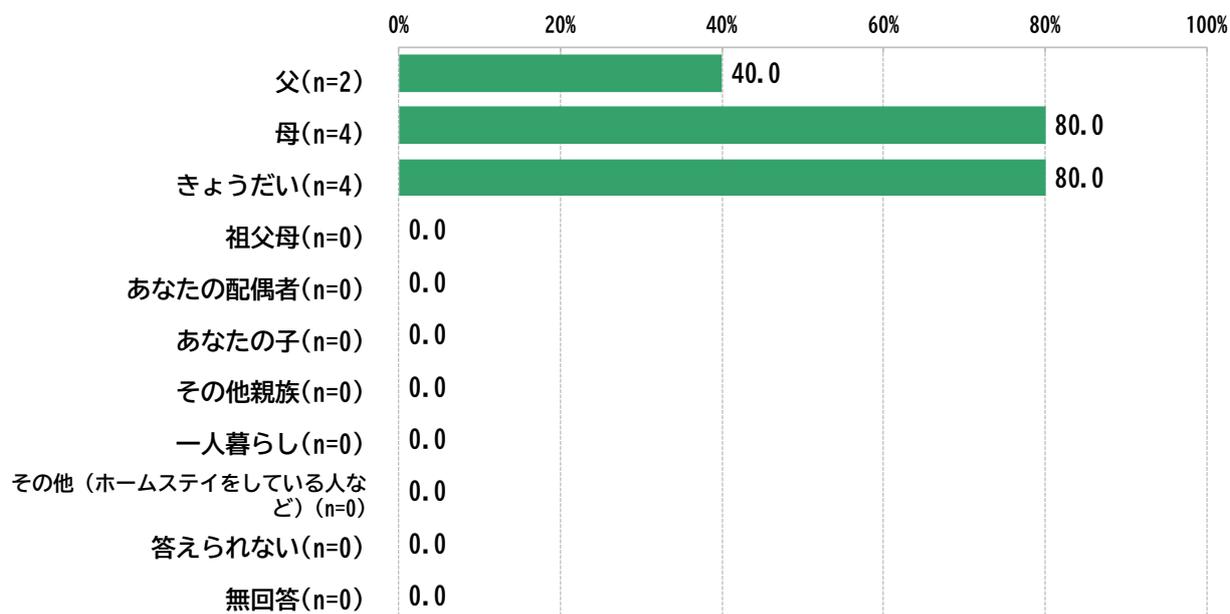
問2 あなたの年齢についてお答えください。（〇は1つ）

問3 お住まいの地域をお答えください。（〇は1つ）

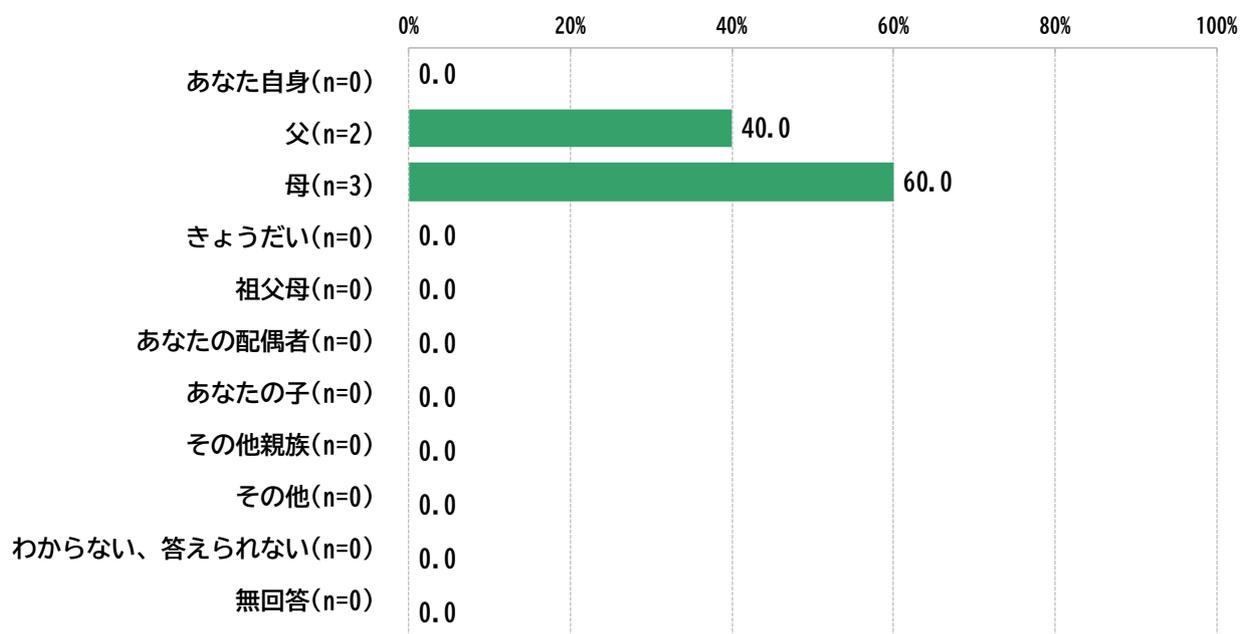
調査対象者が直接の事業参加者であることから、問1から問3までは非公表とする。

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（いくつでも）

※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「9 その他」をお選びください。

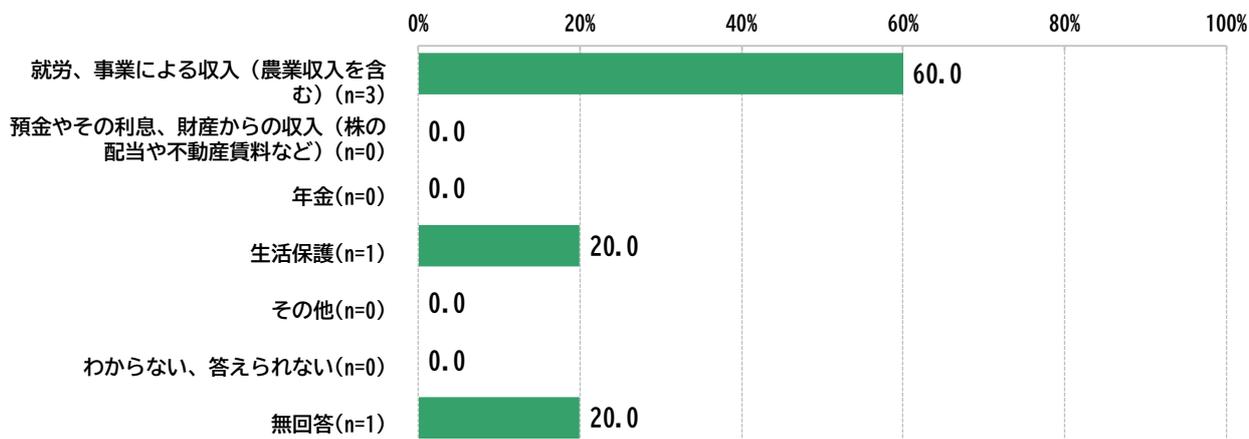


問5 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(1つ)

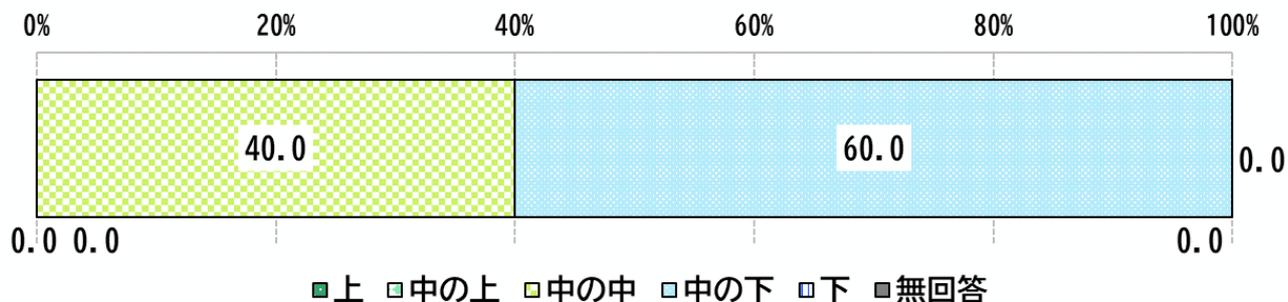


【問5で「1～9」と回答した方のみ】

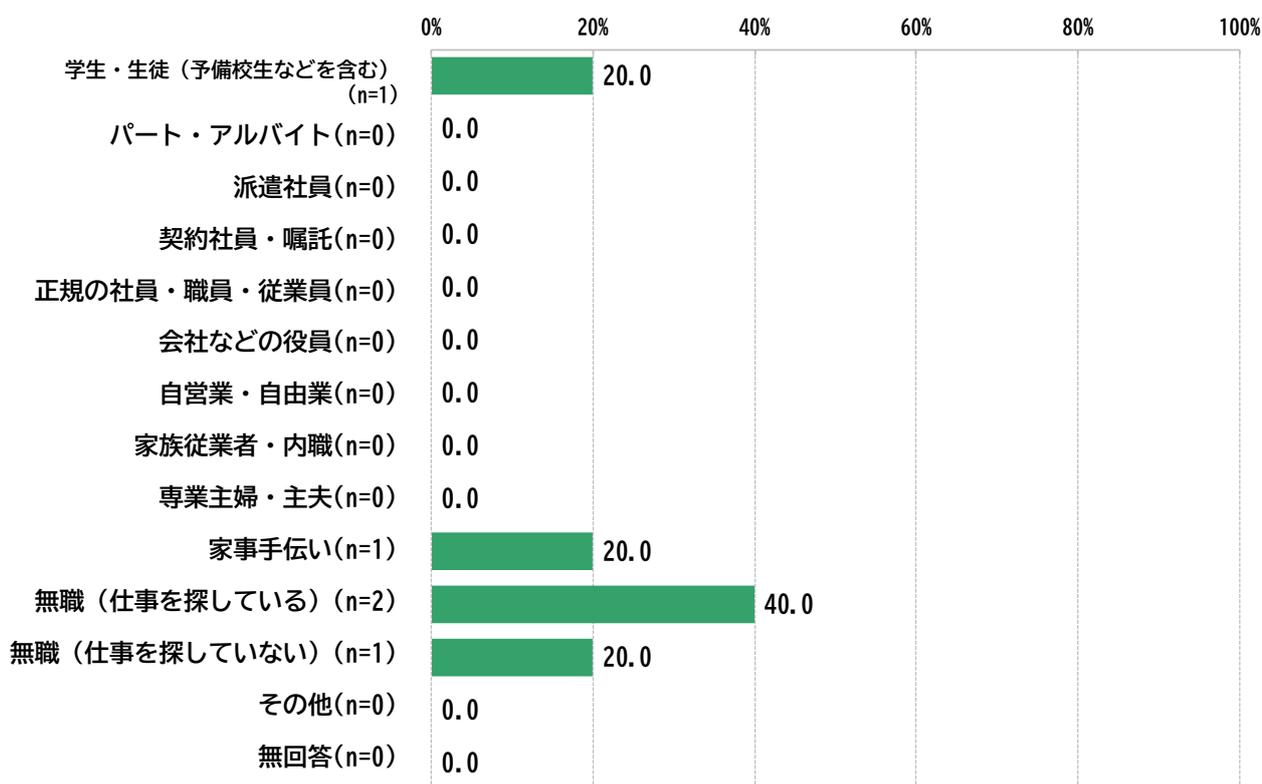
問6 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(1つ)



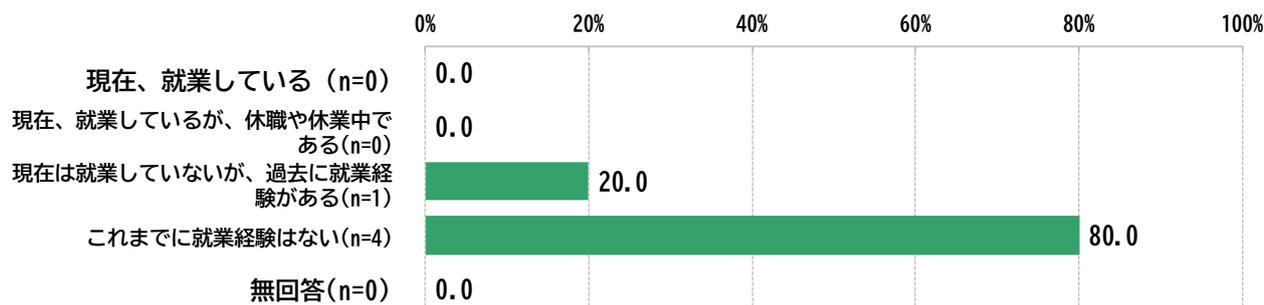
問7 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。（1つ）



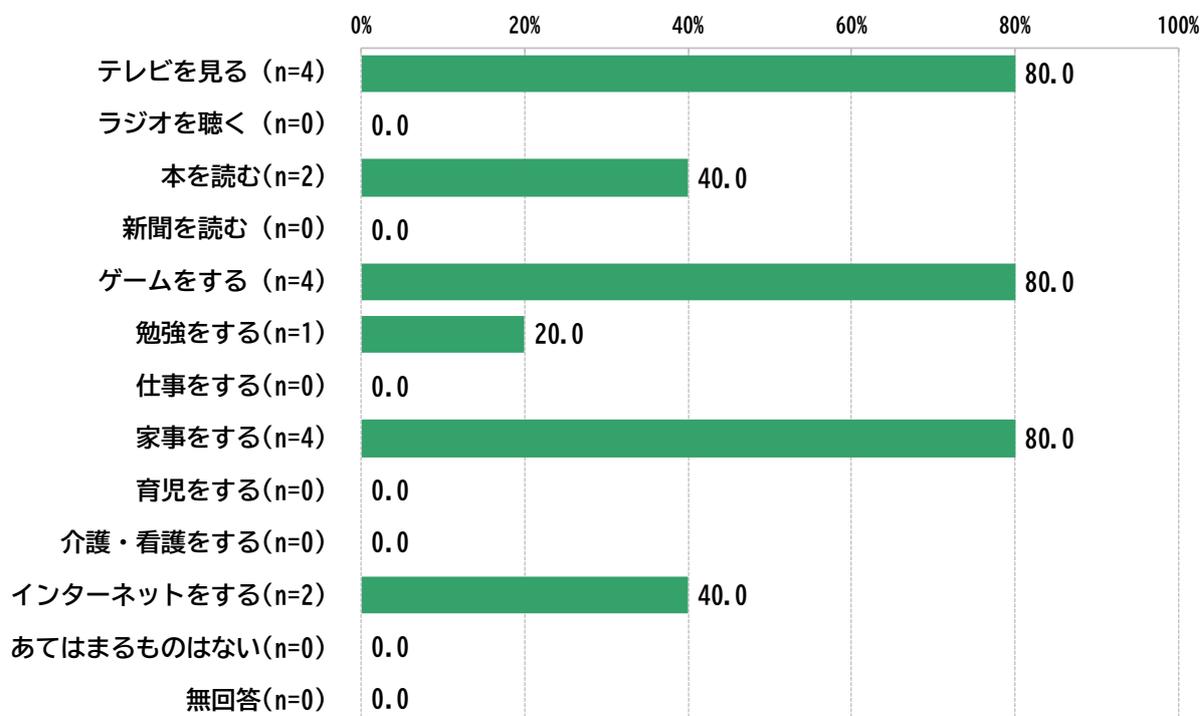
問8 あなたの現在の仕事をお答えください。（○は1つ）



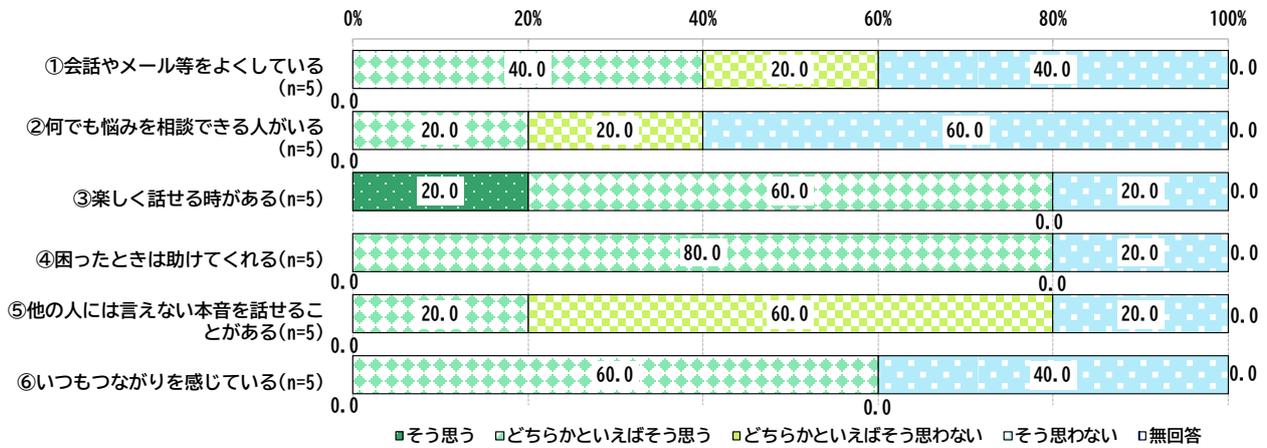
問9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む) (○は1つ)



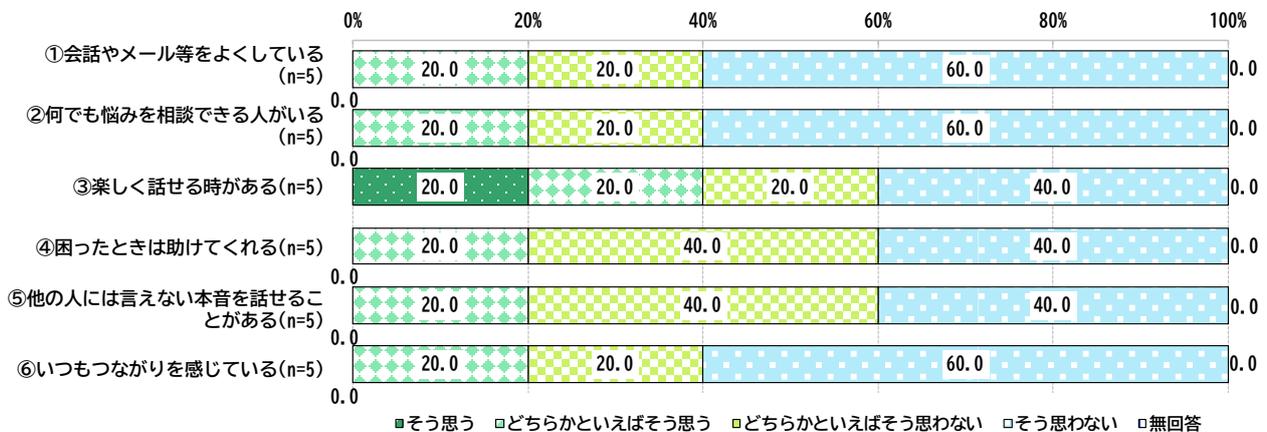
問10 あなたは普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。



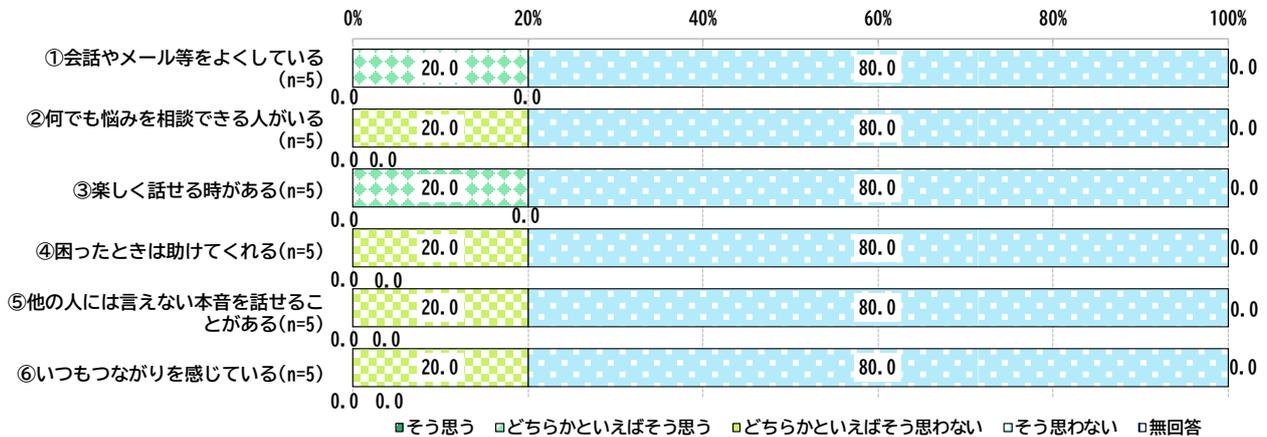
問 11-1 家族・親せきとあなたの関わりは、どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。



問 11-2 家族・親せき以外の他者（友人、職場・アルバイト関係の人、地域の人）と、あなたの関わりは、どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。



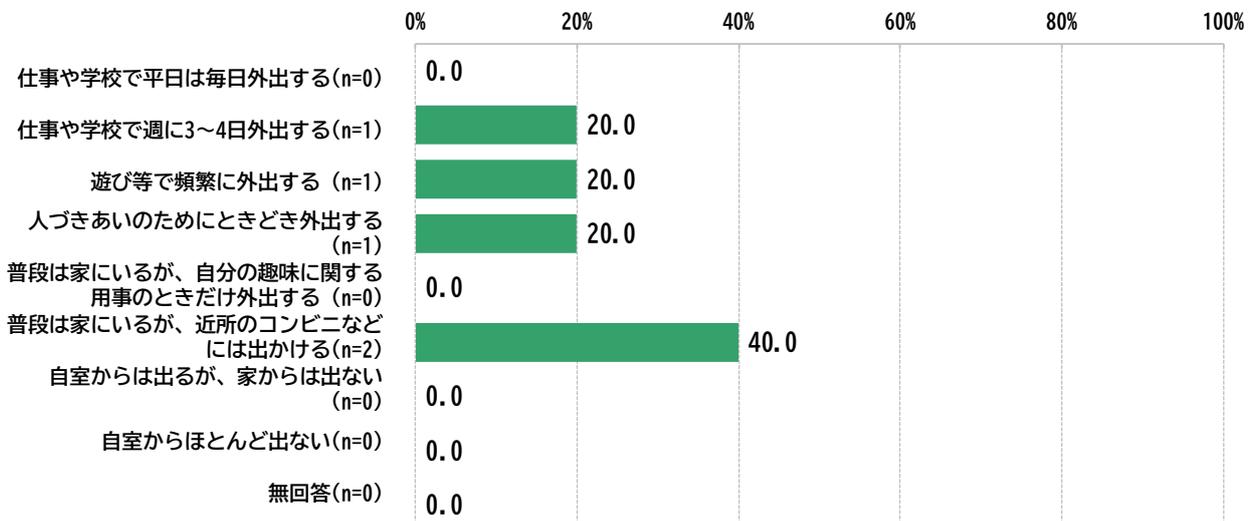
問 11-3 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたの関わりは、どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。



問 13 あなたは最近6か月間で、家族以外の人と会話はありましたか。(1つ)



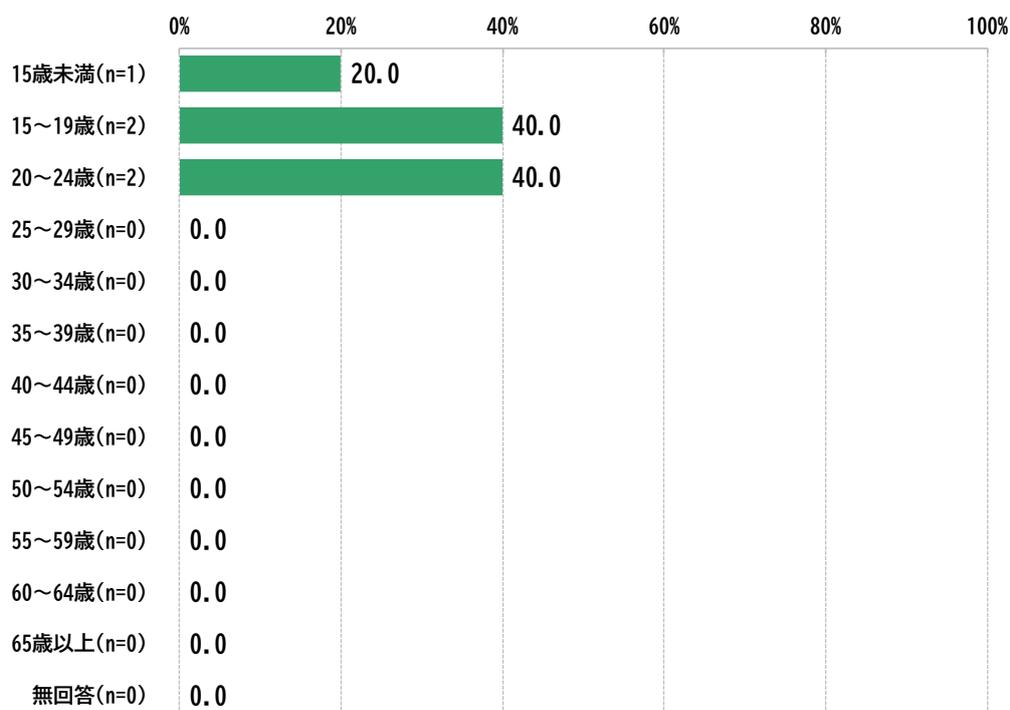
問 14 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つ)



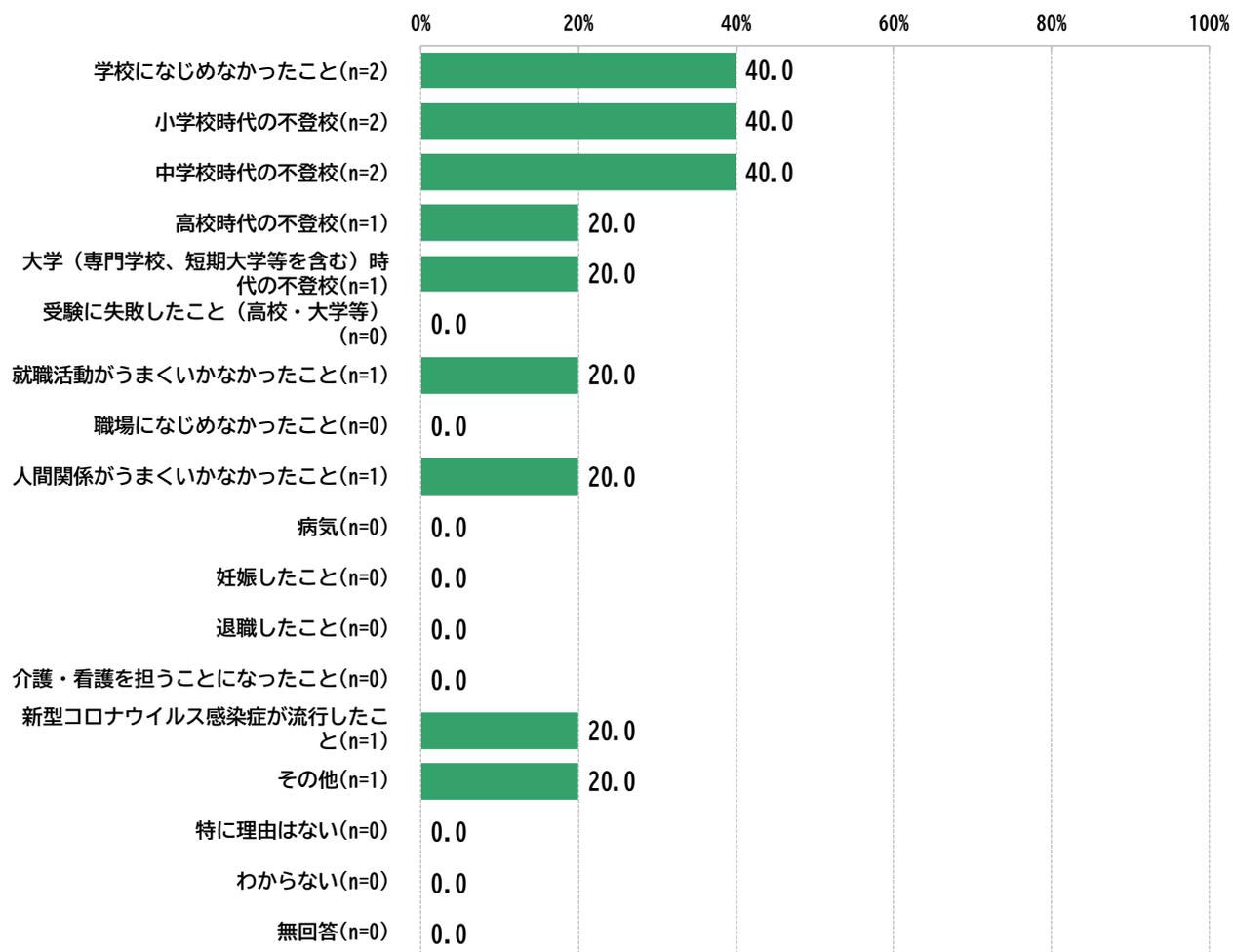
問 15 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)



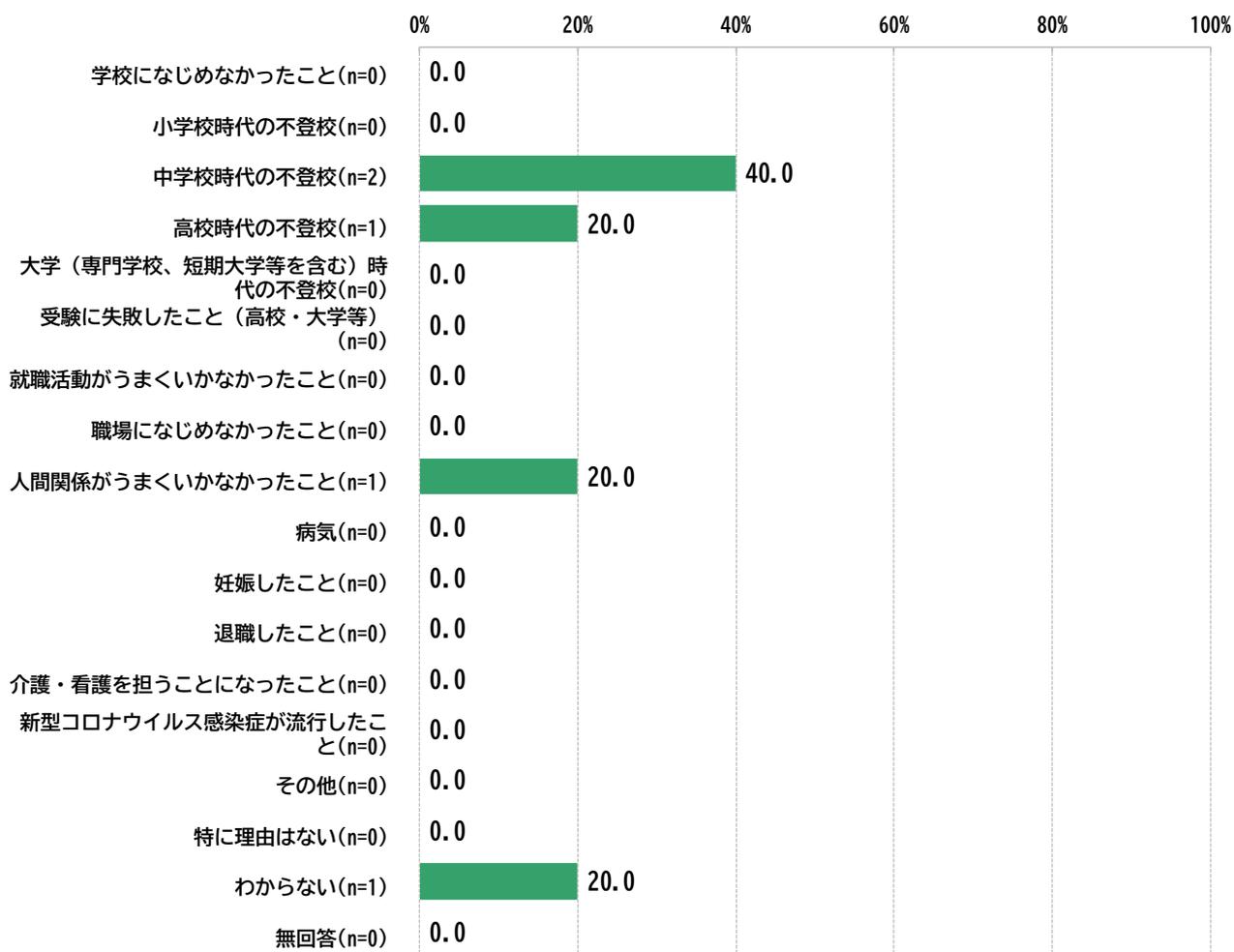
問 16 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(1つ)



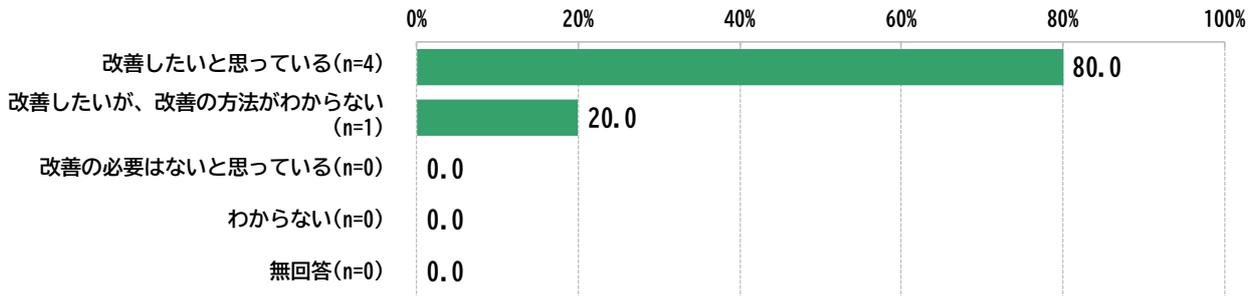
問 17 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(○はいくつでも)



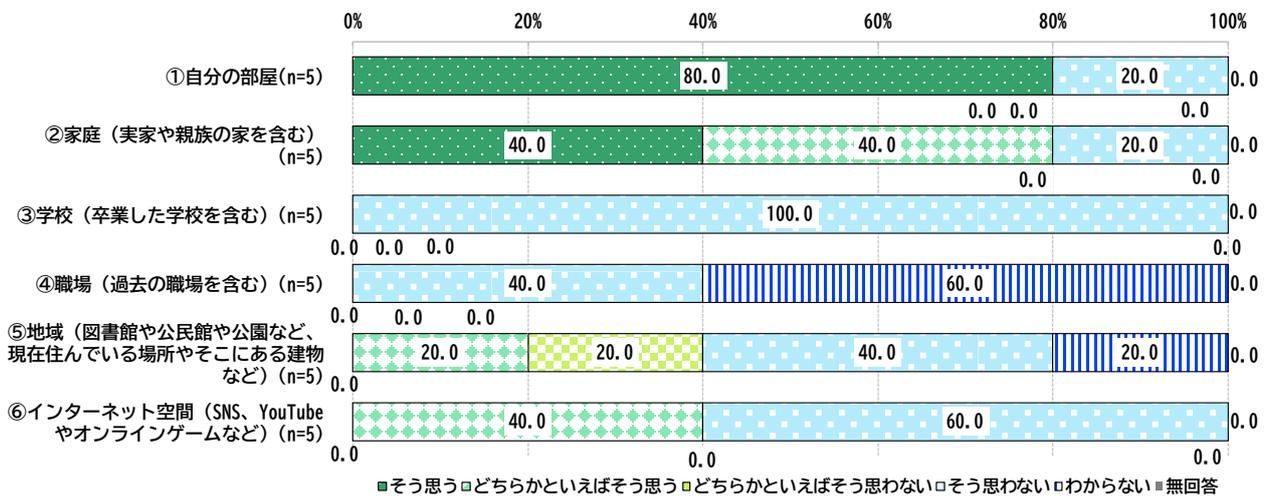
問 18 問 17 のうち最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)



問 19 あなたが現在の状態になったことについて、どのように感じられていますか。(○は1つ)

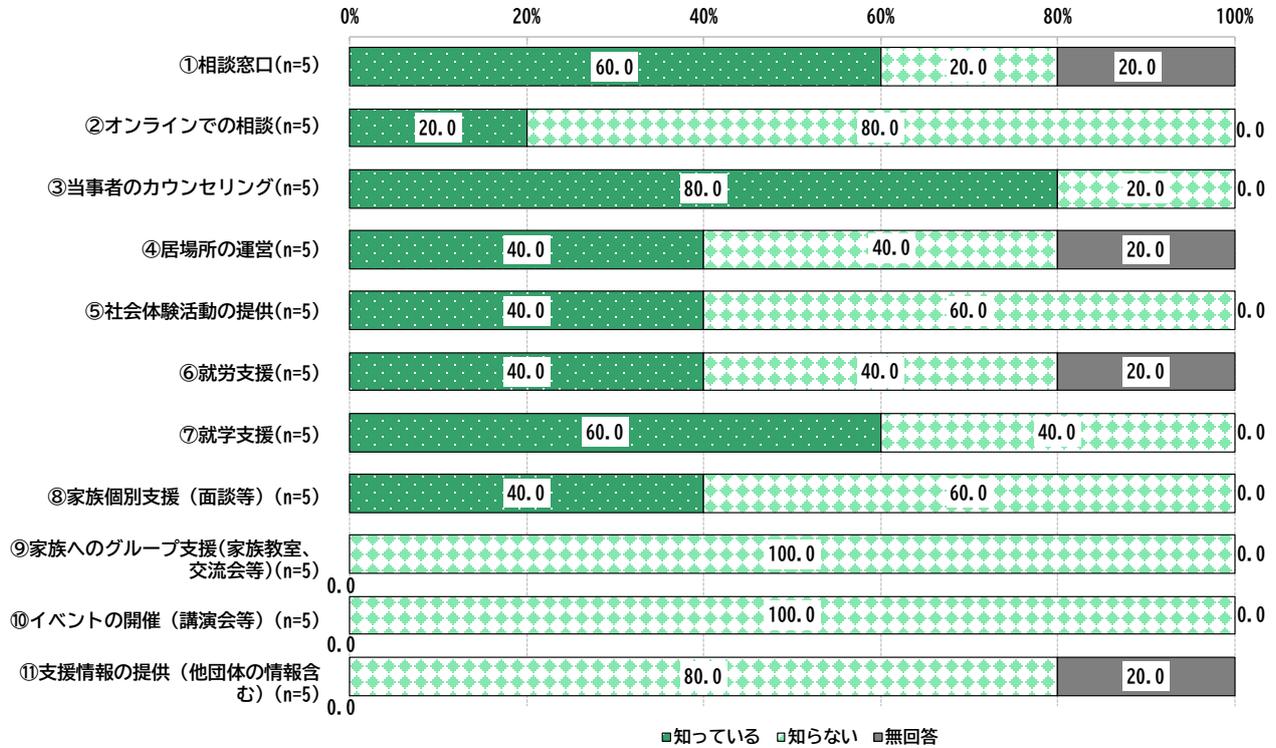


問 20 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。

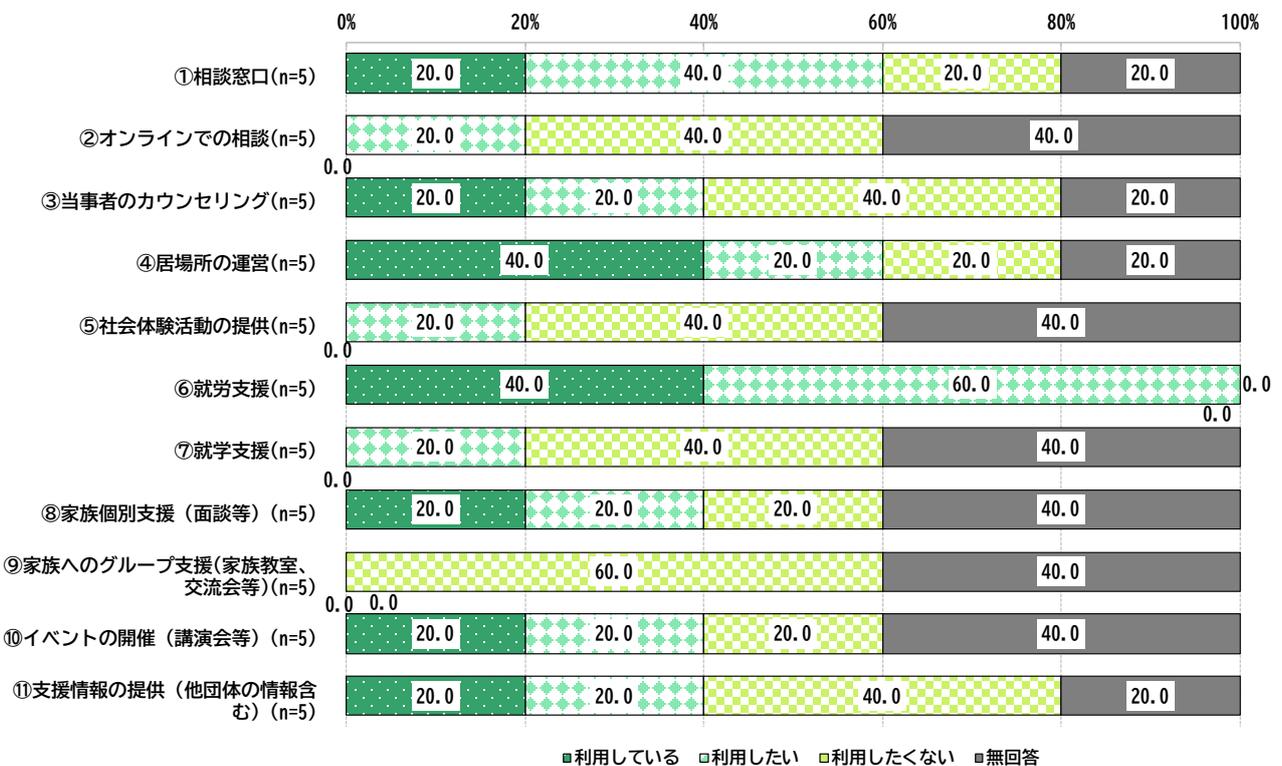


問 21 その方の現在の状態を改善するための支援について、それぞれ認知および利用状況についてお聞かせください。①～⑪の認知と利用状況それぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

<認知>

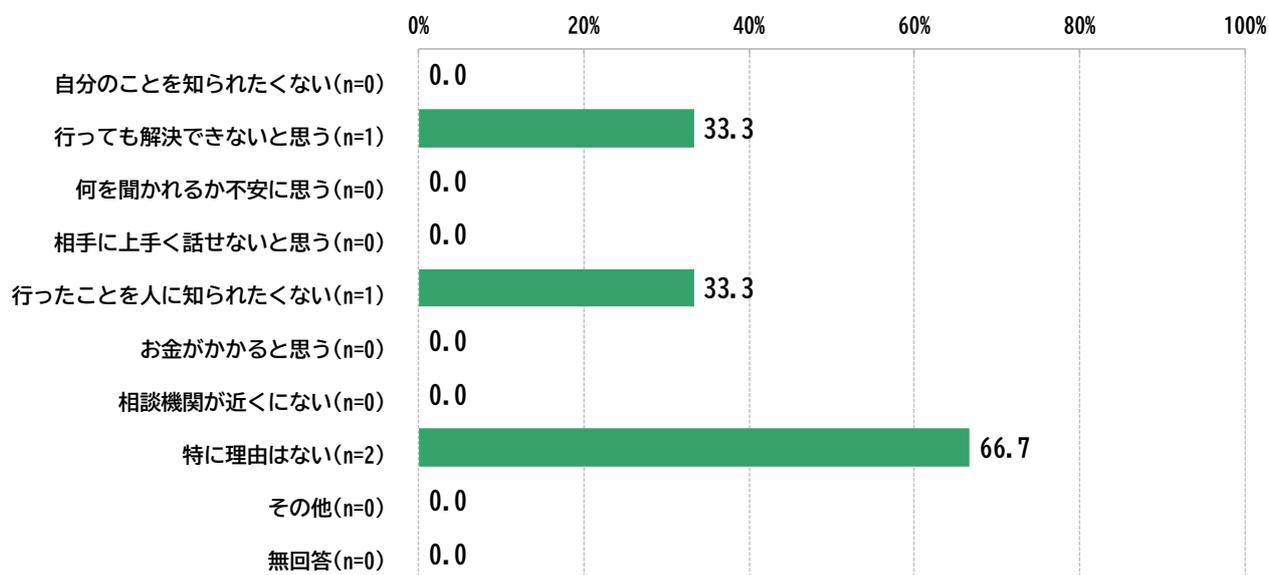


<利用状況>



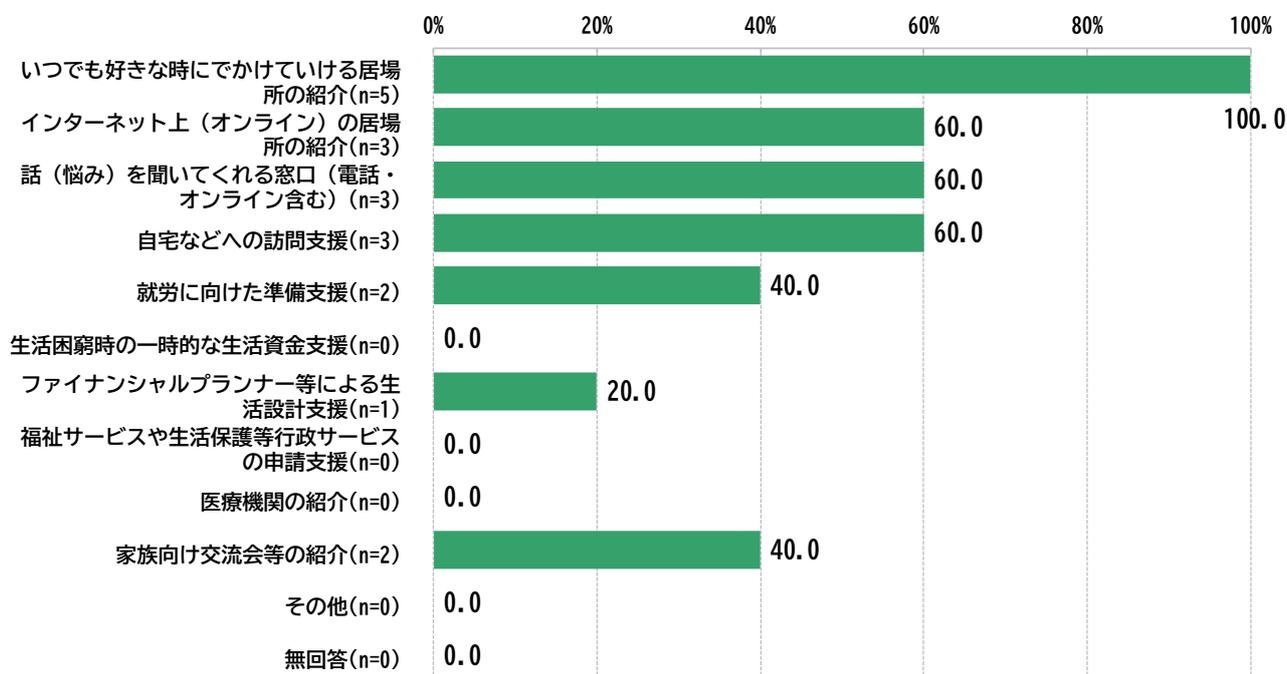
【問 21 でいずれか1つでも「利用したくない」と回答した方のみ】

問 22 支援を利用したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

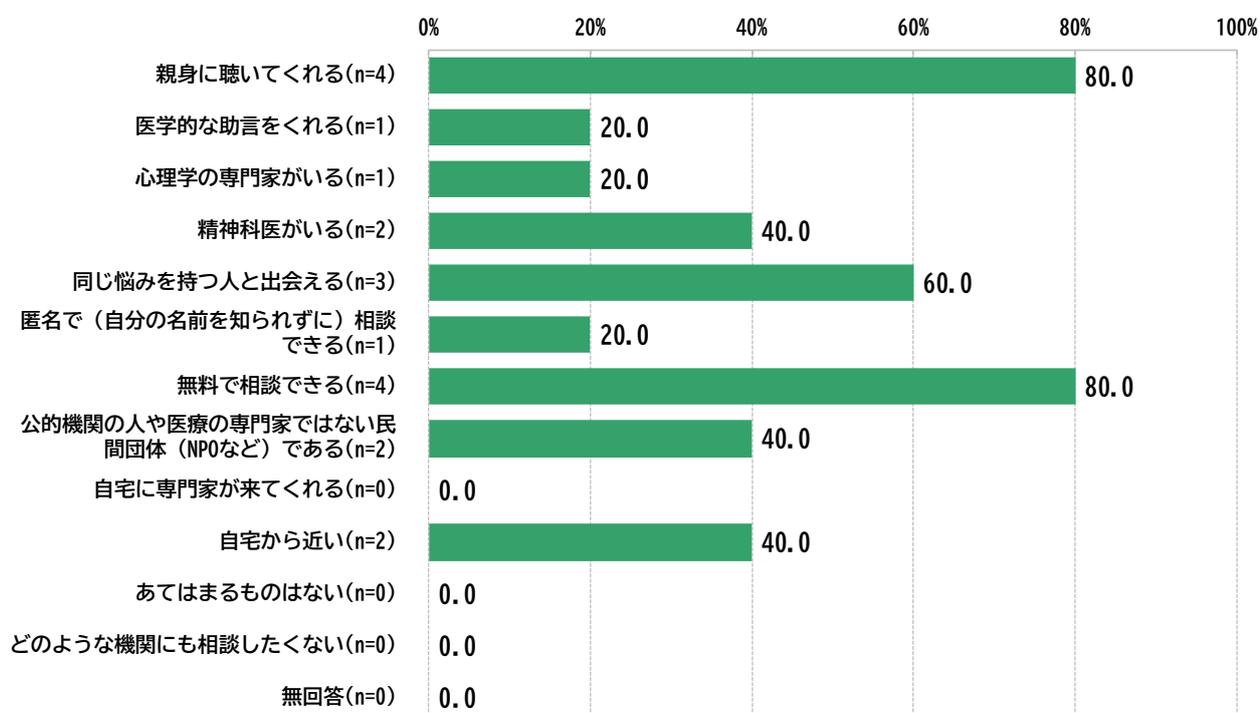


※問 23～27、問 30～32 は、ご家族の方の意見についてご回答ください。

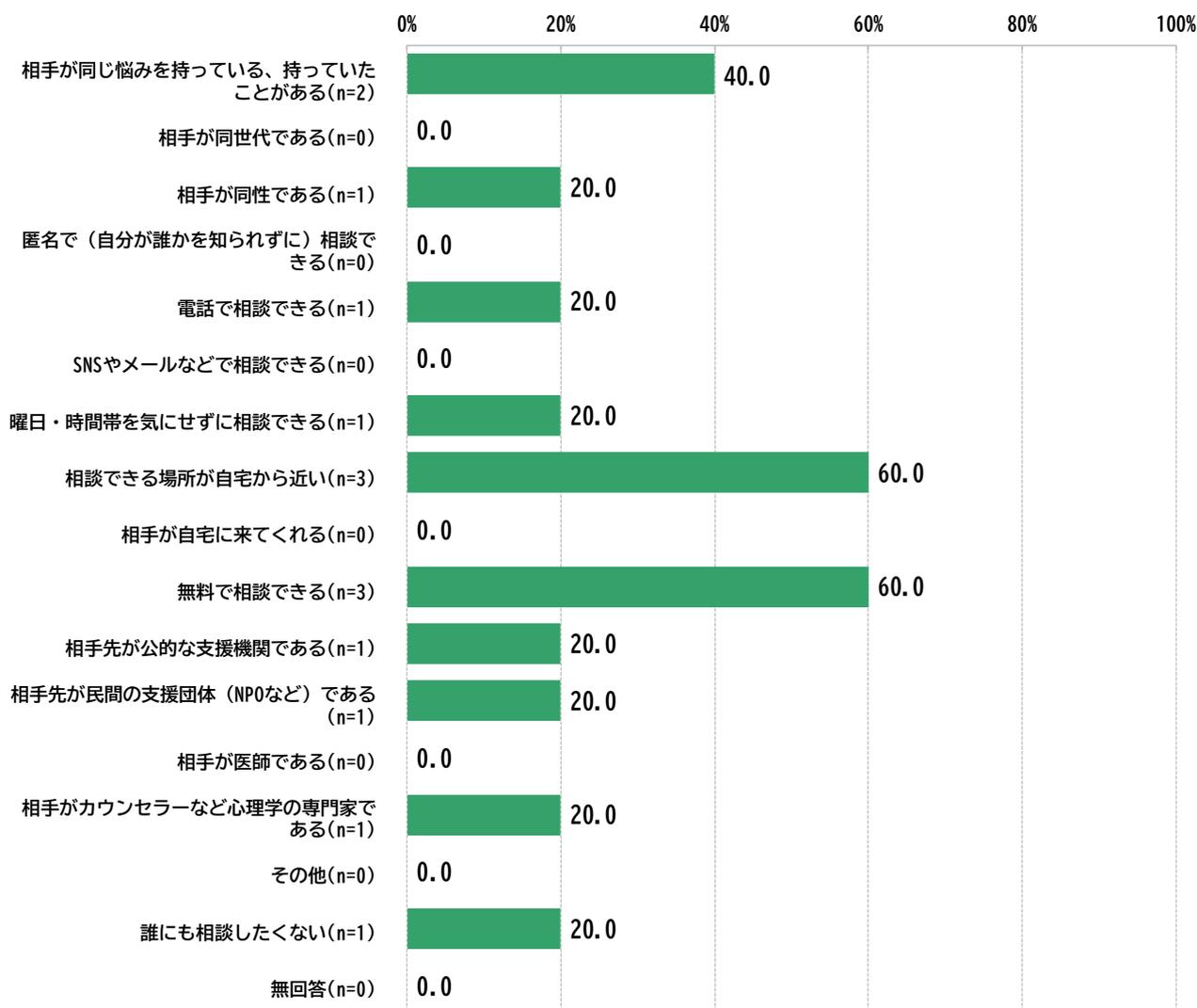
問 23 どのような支援等があると良いと思いますか。(○はいくつでも)



問 24 どのような機関に相談したいと思いましたか。(○はいくつでも)

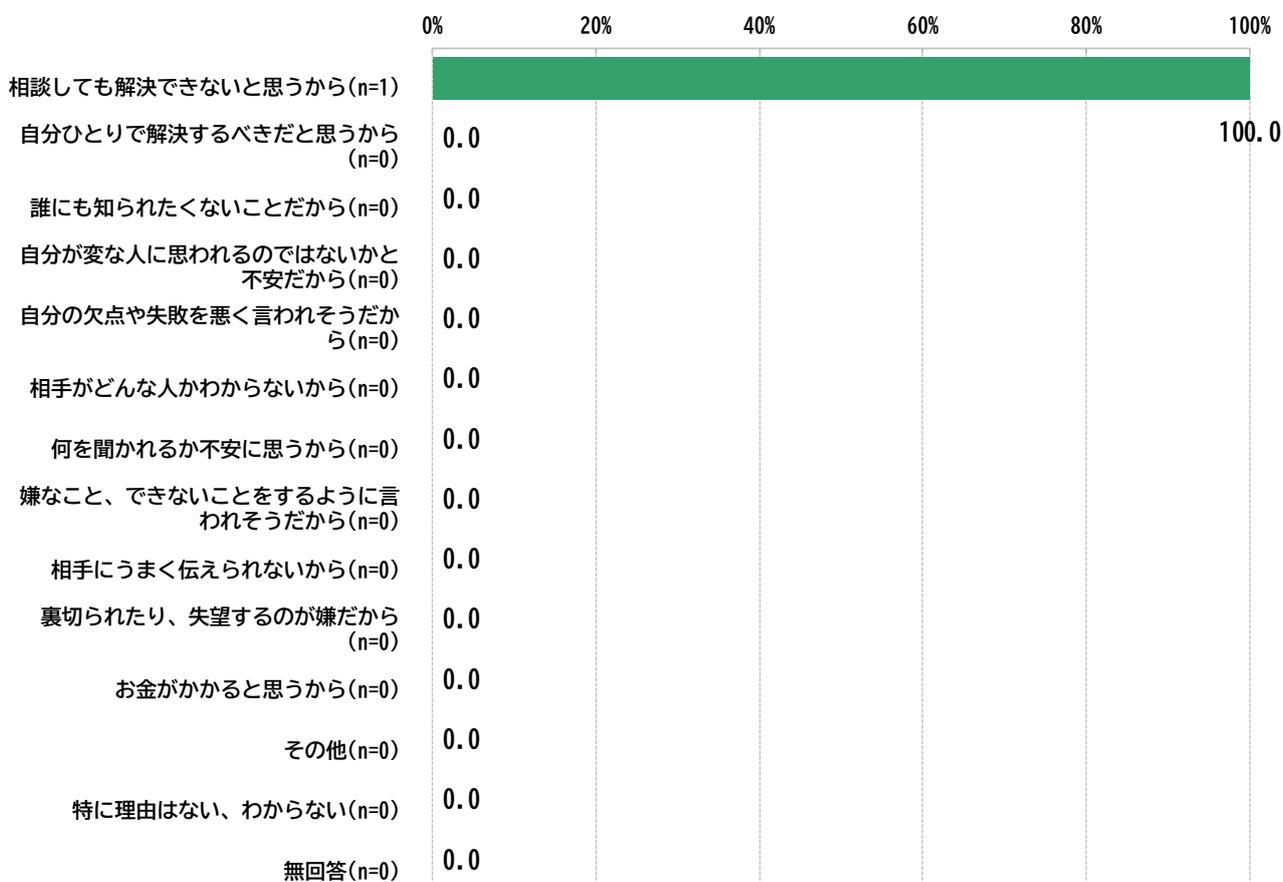


問 25 あなたが、仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

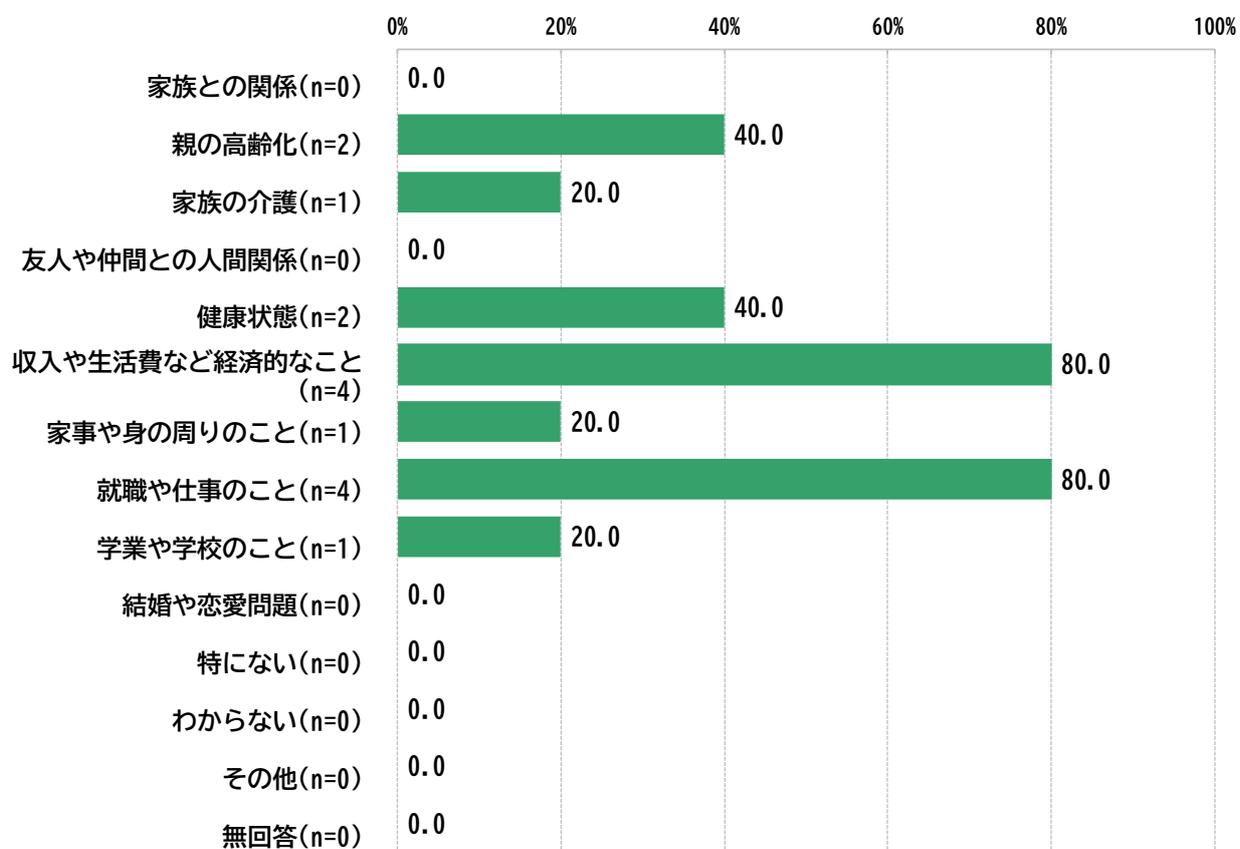


【問 25 で「16 誰にも相談したくない」と回答した方のみ】

問 26 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)



問 27 現在あなたが抱えている不安や危機感として、どのようなものがありますか。(〇はいくつでも)

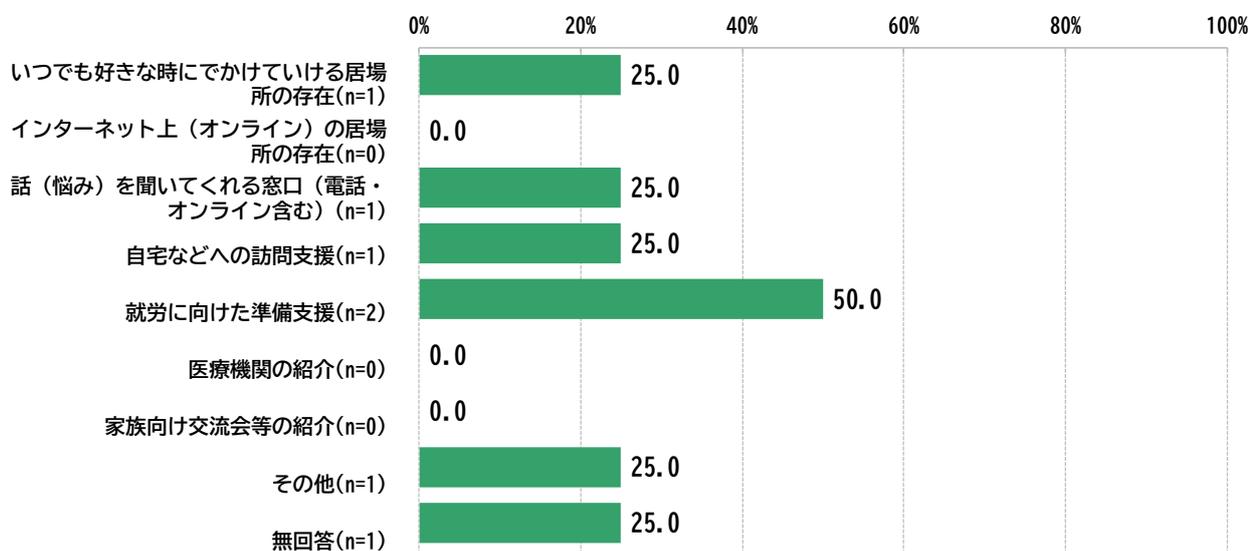


問 28 ひきこもり状態を変えるために行っていることはありますか。過去にひきこもり状態だった方は、その状態を変えるために行っていたことはありましたか。(○は1つ)



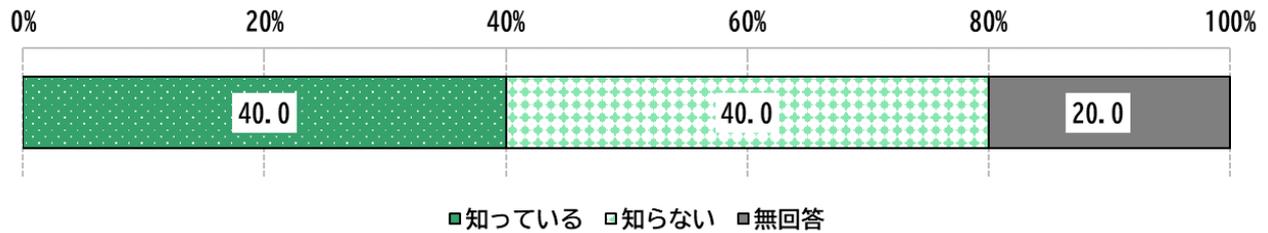
【問 28 で「1. ある」と回答した方のみ】

問 29 その行動を起こしたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

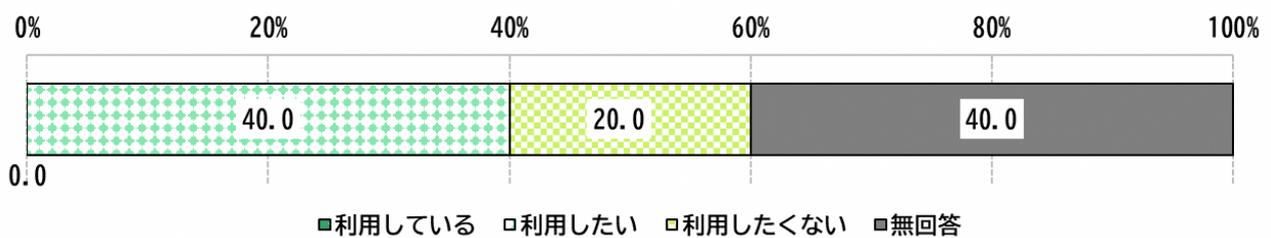


問 30 西東京市ではひきこもりの方やそのご家族等の相談窓口として、「西東京市生活サポート相談窓口」を設置しております。その認知と利用状況それぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

<認知>

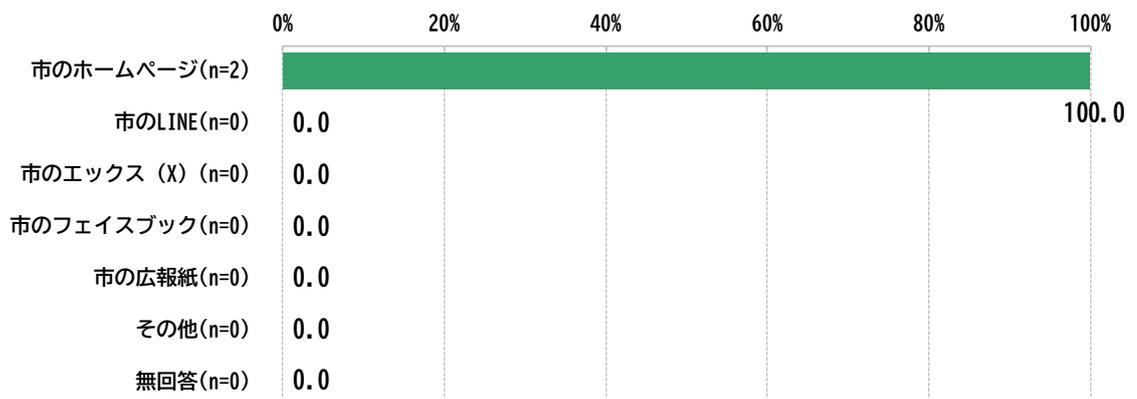


<利用状況>



【問 30 で「知っている」と回答した方のみ】

問 31 あなたは、上記の支援に関する情報を主にどのような方法で入手していますか。(1つ)



3 自由回答 (事業参加者)

問 32 仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない方々への支援のあり方などを検討しています。こうした支援のあり方についてのご意見や、現在、実際にお困りのことなどがあれば、ご自由にお書きください。

回答がなかったため、掲載はなし。

第5章 参考資料

1 調査票（市民）

西東京市社会参加に関する調査 調査票

問1～問39（回答時間の目安：15分程度）をご覧ください、あなたのご意見を教えてください。

● 郵送で回答する場合

回答期限：令和 6年 8月 30日（金）

- ・ アンケート調査票にご記入後、同封の封筒に調査票を入れ、郵便にてご返送ください。（切手は不要です。）
- ・ ご返送の際は、氏名や住所のご記入は不要です。
- ・ ご記入の際は選択肢の数字に○をつけてください。（例 **①**）

● インターネットで回答する場合

回答期限：令和 6年 8月 30日（金）

- ・ 下記URLまたは二次元コードより、インターネット回答画面にアクセスし、ご回答ください。



- ・ インターネット回答の際にはパスワード及び整理番号の入力が必要です。

パスワード：

整理番号：

- ※ パスワードは回答者を制限するため、整理番号は1人が複数回答することを避けるためのものであり個人が特定されることはありません。

あなた自身についてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 | 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 |
| 9. 55～59歳 | 10. 60～64歳 | | |

問3 お住まいの地域をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|------------|
| 1. 南町 | 2. 向台町 | 3. 東伏見 | 4. 柳沢 |
| 5. 新町 | 6. 北原町 | 7. 田無町 | 8. 住吉町 |
| 9. 泉町 | 10. 保谷町 | 11. 谷戸町 | 12. 緑町 |
| 13. 西原町 | 14. 芝久保町 | 15. ひばりが丘 | 16. ひばりが丘北 |
| 17. 下保谷 | 18. 栄町 | 19. 東町 | 20. 中町 |
| 21. 富士町 | 22. 北町 | | |

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(○はいくつでも)

※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「9 その他」をお選びください。

- | | | | |
|------------|------------------------------------|----------|--------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. きょうだい | 4. 祖父母 |
| 5. あなたの配偶者 | 6. あなたの子 | 7. その他親族 | |
| 8. 一人暮らし | 9. その他（ホームステイをしている人など）（具体的に：_____） | | |
| 10. 答えられない | | | |

問5 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------------|------------|------------------|----------|
| 1. あなた自身 | 2. 父 | 3. 母 | 4. きょうだい |
| 5. 祖父母 | 6. あなたの配偶者 | 7. あなたの子 | 8. その他親族 |
| 9. その他（具体的に：_____） | | 10. わからない、答えられない | |

【問5で「1～9」と回答した方のみ】

問6 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. 就労、事業による収入（農業収入を含む） | |
| 2. 預金やその利息、財産からの収入（株の配当や不動産賃料など） | |
| 3. 年金 | 4. 生活保護 |
| 5. その他（具体的に： ） | 6. わからない、答えられない |

問7 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|------|--------|--------|--------|------|
| 1. 上 | 2. 中の上 | 3. 中の中 | 4. 中の下 | 5. 下 |
|------|--------|--------|--------|------|

問8 あなたのご家庭で仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか。

(○は1つ)

- | | | | |
|--------|---|--------|---------------------------------------|
| 1. いる | ⇒ | (問9へ) | 該当者が2人以上いる場合は
年齢の一番低い方についてお答えください。 |
| 2. いない | ⇒ | (問29へ) | |

問8に該当する方についてお伺いします

問9 その方はあなたから見てどのような関係ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------------------------------|------------|------------|----------|
| 1. 本人 | 2. 父 | 3. 母 | 4. きょうだい |
| 5. 祖父母 | 6. あなたの配偶者 | 7. あなたの子 | 8. その他親族 |
| 9. その他（具体的に： ） | | 10. 答えられない | |

問10 その方の性別を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

問11 その方の年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 15歳未満 | 2. 15～19歳 | 3. 20～24歳 | 4. 25～29歳 |
| 5. 30～34歳 | 6. 35～39歳 | 7. 40～44歳 | 8. 45～49歳 |
| 9. 50～54歳 | 10. 55～59歳 | 11. 60～64歳 | 12. 65歳以上 |

問12 その方の現在の仕事をお答えください。(○は1つ)

1. 学生・生徒（予備校生などを含む）	2. パート・アルバイト
3. 派遣社員	4. 契約社員・嘱託
5. 正規の社員・職員・従業員	6. 会社などの役員
7. 自営業・自由業	8. 家族従業者・内職
9. 専業主婦・主夫	10. 家事手伝い
11. 無職（仕事を探している）	12. 無職（仕事を探していない）
13. その他（具体的に： _____）	

問13 その方の就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む) (○は1つ)

1. 現在、就業している	2. 現在、就業しているが、休職や休業中である
3. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある	4. これまでに就業経験はない

問14 その方は普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。

(○はいくつでも)

1. テレビを見る	2. ラジオを聴く	3. 本を読む	4. 新聞を読む
5. ゲームをする	6. 勉強をする	7. 仕事をする	8. 家事をする
9. 育児をする	10. 介護・看護をする	11. インターネットをする	
12. あてはまるものはない			

問15-1 家族・親せきとあなたの関わりは、どのようなものですか。

①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①	会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
②	何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
③	楽しく話せる時がある	1	2	3	4
④	困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
⑤	他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
⑥	いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問15-2 家族・親せき以外の他者（友人、職場・アルバイト関係の人、地域の人）と、その方の関わりは、
 どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①	会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
②	何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
③	楽しく話せる時がある	1	2	3	4
④	困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
⑤	他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
⑥	いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問15-3 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、その方の関わりは、
 どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①	会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
②	何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
③	楽しく話せる時がある	1	2	3	4
④	困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
⑤	他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
⑥	いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問16 その方は、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。

①～⑦のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
①	誰とでもすぐ仲良くなれる	1	2	3	4
②	表情やしぐさで相手の 思っていることがわかる	1	2	3	4
③	親しい人に頼まれてもや りたくないことは断る	1	2	3	4
④	その場に合った行動がと れる	1	2	3	4
⑤	表情が豊かである	1	2	3	4
⑥	気持ちを抑えようとして も、顔に出してしまう	1	2	3	4
⑦	人にぶつかっても、あやま らないことがある	1	2	3	4

問17 その方は最近6か月間で、家族以外の人と会話はありましたか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|----------------|
| 1. よく会話をした | 2. とまどき会話をした | 3. ほとんど会話しなかった |
| 4. まったく会話しなかった | | |

問18 その方は普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 仕事や学校で平日は毎日外出する | 2. 仕事や学校で週に3～4日外出する |
| 3. 遊び等で頻繁に外出する | 4. 人づきあいのためにときどき外出する |
| 5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する | |
| 6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | |
| 7. 自室からは出るが、家からは出ない | 8. 自室からほとんど出ない |

問18で「1」～「4」を選択 ⇒ 問34へ

問18で「5」～「8」を選択 ⇒ 問19へ

問19 その方の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 3か月未満 | 2. 3か月～6か月未満 | 3. 6か月～1年未満 |
| 4. 1年～2年未満 | 5. 2年～3年未満 | 6. 3年～5年未満 |
| 7. 5年～7年未満 | 8. 7年～10年未満 | 9. 10年～15年未満 |
| 10. 15年未満～20年未満 | 11. 20年～25年未満 | 12. 25年～30年未満 |
| 13. 30年以上 | | |

問20 その方の外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 15歳未満 | 2. 15～19歳 | 3. 20～24歳 | 4. 25～29歳 |
| 5. 30～34歳 | 6. 35～39歳 | 7. 40～44歳 | 8. 45～49歳 |
| 9. 50～54歳 | 10. 55～59歳 | 11. 60～64歳 | 12. 65歳以上 |

問21 その方の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 学校になじめなかったこと | 2. 小学校時代の不登校 |
| 3. 中学校時代の不登校 | 4. 高校時代の不登校 |
| 5. 大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校 | |
| 6. 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 7. 就職活動がうまくいかなかったこと |
| 8. 職場になじめなかったこと | 9. 人間関係がうまくいかなかったこと |
| 10. 病気(病名:) | 11. 妊娠したこと |
| 12. 退職したこと | 13. 介護・看護を担うことになったこと |
| 14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと | 15. その他(具体的に:) |
| 16. 特に理由はない | 17. わからない |

問22 問21のうち最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 学校になじめなかったこと | 2. 小学校時代の不登校 |
| 3. 中学校時代の不登校 | 4. 高校時代の不登校 |
| 5. 大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校 | |
| 6. 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 7. 就職活動がうまくいかなかったこと |
| 8. 職場になじめなかったこと | 9. 人間関係がうまくいかなかったこと |
| 10. 病気(病名:) | 11. 妊娠したこと |
| 12. 退職したこと | 13. 介護・看護を担うことになったこと |
| 14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと | 15. その他(具体的に:) |
| 16. 特に理由はない | 17. わからない |

問23 その方が現在の状態になったことについて、どのように感じられていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 改善したいと思っている | 2. 改善したいが、改善の方法がわからない |
| 3. 改善の必要はないと思っている | 4. わからない |

問24 次の場所は、今のその方にとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。

①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
①	自分の部屋	1	2	3	4	5
②	家庭（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4	5
③	学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4	5
④	職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4	5
⑤	地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	1	2	3	4	5
⑥	インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	1	2	3	4	5

問25 その方の現在の状態を改善するための支援について、それぞれ認知および利用状況についてお聞かせください。①～⑥の認知と利用状況それぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		認知		利用状況		
		知っている	知らない	利用している	利用したい	利用したくない
①	相談窓口	1	2	1	2	3
②	オンラインでの相談	1	2	1	2	3
③	当事者のカウンセリング	1	2	1	2	3
④	居場所の運営	1	2	1	2	3
⑤	社会体験活動の提供	1	2	1	2	3
⑥	就労支援	1	2	1	2	3

		認知		利用状況		
		知っている	知らない	利用している	利用したい	利用したくない
⑦	就学支援	1	2	1	2	3
⑧	家族個別支援 (面談等)	1	2	1	2	3
⑨	家族へのグループ支援 (家族教室、交流会等)	1	2	1	2	3
⑩	イベントの開催 (講演会等)	1	2	1	2	3
⑪	支援情報の提供 (他団体の情報含む)	1	2	1	2	3

【問25でいずれか1つでも「利用したくない」と回答した方のみ】

問26 支援を利用したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 自分のことを知られたくない | 2. 行っても解決できないと思う |
| 3. 何を聞かれるか不安に思う | 4. 相手に上手く話せないと思う |
| 5. 行ったことを人に知られたくない | 6. お金がかかると思う |
| 7. 相談機関が近くにない | 8. 特に理由はない |
| 9. その他(具体的に:) | |

問27 どのような支援等があると良いと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. いつでも好きな時にでかけていける居場所の紹介 | |
| 2. インターネット上(オンライン)の居場所の紹介 | |
| 3. 話(悩み)を聞いてくれる窓口(電話・オンライン含む) | |
| 4. 自宅などへの訪問支援 | 5. 就労に向けた準備支援 |
| 6. 生活困窮時の一時的な生活資金支援 | |
| 7. ファイナンシャルプランナー等による生活設計支援 | |
| 8. 福祉サービスや生活保護等行政サービスの申請支援 | 9. 医療機関の紹介 |
| 10. 家族向け交流会等の紹介 | 11. その他(具体的に:) |

問28 どのような機関に相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1. 親身に聴いてくれる | 2. 医学的な助言をくれる |
| 3. 心理学の専門家がいる | 4. 精神科医がいる |
| 5. 同じ悩みを持つ人と出会える | 6. 匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる |
| 7. 無料で相談できる | 8. 自宅から近い |
| 9. 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体（NPOなど）である | |
| 10. 自宅に専門家が来てくれる | 11. 西東京市以外の場所で相談できる |
| 12. インターネット上（オンライン）で相談することができる | |
| 13. あてはまるものはない | 14. どのような機関にも相談したくない |



問28をご回答後は問34へお進みください

問29～33は、問8で「2. いない」とお答えした場合にご回答ください

以下の設問は、ご自身が「仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流がほとんどない状態」になった場合を想定してご回答ください。

問29 ひきこもりの方向けの支援について、それぞれ認知および利用意向についてお聞かせください。

①～⑦の認知と利用状況それぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

※利用意向は実際に利用する場合を想定してお答えください。

		認知		利用意向		
		知っている	知らない	利用している	利用したい	利用したくない
①	相談窓口	1	2	1	2	3
②	オンラインでの相談	1	2	1	2	3
③	当事者のカウンセリング	1	2	1	2	3
④	居場所の運営	1	2	1	2	3
⑤	社会体験活動の提供	1	2	1	2	3
⑥	就労支援	1	2	1	2	3
⑦	就学支援	1	2	1	2	3

		認知		利用意向		
		知っている	知らない	利用している	利用したい	利用したくない
⑧	家族個別支援 (面談等)	1	2	1	2	3
⑨	家族へのグループ支援 (家族教室、交流会等)	1	2	1	2	3
⑩	イベントの開催 (講演会等)	1	2	1	2	3
⑪	支援情報の提供 (他団体の情報含む)	1	2	1	2	3

【問29でいずれか1つでも「利用したくない」と回答した方のみ】

問30 支援を利用したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 自分のことを知られたくない | 2. 行っても解決できないと思う |
| 3. 何を聞かれるか不安に思う | 4. 相手に上手く話せないと思う |
| 5. 行ったことを人に知られたくない | 6. お金がかかると思う |
| 7. 相談機関が近くにない | 8. 特に理由はない |
| 9. その他(具体的に:) | |

問31 どのような支援等があると良いと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. いつでも好きな時にでかけていける居場所の紹介 | |
| 2. インターネット上(オンライン)の居場所の紹介 | |
| 3. 話(悩み)を聞いてくれる窓口(電話・オンライン含む) | 4. 自宅などへの訪問支援 |
| 5. 就労に向けた準備支援 | 6. 生活困窮時の一時的な生活資金支援 |
| 7. ファイナンシャルプランナー等による生活設計支援 | |
| 8. 福祉サービスや生活保護等行政サービスの申請支援 | 9. 医療機関の紹介 |
| 10. 家族向け交流会等の紹介 | 11. その他(具体的に:) |

問32 どのような機関に相談したいと思いましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1. 親身に聴いてくれる | 2. 医学的な助言をくれる |
| 3. 心理学の専門家がいる | 4. 精神科医がいる |
| 5. 同じ悩みを持つ人と出会える | 6. 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる |
| 7. 無料で相談できる | |
| 8. 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)である | |
| 9. 自宅に専門家が来てくれる | 10. 自宅から近い |
| 11. あてはまるものはない | 12. どのような機関にも相談したくない |

問33 「ひきこもり」の背景や、「ひきこもり」についての考え、社会的な支援についてあなたのお考えに最も近いものは何ですか。①～⑭のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	少しそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない
①	「ひきこもり」の問題に関心がある	1	2	3	4	5
②	「ひきこもり」は、深刻な社会問題なのだから、早期に解決すべきである	1	2	3	4	5
③	「ひきこもり」は、家族や周囲の対応によるものであると思う	1	2	3	4	5
④	「ひきこもり」は、人間関係が希薄になってしまったことによるものだと思う	1	2	3	4	5
⑤	「ひきこもり」は、インターネット社会の影響があると思う	1	2	3	4	5
⑥	「ひきこもり」は、30代までの若い世代に多いと思う	1	2	3	4	5
⑦	現代社会においては、「ひきこもり」は誰にでも起こることだと思う	1	2	3	4	5
⑧	「ひきこもり」の人や家族は、自分を責めるなど苦しんでいると思う	1	2	3	4	5
⑨	「ひきこもり」の人は、甘えている感じがする	1	2	3	4	5
⑩	「ひきこもり」の人や家族には、社会的支援を行うべきであると思う（相談体制の充実や、自立に向けた支援など）	1	2	3	4	5
⑪	「ひきこもり」の人は、医療の支援が必要だと思う	1	2	3	4	5
⑫	「ひきこもり」は、早期に支援につなげることが必要であると思う	1	2	3	4	5
⑬	不登校 から、「ひきこもり」につながらないために、学校からの支援は必要だと思う	1	2	3	4	5
⑭	「ひきこもり」の人や家族が孤立しないような地域社会のつながりが必要であると思う	1	2	3	4	5

2 調査票（事業参加者）

西東京市社会参加に関する調査 調査票

問1～問32（回答時間の目安：10分程度）をご覧ください、あなたのご意見を教えてください。
ご家族の方がお答えいただく場合には、「あなた」の部分で「当事者の方」に置き換えてご回答ください。
※問23～27、問30～32につきましては、ご家族の方の意見をご回答ください。

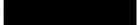
●郵送で回答する場合

回答期限：令和 6年 8月 30日（金）

- ・ アンケート調査票にご記入後、同封の封筒に調査票を入れ、郵便にてご返送ください。
（切手は不要です。）
- ・ ご返送の際は、氏名や住所のご記入は不要です。
- ・ ご記入の際は選択肢の数字に○をつけてください。（例 ①）

●インターネットで回答する場合

回答期限：令和 6年 8月 30日（金）

- ・ 下記URLまたは二次元コードより、インターネット回答画面にアクセスし、ご回答ください。
URL：  
- ・ インターネット回答の際にはパスワード及び整理番号の入力が必要です。
パスワード： 
整理番号： 

※ パスワードは回答者を制限するため、整理番号は1人が複数回答することを避けるためのものであり個人が特定されることはありません。

あなた自身についてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 15歳未満 | 2. 15～19歳 | 3. 20～24歳 | 4. 25～29歳 |
| 5. 30～34歳 | 6. 35～39歳 | 7. 40～44歳 | 8. 45～49歳 |
| 9. 50～54歳 | 10. 55～59歳 | 11. 60～64歳 | 12. 65歳以上 |

問3 お住まいの地域をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|------------|
| 1. 南町 | 2. 向台町 | 3. 東伏見 | 4. 柳沢 |
| 5. 新町 | 6. 北原町 | 7. 田無町 | 8. 住吉町 |
| 9. 泉町 | 10. 保谷町 | 11. 谷戸町 | 12. 緑町 |
| 13. 西原町 | 14. 芝久保町 | 15. ひばりが丘 | 16. ひばりが丘北 |
| 17. 下保谷 | 18. 栄町 | 19. 東町 | 20. 中町 |
| 21. 富士町 | 22. 北町 | | |

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(○はいくつでも)

※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「9 その他」をお選びください。

- | | | | |
|------------|------------------------------------|----------|--------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. きょうだい | 4. 祖父母 |
| 5. あなたの配偶者 | 6. あなたの子 | 7. その他親族 | |
| 8. 一人暮らし | 9. その他（ホームステイをしている人など）（具体的に：_____） | | |
| 10. 答えられない | | | |

問5 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------------|------------|------------------|----------|
| 1. あなた自身 | 2. 父 | 3. 母 | 4. きょうだい |
| 5. 祖父母 | 6. あなたの配偶者 | 7. あなたの子 | 8. その他親族 |
| 9. その他（具体的に：_____） | | 10. わからない、答えられない | |

問11-1 家族・親せきとあなたの関わりは、どのようなものですか。

①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①	会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
②	何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
③	楽しく話せる時がある	1	2	3	4
④	困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
⑤	他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
⑥	いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問11-2 家族・親せき以外の他者（友人、職場・アルバイト関係の人、地域の人）と、あなたの関わりは、

どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①	会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
②	何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
③	楽しく話せる時がある	1	2	3	4
④	困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
⑤	他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
⑥	いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問11-3 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたの関わりは、どのようなものですか。①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①	会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
②	何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
③	楽しく話せる時がある	1	2	3	4
④	困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
⑤	他の人には言えない本音を話せることがある	1	2	3	4
⑥	いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問13 あなたは最近6か月間で、家族以外の人と会話はありましたか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| 1. よく会話をした | 2. とまどき会話をした | 3. ほとんど会話をしなかつた |
| 4. まったく会話をしなかつた | | |

問14 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のこゝについてお答へください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 仕事や学校で平日は毎日外出する | 2. 仕事や学校で週に3~4日外出する |
| 3. 遊び等で頻りに外出する | 4. 人づきあいのためにとまどき外出する |
| 5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する | |
| 6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | |
| 7. 自室からは出るが、家からは出ない | 8. 自室からほとんど出ない |

問15 あなたの外出状況が現在の状態となつて、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 3か月未満 | 2. 3か月~6か月未満 | 3. 6か月~1年未満 |
| 4. 1年~2年未満 | 5. 2年~3年未満 | 6. 3年~5年未満 |
| 7. 5年~7年未満 | 8. 7年~10年未満 | 9. 10年~15年未満 |
| 10. 15年未満~20年未満 | 11. 20年~25年未満 | 12. 25年~30年未満 |
| 13. 30年以上 | | |

問16 あなたの外出状況が現在の状態になつたのは、何歳の頃ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 15歳未満 | 2. 15~19歳 | 3. 20~24歳 | 4. 25~29歳 |
| 5. 30~34歳 | 6. 35~39歳 | 7. 40~44歳 | 8. 45~49歳 |
| 9. 50~54歳 | 10. 55~59歳 | 11. 60~64歳 | 12. 65歳以上 |

問17 あなたの外出状況が現在の状態になつた主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 学校になじめなかつたこと | 2. 小学校時代の不登校 |
| 3. 中学校時代の不登校 | 4. 高校時代の不登校 |
| 5. 大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校 | |
| 6. 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 7. 就職活動がうまくいかなかつたこと |
| 8. 職場になじめなかつたこと | 9. 人間関係がうまくいかなかつたこと |
| 10. 病気(病名:) | 11. 妊娠したこと |
| 12. 退職したこと | 13. 介護・看護を担うことになつたこと |
| 14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと | 15. その他(具体的に:) |
| 16. 特に理由はない | 17. わからない |

問18 問17のうち最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

1. 学校になじめなかったこと	2. 小学校時代の不登校
3. 中学校時代の不登校	4. 高校時代の不登校
5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校	
6. 受験に失敗したこと（高校・大学等）	7. 就職活動がうまくいかなかったこと
8. 職場になじめなかったこと	9. 人間関係がうまくいかなかったこと
10. 病気（病名： ）	11. 妊娠したこと
12. 退職したこと	13. 介護・看護を担うことになったこと
14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと	15. その他（具体的に： ）
16. 特に理由はない	17. わからない

問19 あなたが現在の状態になったことについて、どのように感じられていますか。(○は1つ)

1. 改善したいと思っている	2. 改善したいが、改善の方法がわからない
3. 改善の必要はないと思っている	4. わからない

問20 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。

①～⑥のそれぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
① 自分の部屋	1	2	3	4	5
② 家庭（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4	5
③ 学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4	5
④ 職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4	5
⑤ 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	1	2	3	4	5
⑥ インターネット空間 （SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	1	2	3	4	5

問21 その方の現在の状態を改善するための支援について、それぞれ認知および利用状況についてお聞かせください。①～⑪の認知と利用状況それぞれについて、あてはまる番号を1つお答えください。

		認知		利用状況		
		知っている	知らない	利用している	利用したい	利用したくない
①	相談窓口	1	2	1	2	3
②	オンラインでの相談	1	2	1	2	3
③	当事者のカウンセリング	1	2	1	2	3
④	居場所の運営	1	2	1	2	3
⑤	社会体験活動の提供	1	2	1	2	3
⑥	就労支援	1	2	1	2	3
⑦	就学支援	1	2	1	2	3
⑧	家族個別支援 (面談等)	1	2	1	2	3
⑨	家族へのグループ支援 (家族教室、交流会等)	1	2	1	2	3
⑩	イベントの開催 (講演会等)	1	2	1	2	3
⑪	支援情報の提供 (他団体の情報含む)	1	2	1	2	3

【問21でいずれか1つでも「利用したくない」と回答した方のみ】

問22 支援を利用したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分のことを知られたくない	2. 行っても解決できないと思う
3. 何を聞かれるか不安に思う	4. 相手に上手く話せないと思う
5. 行ったことを人に知られたくない	6. お金がかかると思う
7. 相談機関が近くにない	8. 特に理由はない
9. その他 (具体的に: _____)	

西東京市社会参加に関する調査
報告書
令和7年1月発行

西東京市 健康福祉部 地域共生課 相談窓口係
〒188-8666
西東京市南町五丁目6番13号
TEL 042 (464) 1311 (代表)
042 (420) 2808 (直通)
e-mail kyousei@city.nishitokyo.lg.jp